

取扱説明書



製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン 電源コード式	テレビドアホン 電源コード式
品番	<small>フイエル エスタプルーディー ケイエフ</small> VL-SWD505KF <small>フイエル エスタプルーディー ケイエス</small> VL-SWD505KS	<small>フイエル エスピーディー ケイエフ</small> VL-SVD505KF <small>フイエル エスピーディー ケイエス</small> VL-SVD505KS

確認と
準備

通話/
モニター

録画/
再生

電話/ファクス
との連携

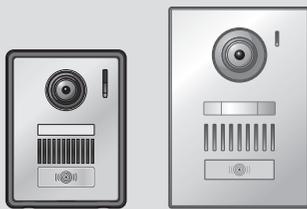
他機器
との連携

便利な
機能・
設定

必要な
とき

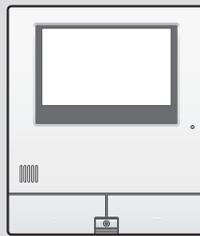
困った
とき

カメラ玄関子機
(本書の表記: ドアホン)



① VL-V574 ② VL-V557

モニター親機
(本書の表記: ドアホン親機)



③ VL-MWD505

ワイヤレスモニター子機
(本書の表記: 子機)



④ VL-WD618

●各製品の構成品は次のとおりです。

- ・VL-SWD505KF : ①と③と④のセット
- ・VL-SVD505KF : ①と③のセット
- ・VL-SWD505KS : ②と③と④のセット
- ・VL-SVD505KS : ②と③のセット

●本書の7~8ページ「使ってみましょう」で、来客応答などの基本的な使いかたをわかりやすく案内しています。



Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書 別添付

施工説明書 別添付

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします。(詳細は裏表紙)

■「取扱説明書(本書)」と「取扱説明書 接続設定ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(P.9~10)を必ずお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

■本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。

発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

はじめに

付属品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ ドアホン用・ドアホン親機用
施工説明書に記載しています。

■ 子機用(子機付きタイプのみ)

充電台
..... 1台



電池パック
..... 1個



お願い

● 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

本書について

本書ではVL-V574をV574、VL-V557をV557、VL-WD618をWD618、VL-WD813をWD813、VL-WD712をWD712と記載している場合があります。

ドアホン親機について (ご使用前に必ずお読みください)

ドアホン親機はソフトウェアのバージョンアップに対応した製品です。バージョンアップにより、新しい機能などが使えるようになります。

■ ドアホン親機に接続・連携できる機器をご使用になるには、インターネット接続環境が必要です。

■ ドアホン親機のソフトウェアのバージョンを確認のうえ、ご使用ください。(P.112)

■ 本書の説明はバージョン「1.00」のものです。

■ その他、バージョンアップについて詳しくはP.112、113をよくお読みください。

(例)

お知らせ
ランプ
505-1188



本書に記載のQRコードから、詳細や操作などを確認できます。(通信料はお客様のご負担になります)

● スマートフォンなどでQRコードを読み取り、表示されたサイトにアクセスしてください。

よくあるご質問

よくある
質問
505-1150



VL-SWD/SVD505のサポートサイトの「よくあるご質問」

バージョン
アップ
505-1151



バージョンUPでの新機能と連携機器は？

音量の設定のしかたは？

75ページ：ドアホン親機（呼出音）

98ページ：センサーカメラ（お知らせ音）

101ページ：ワイヤレスカメラ（センサー反応音）

ドアホン録画・録音の設定のしかたは？

93ページ：ドアホン着信自動録画

93ページ：ドアホン通話全記録

カメラの登録のしかたは？

54ページ：センサーカメラ

55ページ：ワイヤレスカメラ

電話/ファクスとの連携のしかたは？

42ページ：ワイヤレスアダプター機能登録

お知らせ
ランプ
505-1188



お知らせランプはどんなときにつくの？ 消す方法は？

みまもり
リモコン
505-1164



みまもりリモコンの操作方法は？

（登録・機能設定）

もくじ



使ってみましょう..... 7

次の方法で探すこともできます。

- 「よくあるご質問(Q&A)」から探す (P.140)
- 「さくいん」から探す (P.142)

確認と準備

安全上のご注意	9
使用上のお願い	11
SDカードについて	15
各部の名前と働き(ドアホン)	16
各部の名前と働き(ドアホン親機)	17
各部の名前と働き(子機)	20
子機の設置・充電	24
日時(時計)の設定	25
ドアホンのワイド/ズーム設定	25
ドアホンのズーム位置設定	25

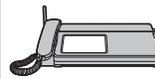
通話／モニター

来客の呼び出しに応答する	26
ドアホン側の様子を見る(モニター)	27
ドアホン通話中・モニター中の機能	28
ワイド/ズーム機能を使う	28
ドアホン通話中・モニター中に メニュー機能を使う	29
室内の相手呼び出す(室内呼)	30
ドアホン通話を転送する	31
ビデオ通話機能を利用する	32
ビデオ通話をする	32
ビデオメッセージを残す	32
受信したビデオメッセージを再生する	33
自分の映像を相手に送らないようにする	35
音量・画面の明るさを調整する	35
ビデオメッセージの記録先と 件数について	35

録画／再生

録画・録音機能について	36
映像・音声の記録について	36
ドアホン映像や音声の録画・録音	37
来客時の映像を自動で録画・録音する	37
ドアホンとの通話内容を自動で 録画・録音する	37
モニター中の映像を手動で録画する	37
ドアホン親機で録画を再生する	38
再生音量や画面の明るさを変える	39
画像を保護する	39
画像を消去する	39
検索メニューを使って画像を探す	39
子機で録画を再生する	40
再生音量や画面の明るさを変える	41
画像を保護する	41
画像を消去する	41

電話／ファクスとの連携



電話／ファクスとの連携 について..... 42

電話／ファクスで来客応答ができるように する(ワイヤレスアダプター機能登録)	42
子機 WD618 で電話ができるように する(電話／ファクス登録)	42
電話／ファクス連携時のお願い	43



子機のみ対応

電話をかける/受ける	43
基本のかけかた/受けかた	43
同じ相手にもう一度かける (再ダイヤル)	43
電話帳でかける	44
スピーカーホンでかける	44
内線電話をかける/受ける	44
外線通話中にできること	45
相手に待ってもら(保留)	45
キャッチホンを受ける (NTTとの契約が必要)	45
通話を録音する(通話録音)	45
相手の声の音質を変える (ボイスセレクト)	45
自分の声を低く変える (ボイスチェンジ)	45
自分の声が相手に聞こえないように する(ミュート)	45
迷惑な電話をお断りする(通話拒否)	46
相手の声を確認して電話に出る (あんしん応答)	46
電話をまわす/3者通話にする	47
電話帳に登録する	47
新規入力して電話帳に登録する	47
再ダイヤルから電話帳に登録する	48
電話帳を修正する	48
電話帳を消去する	48
電話帳を転送する	48
ファクスを受ける	48
留守番電話を使う	49
ナンバー・ディスプレイサービス	50
着信履歴を確認する	50
着信履歴から電話をかける	50
着信履歴から電話帳に登録する/ 受けたくない電話を拒否設定する	50
着信履歴を消去する	50
電話/ファクスで窓/ドアセンサーを 登録して使っているとき	51

スマートフォンやセンサーカメラと 連携するために(ネットワーク接続)	52
 カメラと 連携して使う	53
連携できるカメラについて	53
センサーカメラを使うための準備と確認	54
センサーカメラをドアホン親機に 登録する	54
動作検知や人感センサーの 動作確認をする	54
ワイヤレスカメラを使うための準備と確認	55
ワイヤレスカメラをドアホン親機に 登録する	55
動作検知や人感センサーの 動作確認をする	56
ワイヤレスカメラの映像表示について (表示サイズと画質)	56
カメラ側の様子を見る(モニター)	57
カメラが反応したとき	58
動作検知や人感センサーが反応したとき	58
カメラ映像や音声の録画・録音 (SDカード録画)	58
センサーカメラが反応したときに 自動で録画する	58
ワイヤレスカメラが反応したときに 自動で録画する	58
モニター中の映像を手動で録画する	59
カメラ映像モニター中の機能	60
ワイド/ズーム機能を使う (センサーカメラのみ)	60
カメラ映像モニター中に メニュー機能を使う	61
窓/ドアセンサーと連携して使う	62
窓/ドアセンサーをドアホン親機に 登録する	62
 電気錠やエアコンなどと 連携して使う	63
電気錠やエアコンなどを操作する	63
スマートフォンで電気錠を 解錠できるようにする	65
警報器・コール機器・非常ボタンと 連携して使う	66
光るチャイムやメロディサインなどと 連携して使う	67
補聴器と連携して使う	67
みまもりリモコンと連携して使う	68
みまもりリモコンをドアホン親機に 登録する	68

他機器との連携(つづき)

みまもり機能のON/OFFと通信間隔を 変更する.....	69
みまもりリモコンのボタンに機能を 設定する.....	69
みまもりリモコンの状態を確認する.....	71

便利な機能・設定

着信中・通話中・モニター中の別の呼び出し... 72	
呼出音の種類を変える (ドアホン・カメラ・外線).....	73
呼出音量を変える.....	75
戸締り確認機能を使う.....	75
電気錠や窓/ドアセンサーの 状態を確認する.....	75
電気錠の施錠忘れ通知について.....	76
警戒モードを使う.....	77
警戒モードを切り替える.....	77
警戒モードの動作について.....	78
警戒モードの詳細設定を変更する.....	79
接続機器の運動設定.....	81
携帯電話などにドアホンやカメラの 画像を送る(メール通知).....	84
送信できる情報と送信のタイミング.....	84
メール送信設定をする.....	85
メール通知ON/OFFを切り替える.....	85
ドアホン親機の機能設定 (設定方法と機能一覧).....	86
センサーカメラの機能設定 (設定方法と機能一覧).....	96
ワイヤレスカメラの機能設定 (設定方法と機能一覧).....	100
子機の機能設定(設定方法と機能一覧).....	104

必要なとき

文字入力のしかた.....	106
お知らせ画面を見る.....	108
情報表示画面を見る.....	108
ドアホン親機のソフトウェアの バージョン確認と更新.....	112
現在のバージョンを確認する.....	112
新しいソフトウェアが公開されたとき.....	112
ソフトウェアを更新する (バージョンアップ).....	113
ドアホン(ワイヤレス)を登録して使う (増設).....	114
有線接続のドアホンとの違い.....	114
子機を増やす(増設).....	116
中継アンテナを使用する.....	117
使わなくなった機器を減設する.....	119
SDカード(フォーマット・ 録画のコピー・パソコン再生).....	120
仕様.....	122
別売品・連携機器一覧.....	124
子機の電話機能の制限について.....	127
商標・著作権・ライセンス.....	127

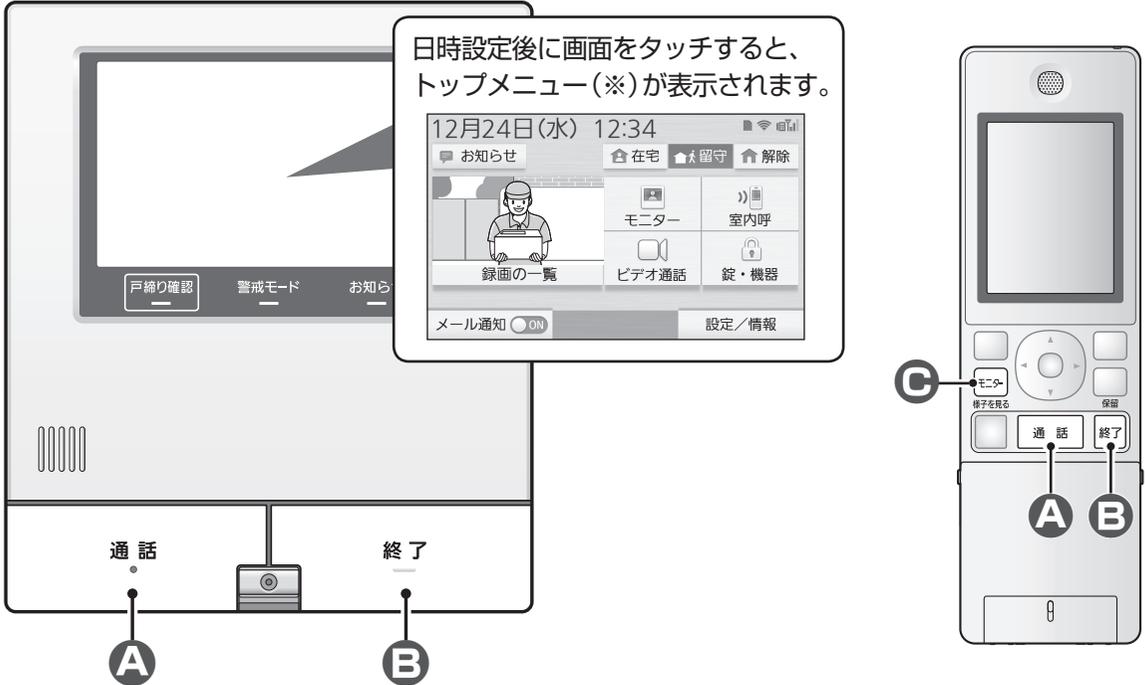
困ったとき

困ったとき.....	128
こんな表示が出たら.....	134
保証とアフターサービス.....	139
よくあるご質問(Q&A).....	140
さくいん.....	142



使ってみましょう

ご使用前に必ず、子機の充電とドアホン親機の日時設定をしてください。(P.24、25)



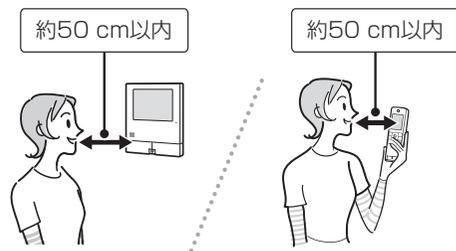
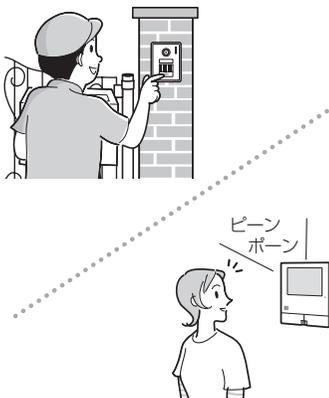
※ トップメニューの表示は、ご使用になる接続機器や設定状態によって異なります。(詳しくはP.18)

● 来客の呼び出しに応答する

ドアホン親機も子機も、操作は同じです。

1 ピーンポーンと鳴ったら、 【通話】(A)を押し、相手と話す

- 相手と交互に話してください。
同時に話すと声が途切れます。



■ 終わったら、【終了】(B)を押し

● お知らせ

- ドアホン親機で操作を終了する場合、画面に表示される【終了】をタッチすることもできます。

● ドアホン側の様子を見る(モニター)

ドアホン側(玄関)の様子を、映像と音で確認できます。(室内の声は外に聞こえません)



ドアホン親機の場合



- 1 トップメニューの
【モニター】をタッチする



- 映像が映り、周囲の音が聞こえます。

- 確認が終わったら、
【終了】(ⓑ)を押す

子機の場合



- 1 【モニター】(ⓐ)
を押す

- 映像が映り、周囲の音が聞こえます。

- 確認が終わったら、
【終了】(ⓑ)を押す

お知らせ

- 別売のカメラ利用時など、モニターできる機器が複数あるときは操作が異なります。(詳しくはP.27)

● ドアホン親機から子機を呼び出す(室内呼)



呼び出す側



受ける側

- 1 トップメニューの
【室内呼】をタッチする



- 2 「プー」音に続けて、相手に呼びかける



- 相手が出たら、
通話もできます。

- 1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、【通話】(Ⓐ)を押す



- 通話が終わったら

ドアホン親機または子機で
【終了】(ⓑ)を押す

お知らせ

- 子機が複数あるときの操作や、子機からドアホン親機を呼び出すときの操作は(P.30)

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険

〈電池パックについて〉

液もれ・発熱・破裂を防ぐために



禁止

- 分解・改造しない
- 指定の電池パック以外は使用しない
- 付属の電池パックを、この機器以外に使用しない
- 火の中に捨てたり加熱しない
- 端子を金属などに接触させない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない



- 専用の充電台を使用して指定の電池パックを充電する

事故を防ぐために



禁止

- 液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない
(皮膚や衣服に付いたり目に入ると、皮膚の障害や失明などの原因)
→ 皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



警告

火災・感電などを防ぐために



禁止

- 分解・修理・改造しない
→ 修理は販売店へご相談ください。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- 雷が鳴ったら、ドアホン親機・充電台・電源プラグに触れない
- 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因)
→ 修理は販売店にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外での使用はしない
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)
- 機器内部に金属物を入れない
→ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。
- 機器(子機用充電台や電源コードを含む)に水をかけたり、ぬらしたりしない
→ ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。
- 本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因)
→ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



警告

火災・感電などを防ぐために



- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる
(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)
→ 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

- 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る
(そのまま使用すると、火災や感電の原因)
→ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

- 電源プラグを抜くときは、プラグ本体(金属でない部分)を持って抜く
(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)

事故などを防ぐために



禁止

- SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
(誤って飲み込むおそれあり)
→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- 医療機器の近くでの設置や使用をしない※¹
・手術室、集中治療室、CCU(冠状動脈疾患監視病室の略称)などには持ち込まない
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※¹
(※¹ 本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)
- ケーブルを引っ張ったり、ぶら下がったり、コネクター部に無理な力を加えない



警告

事故などを防ぐために



- 心臓ペースメーカーの装着部位から 15 cm以上離す
(本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり)



注意

事故・けが・財産の損害などを防ぐために



禁止

- 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない
(落下による破損やけがの原因)
- スピーカーに耳を近づけて使用しない
(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)
- 子機用充電台にコインや指輪などの金属物を載せない
(金属物が熱くなり、やけどの原因)
- 子機用充電台に磁気に弱いもの(キャッシュカード、通帳など)を近づけない
(子機用充電台からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります)



- 子機を壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける
(落下による、破損やけがの原因)
→ 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ 18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

各機器の使用可能距離(範囲)について

(P.11の㊦の場合)

ドアホン親機と各機器(子機など)は100m以内でご使用ください。(間に障害物がない場合)※1※2

(P.11の㊧の場合)

ドアホン親機とスマートフォン(宅内接続時)は、無線ルーターの電波が届く範囲内でご使用ください。※1

- 無線LANの接続設定をすると(詳しくは「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください)、ドアホン親機と無線ルーター間の電波状態をドアホン親機で確認できます。(P.18)
- スマートフォンと無線ルーター間の電波状態の確認方法は、スマートフォンの取扱説明書などをお読みください。
- 複数の無線アクセスポイントが近くに存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

※1 機器間の距離が離れていたり、機器間に次のように電波を通しにくい(または電波を反射する)障害物があると、電波が弱くなって通信が不安定になったり、電波が圏外になって使えないことがあります。

- 複層ガラスの窓や金属製のドアや雨戸
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- コンクリートやトタン製の壁
- 壁を何枚もへだてたところ
- 各機器をそれぞれ、別の階や家屋で使うとき

※2 ドアホン親機と各機器(電話/ファクス親機は除く)間に上記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。(P.117、124)

- ドアホン親機と電話/ファクス親機間に中継アンテナは使えません。
- 中継アンテナで無線LANの電波(P.11の㊧)は中継できません。(無線LAN非対応)

電波の通信方式について

DECT準拠方式の電波

● ドアホン親機や子機は、1.9 GHz帯の周波数を使用します。

ドアホン親機や子機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

1.9-D

● J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠し

た1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。

同一ロゴを搭載する機器間で

の接続可否を示すものではありません。

J-DECT

● ドアホン親機や子機の使用周波数に関わるご注意

ドアホン親機や子機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- ドアホン親機や子機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、ドアホン親機や子機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機や子機の電源プラグを抜いて、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホン使い方・お手入れなどのご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホン使い方・お手入れなどのご相談窓口」へお問い合わせください。

無線LANの電波

● ドアホン親機は、2.4~2.4835 GHzの全帯域を使用する無線設備です。

移動体識別装置の帯域が回避可能で、変調方式は「DS-SS方式/OFDM方式」、与干渉距離は40mです。

(右記はそれを示すマークです) 

● ドアホン親機の使用周波数に関わるご注意

ドアホン親機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機の電源プラグを抜いて、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホン使い方・お手入れなどのご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「ファクス・電話機・ドアホン使い方・お手入れなどのご相談窓口」へお問い合わせください。

セキュリティについて

下記は無線LANを使ったネットワーク接続・通信に関する注意事項です。

無線LANでは、電波を利用してパソコンなどと情報のやり取りを行います。ご利用時の電波は、通信可能範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、注意が必要です。

- **ドアホン親機をインターネットに接続してご利用になる場合、本書、「取扱説明書 接続設定ガイド」および接続する無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行ってください。**
 - ・無線LANの場合は、仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあります。ご理解のうえ、ご使用ください。
- **セキュリティに関する設定を行わないと、悪意のある第三者によって、次のような被害を受ける場合があります。**
 - ・通信内容(画像、メール情報、ID、パスワードなど)の傍受
 - ・ネットワークへの不正な侵入による情報漏洩
 - ・なりすましによる通信内容の改ざん
- **公衆Wi-Fi(公衆無線LAN)を使用する場合は、必ず暗号化レベルを確認して、セキュリティレベルが低いときは使用を控えてください。**
- **セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。**

スマートフォンの連携利用について

専用アプリケーション「ドアホンコネクト」(以降、ドアホンコネクトアプリ)を利用してスマートフォンを連携させる場合はさらに、スマートフォンのご利用においてセキュリティに関する適切な措置や対応が必要です。

適切な措置や対応をしないと、悪意のある第三者によって、次のような被害を受けることがあります。

- ・本システムを経由した個人情報の流出
 - ・本システムの違法な使用
 - ・本システムの使用干渉および使用停止
- スマートフォンとの連携について詳しくは、「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください。

〈必要な措置や対応について〉

- スマートフォンと無線ルーター間のWi-Fi通信は、暗号化してください。
- 機器が不正に操作されるのを防止するため、ログインパスワードは定期的に変更してください。
- 容易に推測可能なパスワードを設定すると、第三者にパスワードを見破られる恐れがあります。「パスワード」は推定が難しいものを設定していただき、その控えは漏れないように管理してください。

- スマートフォンを紛失した場合は
 - ・紛失したスマートフォンをドアホン親機から減設してください。(P.119)
 - ・ドアホン親機と連携した別のスマートフォンがあるときは、スマートフォンでログインパスワードを変更してください。
- オートログイン機能を有効にしたときには、スマートフォンの端末ロック機能を有効にしてください。オートログイン機能については、ドアホンコネクトアプリの取扱説明書をご確認ください。(アプリの取扱説明書については「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください)
- セキュリティ上の重要な操作(MACアドレス、機器IDなどの利用者情報の削除など)を行う場合は注意して行ってください。
- スマートフォン内部の利用者情報漏えいを防止するために、端末ロック機能を有効にしてください。
- 修理時に設定情報を消去、変更される可能性があるため、重要なものは記録して保管しておいてください。
- 不要となったスマートフォンは、ドアホン親機から減設し、ドアホンコネクトアプリをアンインストールしてください。(スマートフォンの減設方法はP.119)
- ドアホン親機の電源が切断されたときは、ドアホンコネクトアプリの日付/時刻がずれることがあります。電源復帰後にドアホン親機がルーター経由でインターネットに接続されると、日付/時刻が自動登録されます。

インターネットに接続したとき

専用サーバーに次の情報が送信されますが、お客様個人や住所を特定するものではありませんのでご了承ください。

- **ドアホン親機のID番号とMACアドレス、WAN側のグローバルIPアドレスやポート番号(ドアホン親機・サーバー・スマートフォンを連携させるため、次のときに送信します)**
 - ・電源投入後、初めてインターネットに接続したときや、スマートフォン側から接続要求があったとき
 - ・WAN側のグローバルIPアドレスやポート番号(P2P接続情報)が更新されたとき
- **ドアホン親機のMACアドレス・バージョン情報(新しいソフトウェアがあるかどうかの確認のため、定期的送信します)**

〈免責事項〉

- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

その他

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

個人情報について(修理・譲渡・廃棄など)

本機には、次のような個人情報が記録されます。

- ドアホン親機の本体メモリーやSDカードには
 - ・ 来客映像などの録画・録音データ
- 付属や別売のドアホン/電話両用子機の本体メモリーには
 - ・ お客様自身で登録した電話番号や氏名などの電話帳データ
 - ・ 電話によって記録された発信履歴などのデータ

これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の録画データは、修理依頼の前に必要に応じてSDカードにコピーし、ドアホン親機から必ず取り出して保管ください。また、子機の電話帳データはメモを取るなどして保管ください。
- データの保管後、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「初期化」をしてください。*1
 - ・ 初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます。
 - ・ 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

- ご使用のSDカードはドアホン親機から取り出し、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「初期化」をしてください。*1
(初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます)
 - ・ SDカードを廃棄・譲渡するときは (P.15)

※1 「初期化」について

- ・ ドアホン親機の場合
「親機の初期化」の「出荷時に戻す」を行う (P.95)
- ・ 子機の場合
「設定の初期化」を行う (P.105)

お手入れについて

柔らかい布でから拭きしてください。

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈子機(本体)を拭くとき〉

誤操作防止のため、電池パックを抜いてください。

〈電源プラグや子機の充電台を拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

〈ドアホン親機のタッチパネルを拭くとき〉

- 下記の操作をすると、電源プラグをコンセントから抜かずにお手入れできます。
 1. トップメニューの「設定/情報」をタッチし、[お手入れ]をタッチする
 - ・ お手入れの画面が表示されます。
 2. 画面表示中(約90秒間)に、画面を拭く
 3. 終わったら、**終了**を押す
- タッチパネルの汚れは、乾いた柔らかい布を使い、爪を立てずに指の腹で押さえ軽く拭いてください。

お願

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 施工説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

SDカードについて

本機にSDカードを入れると、ドアホンやカメラの映像を動画で録画したり、通話などの音声を録音できます。(P.37、58)

- ドアホンの映像・音声は本体メモリーに動画で録画・録音することもできますが、カメラの映像・音声はSDカードがないと録画・録音できません。(詳しくはP.36)
- 本機にはSDカードは付属されていません。
- ご使用の際は、パナソニック製品をお買い求めいただくことをお勧めします。

本機で使えるSDカード

本機はSD規格に準拠したSDメモリーカードに対応しています。(本書ではSDメモリーカードを総称して「SDカード」と記載しています)

- 対応のSDカードの詳細は(P.122)
- SDカードの容量と録画件数の目安は(P.36)

SDカードの取り扱いについて

■ 大切なデータを保護するために

SDカードをドアホン親機から取り出す際は、必ずトップメニューを表示し、SDカードのアイコン(■)が点滅していないことを確認してください。点滅中にSDカードを抜いたり、本体側面のリセットボタンを押したり、電源プラグを抜いたりすると、SDカード内のデータが破壊されることがあります。また、電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などによってもSDカード内のデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

- パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機でフォーマットしないと使えません。
大切なデータはパソコンなどに保存したあとフォーマットしてください。(P.120)

■ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

書き込み禁止スイッチを「LOCK」側になると、録画や消去、フォーマットなどができなくなります。



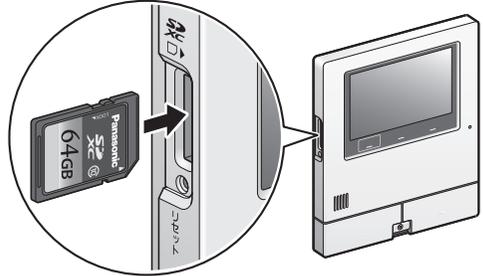
SDカードを入れる／取り出す

■ SDカードを入れるとき

ドアホン親機の画面が消灯している状態で挿入してください。

1 SDカードをまっすぐ押し込む

- 斜めにカットされた角を下に向けて押し込んでください。



■ SDカードを取り出すとき

トップメニューに表示されるSDカードのアイコン(■)が点滅していないことを確認してから、取り出してください。

1 SDカードの中央部分を押す



お願い

- SDカードの裏の接続端子部に触れないでください。

SDカードを廃棄・譲渡するとき

SDカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

本機やパソコンによる「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、SDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

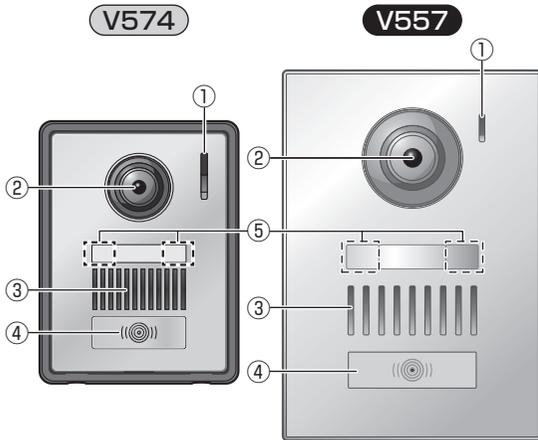
また廃棄の際は、SDカードを物理的に破壊するか、SDカード内のデータを完全に消去して、地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

各部の名前と働き(ドアホン)



- ① マイク
- ② カメラレンズ
- ③ スピーカー
- ④ 呼出ボタン・ランプ(ボタン中央:赤)
 - ・接続したドアホン親機の電源が入るとランプが点灯します。
 - ・ボタンを押し続けながら話すと、下記の「ただいまコール」がはたらきます。
- ⑤ LEDライト(照明用)

ただいまコールについて

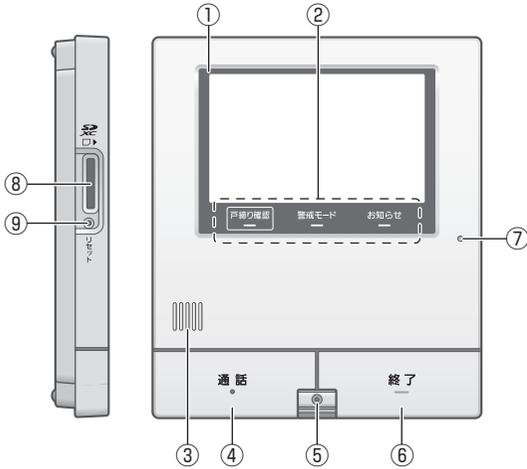
室内側の応答を待たなくても、玄関先から室内側に「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

- 1 呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかけ、終わったら指を離す
 - 呼びかけの声は、ドアホン親機にのみ聞こえます。
 - ドアホン親機から聞こえる声の大きさはドアホンの呼出音量の設定(P.75)に連動します。(「切」設定中は、音量「小」で聞こえます)

ドアホンの画質について

設置環境や使用する時間帯によって、来客や背景の明るさや色味が変わることがあります。
詳しくは(P.128)

各部の名前と働き(ドアホン親機)



- ① 液晶ディスプレイ(タッチパネル)
詳細は下記
- ② ランプとボタン 詳細は下記
- ③ スピーカー
- ④ 通話ボタン・ランプ(ボタン中央:青)
点滅: ドアホンや子機、ビデオ通話による着信中
点灯: 通話中
本書での表記: **[通話]**
- ⑤ 親機カメラ 詳細は下記
- ⑥ 終了ボタン
本書での表記: **[終了]**
- ⑦ マイク
- ⑧ SDカード挿入口
- ⑨ リセットボタン 詳細は下記

ランプとボタンについて

戸締り確認

戸締り確認ボタン・ランプ(赤)

- 〈電気錠や窓/ドアセンサー利用時〉
点灯: 施錠されていない電気錠や開いている窓/ドアがある
- 詳細はP.75

警戒モード

警戒モードランプ(赤)

- 〈カメラや窓/ドアセンサー利用時〉
警戒モードの設定状態を表します。
点灯: 警戒中(在宅または留守)
消灯: 警戒解除中
- 詳細はP.77

お知らせ

お知らせランプ(青)

- 点灯: ・新しく録画したドアホンの未確認画像がある
・確認してほしいお知らせがある
- 点滅: ビデオメッセージを受信した
- ランプの消し方
画面にタッチしてトップメニューを表示するまたはビデオメッセージを自動再生すると、消灯します。

タッチパネルについて

- 指で直接タッチして操作します。
- 操作を受け付けると、「ピッ」と音が鳴ります。(P.95「タッチ確認音」)

親機カメラについて

ビデオ通話時に使用します。カメラを指で上下に動かして撮影角度を変更できます。

- カメラをオフにするには、画面に「カメラがオフです」が表示されるまでカメラを下方向へ動かします。
さらに真下に向けてカメラレンズを隠すこともできます。
- カメラをオンにするには、オフの位置から上方向へカメラを動かします。
- 最大画角についてはP.122

リセットボタンについて

動作がおかしいときは、先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)

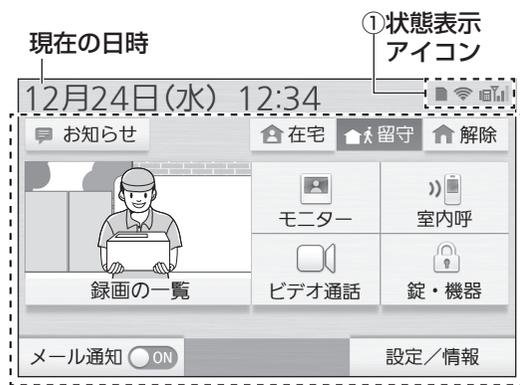
- リセット後、使用できるまでに約1分かかります。

お願い

- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。(誤動作の原因)
- タッチパネルは傷つきやすいので、ボールペンなど先端が硬く鋭利なものや爪先で操作しないでください。
- タッチパネルを強く押さえたり、こすったりしないでください。
- 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、タッチパネルの内側がくもったり露(水滴)が生じるおそれがあります。くもりや露(水滴)が消えるまで操作しないでください。

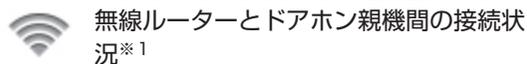
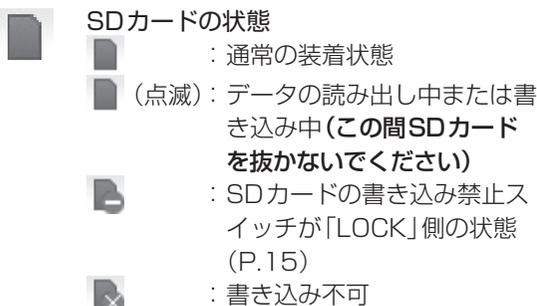
トップメニューについて

日時設定後に画面をタッチすると表示されます。

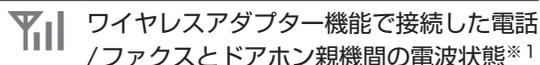


②タッチボタン

①状態表示アイコンについて



この範囲でご使用ください。



この範囲でご使用ください。

※1 電波が弱いまたは圏外のときは、電波の強い場所へ無線ルーター、電話/ファクス親機を移動してください。

②タッチボタンについて

タッチボタンは指で触れて操作します。タッチすると色が変わります。



録画一覧を表示します。(P.38)

- 新しく録画されたドアホンの未確認画像があるときは、ボタン上部に「お知らせ：新着の未確認あり」と表示されます。



ドアホンやカメラ側の様子を確認できます。(P.27、57)



別の親機やスマートフォンとビデオ通話をします。

- 未確認のビデオメッセージがあるときは、[ビデオ通話]左上に「未」が緑点灯します。(P.33)

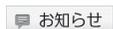


室内の相手を呼び出します。(P.30)



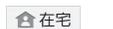
電気錠やエアコンなど、JEM-A対応機器のON/OFFや状態確認ができます。(P.64)

- 操作できる機器が未接続の場合、グレー表示となり操作できません。



お知らせ画面を表示します。(P.108)

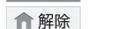
- お知らせがなければ、ボタンは表示されません。



警戒モードを切り替えます。(P.77)



- 現在のモードは青色で表示されます。



- 警戒モードは別売のカメラや窓/ドアセンサーを利用した機能です。対象機器が未接続時の場合、ボタンは表示されません。



メール通知のON/OFFを切り替えます。(P.84)



機能設定や情報表示、お手入れなどの操作画面を表示します。

映像表示画面について

①状態表示アイコン



②タッチボタン

操作案内などがあるときのみ表示されます。

①状態表示アイコンについて

	表示映像の撮影機器 (例) 1 : ドアホン1 1 : センサーカメラ1 1 : ワイヤレスカメラ1
	撮影中の機器との通信状態 : 通話中 : モニター中 : 連携した電話/ファクスが ドアホンと通話中
	録画中
	ドアホンの照明が「ON」
	プレストーク通話中 (P.26)
	SDカードの状態 : 通常の装着状態 (点滅) : データの読み出し中または書き込み中(この間SDカードを抜かないください) : SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側の状態 (P.15) : 書き込み不可
着信中の機器	別機器からの呼び出し (P.72) (アイコンはピンク色で表示) : ドアホン1～2のいずれか : センサーカメラ1～2のいずれか : ワイヤレスカメラ1～4のいずれか
	ドアホン(ワイヤレス)の電池が少なくなっている

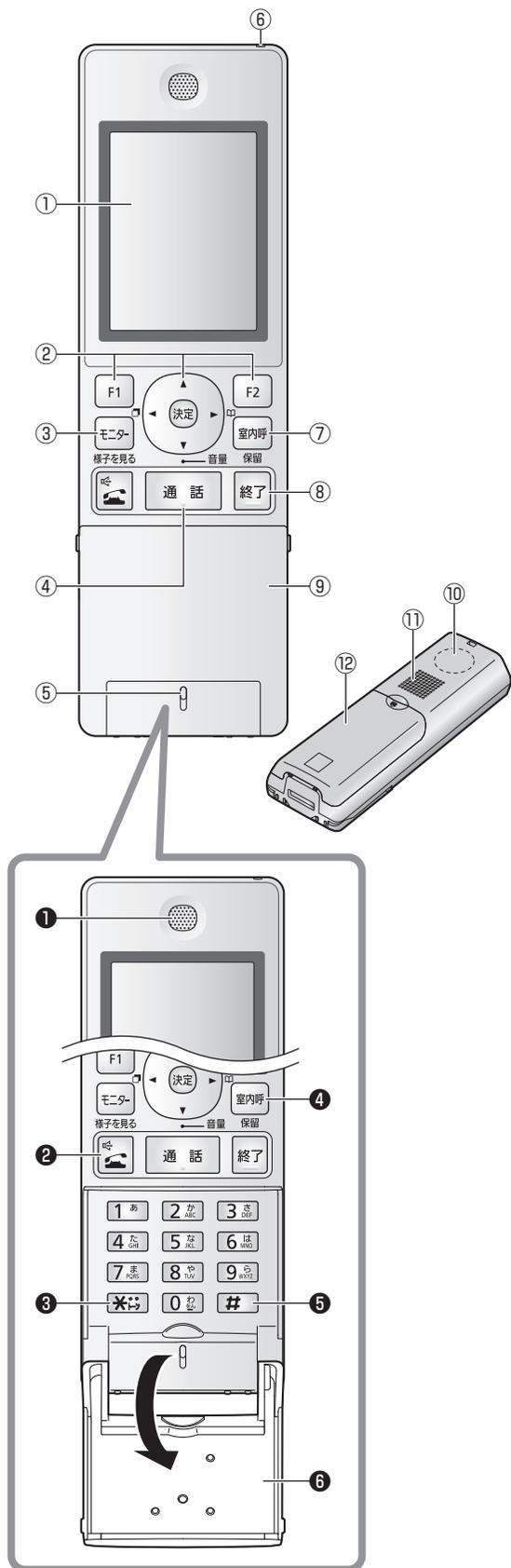
②タッチボタンについて

場面に応じて操作できるボタンが表示されます。タッチボタンは指で触れて操作します。タッチすると色が変わります。

● ボタンの表示/非表示について

[ボタン表示OFF] をタッチすると、映像全体が見やすくなります。再度表示する場合は [ボタン表示ON] をタッチしてください。

各部の名前と働き(子機)



- ① 液晶ディスプレイ
- ② マルチファンクションキー(P.21)
- ③ モニターボタン・ランプ(赤)
ドアホンやカメラ側の様子を確認できます。
- ④ 通話ボタン・ランプ(青)
ランプは、ドアホンからの着信中や室内呼の着信中に点滅、通話中は点灯します。
本書での表記：**通話**
- ⑤ マイク(送話口)
- ⑥ 充電ランプ
充電中に点灯します。
- ⑦ 室内呼・保留ボタン
● 室内の相手を呼び出します。(ドアホンの室内呼)
本書での表記：**室内呼**
- ⑧ 終了ボタン
本書での表記：**終了**
- ⑨ フリップ(閉じた状態)
- ⑩ アンテナ部(内蔵)
使用中、手で覆わないでください。
(電波の状態が悪くなります)
- ⑪ スピーカー
ドアホン通話(室内通話を含む)の際、ここから相手の声が聞こえます。手でふさがないようにください。
- ⑫ 電池カバー

■ 電話の機能には、**電話** と表記しています。
(電話/ファクスに増設すると使えます)

電話

- ① 受話口
電話(外線/内線)の際、ここから相手の声が聞こえます。顔などでふさがないようにください。
- ② 外線ボタン・ランプ(青)
電話をかけたり、スピーカーホン通話するときに使います。
- ③ スター(*)ボタン
ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときなどに使います。(トーン)
- ④ 室内呼・保留ボタン
● 室内の相手を呼び出します。(電話内線)
● 外線通話を保留します。
● 本書での表記：**室内呼**
- ⑤ シャープ(#)ボタン
- ⑥ フリップ(開いた状態)

子機での通話について

■ ドアホン通話や室内通話

相手の声はスピーカー (P.20①) から聞こえます。右のように子機を持って通話してください。



■ 電話 (外線通話や内線通話)

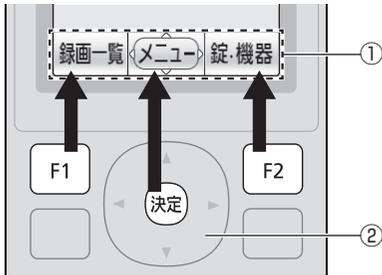
相手の声は受話口 (P.20 ①) から聞こえます。右のように子機の受話口を耳にあてて通話してください。



マルチファンクションキーの使いかた

画面に表示された機能进行操作したり、画面上の項目を選択するときに使います。

(例：待ち受け画面)



① F1 (録画一覧) F2 (錠・機器) で操作できる機能を表示します。

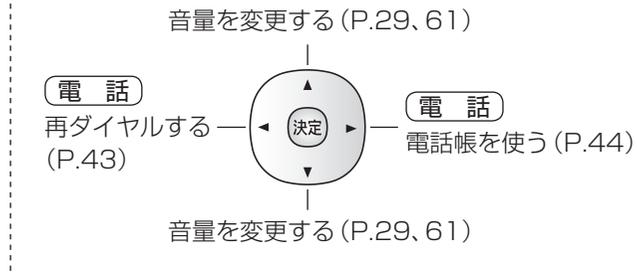
本書での表記：**F1**(録画一覧)
決定(メニュー)
F2(錠・機器)

- 「録画一覧」、「メニュー」、「錠・機器」の表示例は一例で、操作する画面ごとによります。
※画面の機能名がボタン名と同じ「決定」の場合は、記載を省略しています。

② 画面に表示される▲は、決定キーの向きを表します。

本書での表記：▼/▲/◀/▶

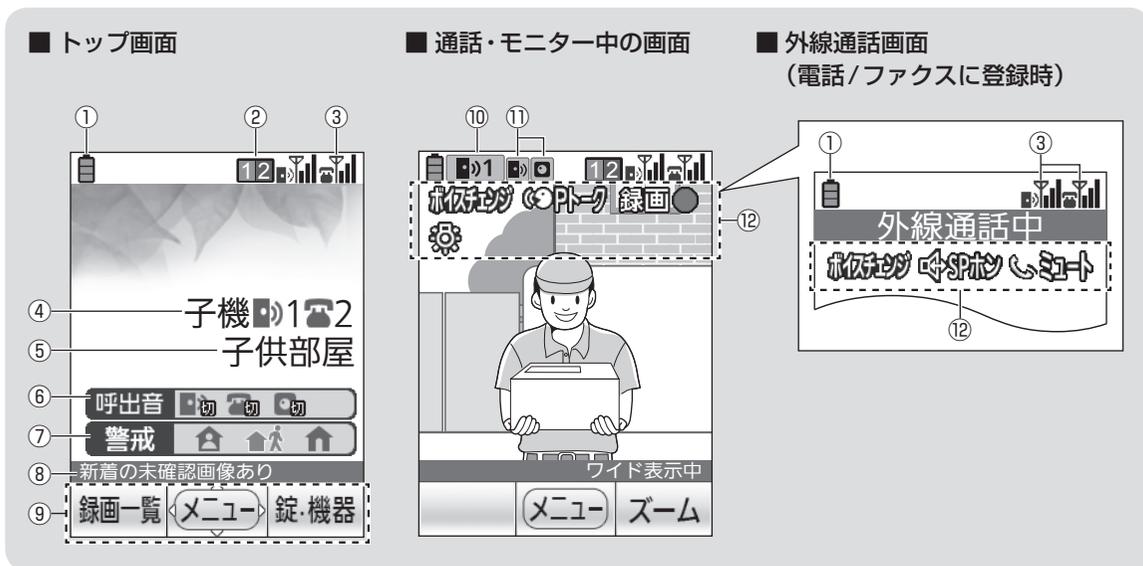
待ち受け画面では次のことができます



子機の画面について

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

- 電話の機能についての表示や説明には、「電話」と表記しています。



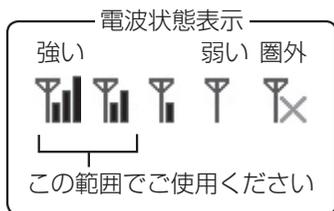
① 電池残量の目安 (P.24)

② 電気錠やエアコンなどの状態 (P.64)

12 ・数字が青点灯：施錠中/ON
 ・数字が赤点灯：解錠中/OFF

③ ：ドアホン親機からの電波状態

電話
：電話/ファクス親機からの電波状態



- 電波が弱いときや圏外の場合は親機に近づけてください。

※ カメラに関する表示は、カメラ連携時のみ表示されます。

④ 子機の番号や名前を表示します。
 1：テレビドアホンでの子機番号

電話
 2：電話/ファクスでの子機番号

⑤ 電話
 P.104「電話子機の名前」設定で登録した子機の名前(例：子供部屋)

⑥ 呼出音量が「切」のものを表示します。
：ドアホンの呼出音量が「切」

電話
：電話の呼出音量が「切」
：カメラの呼出音量が「切」*

⑦ 警戒モードの種類と設定状態を表示します。
 (現在のモードは青色で表示)

：「在宅」
：「留守」
：「解除」

⑧ お知らせしたい内容、現在の状態説明、操作案内などを表示します。

⑨ マルチファンクションキー (F1)、決定、(F2) で操作できる機能などを表示します。

⑩ 表示映像の撮影機器

- (例)  : ドアホン1
 : センサーカメラ1
 : ワイヤレスカメラ1*

⑪ 別機器からの呼び出し (P.72)

(アイコンはピンク色で表示)

-  : ドアホン1~2のいずれか
 : センサーカメラ1~2のいずれか
 : ワイヤレスカメラ1~4のいずれか*

⑫ 現在の状態をマークで表示する

 ドアホン通話のボイスチェンジ中 (P.29)

 プレストーク通話中 (P.26)

 録画中

 ドアホンの照明が「ON」
(P.29)

電話

 外線通話のボイスチェンジ中
(P.45)

 スピーカーホン通話中
(P.44)

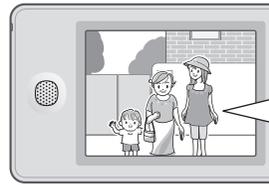
 ミュート中 (P.45)

 外線通話の録音中 (P.45)

※ カメラに関する表示は、カメラ連携時のみ表示されます。

子機の横画面表示について

映像表示中に子機を横向きにすると、画面が自動で回転します。縦画面より映像の表示範囲が広がってアイコンなども消えるので、映像全体が見やすくなります。



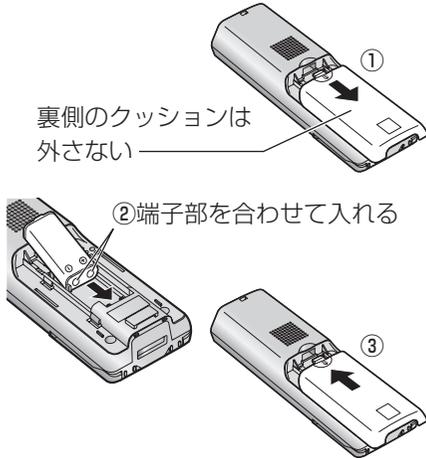
横画面表示中、マルチファンクションキーで操作する機能は使えません。縦画面に戻してから操作してください。

子機の設置・充電

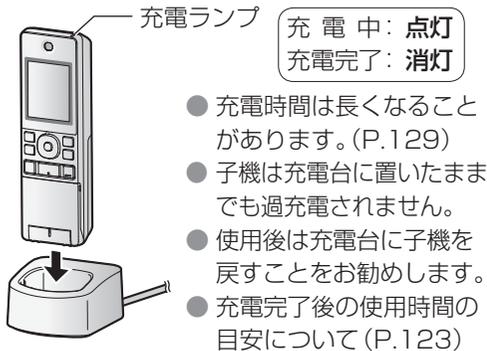
ドアホン親機の電源を入れた状態で充電してください。

電池パックの取り付けと充電

1 電池パックを入れる



2 電源コンセント(AC100V)に接続した充電台に子機を置き、約10時間充電する



■ 電池残量の目安

			(点滅)
多い	中くらい	少ない	充電が必要

🔔 お願い

- 1週間以上、子機を充電台から外したり、電源プラグを抜くときは、電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため電池パックを外してください。(次に使うときは充電してください)

電池パックの交換について

電池パックは消耗品です。約10時間充電しても通話数分後に電池残量表示(🔋)が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

- 交換の際は、別売品「KX-FAN55」(P.124)をお使いください(仕様:ニッケル水素電池、DC 2.4V、650mAh)

- 古い電池パックはリサイクルに…



- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープをはるかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。

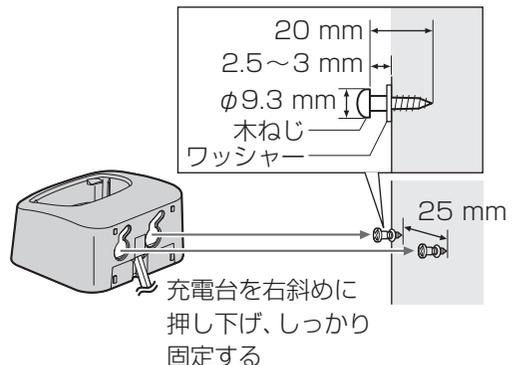
- ・製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
- ・一般社団法人JBRC および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

一般社団法人JBRCのホームページ
<http://www.jbrc.com>

- リサイクル時のお願い
- ・電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
- ・外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
- ・電池パックを分解しないでください。

子機を壁(柱)掛けするには

別売品の壁掛け用木ねじ・ワッシャー(P.124)を使うと壁掛けできます。壁掛け時の注意(P.10)をよくお読みのうえ、取り付けてください。



日時(時計)の設定

お買い上げ時は日時未設定でドアホン親機の「お知らせランプ」が点灯します。ドアホン親機で下記の操作を行い、必ず設定してください。

- 1 画面をタッチする
 - 日時の設定を促すお知らせ画面が表示されます。
- 2 お知らせ画面の「日時を設定する」をタッチする
 - 日時設定の画面が表示されます。
- 3 「+」または「-」をタッチして日時を合わせる
 - 「+」または「-」を長押しすると数字が早く切り替わります。
- 4 日時を合わせたら、「決定」をタッチする
 - 設定が完了し、画面が消灯します。

お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。
- 日時の変更は、機能設定の「日時設定」で行います。(P.87)

ドアホンのワイド/ズーム設定

ドアホンの映像を画面に映し出すときの、表示のしかたを設定します。

- 来客時やモニター時の表示について、それぞれ、下記の3つから選んで設定できます。

ワイド表示



(お買い上げ時の設定)

ズーム表示



(ワイド表示の約2倍)

全体表示



(ドアホン親機のみ)

ワイド表示の場合、ドアホン親機では全体表示に比べて、上下の映像が少し切れます。

- 設定はドアホン親機で行います。

- 1 トップメニューの「設定/情報」→「設定を変更」→「最初の設定」→「ドアホンのワイド/ズーム設定」をタッチする
 - 設定できるドアホン番号が表示されます。
- 2 設定するドアホン番号をタッチし、「来客時」または「モニター時」をタッチする
- 3 表示のしかた(ズーム、ワイド、全体)を選んでタッチする
 - 設定完了です。画面を終了するには「終了」を押してください。

お知らせ

- 「ズーム」に設定したとき
 - ・ 録画の際は、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
 - ・ ドアホンの設置場所によっては、来客が画面の端に映ったり、画面に映りきらない場合があります。下記の「ドアホンのズーム位置設定」をしてください。

ドアホンのズーム位置設定

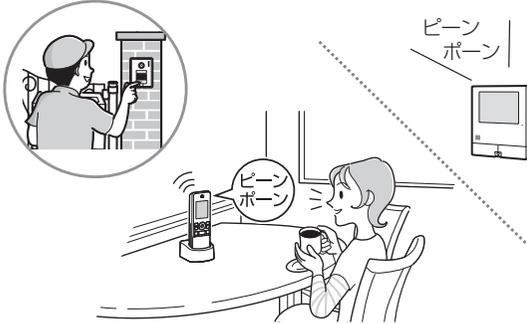
ドアホンの映像をズームで表示するとき、映像のどの位置をズームするかを設定します。

- 人物がなるべく中心に映るような位置を設定してください。
- 設定はドアホン親機で行います。

- 1 トップメニューの「設定/情報」→「設定を変更」→「最初の設定」→「ドアホンのズーム位置設定」をタッチする
 - 設定できるドアホン番号が表示されます。
- 2 設定するドアホン番号をタッチする
 - 現在の映像がワイド表示されます。
- 3 ズーム位置に設定する場所をタッチする
 - タッチした場所がズーム表示されます。
- 4 「この位置に決定」をタッチする
 - 設定完了です。

来客の呼び出しに応答する

ドアホンの呼出ボタンが押されると呼出音が鳴り、相手の映像が映ります。(ドアホン着信)
応答すると、約2分間、通話ができます。



- 1 ドアホンからの呼出音が鳴ったら、映像を確認して「通話」を押し、相手と話す
- 2 終わったら、「終了」を押す

声で応答する(音声応答)

P.87「音声応答」の設定を「する」にしておくと、ドアホン親機では、ボタンを押さずに声で応答できます。(子機ではできません)

- 1 ドアホンからの呼出音が鳴ったら、映像を確認し、ドアホン親機に向かって「はい」などの声で応答し、そのあと相手と話す
 - が表示されたら、相手と話せます。



- 2 終わったら、「終了」を押す

お知らせ

- 着信(ドアホンからの呼び出し)は約30秒です。
- 通話時は、マイクから約50 cm以内で相手と交互に話してください。同時に話すと声が途切れます。
- 音声応答設定時は、周囲音(ペットの鳴き声、テレビの音、子機の呼出音、電話/ファクスの連携した呼出音など)に反応して応答してしまうことがあります。
- 「ただいまコール」(P.16)の呼びかけには、音声応答できません。

周囲が騒がしく話しにくいとき (プレトーク通話)

送話と受話を手動で切り替える通話方式です。自分や相手の周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。

- 1 通話中、「ピッ」と鳴るまで

「通話」を約2秒間押す

-  (子機では )が表示され、プレトーク通話に切り替わります。

- 2 相手と話す

■ 話すとき(送話)

「通話」を押したまま話す

(押ししている間、相手の声は聞こえません)

■ 聞くとき(受話)

「通話」から指を離す

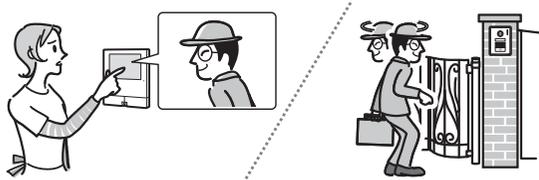
(こちらの声は相手に聞こえません)

お知らせ

- プレトーク通話機能は、ワイヤレスカメラとの通話や室内通話でも利用できます。

ドアホン側の様子を見る (モニター)

ドアホン側(玄関)の様子を、映像と音で確認できます。(室内の声はドアホン側には聞こえません)



ドアホン親機の場合

1 トップメニューの[モニター]をタッチする

- モニターできる機器が1台の場合、手順2のモニター画面が表示されます。
- モニターできる機器が複数ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)



- ① 機器選択ボタン(ご利用の機器のみ表示)
- ② ドアホン切替ボタン
(タッチすると表示映像が切り替わる)
- ③ 選択されているドアホンの映像
(例: ドアホン1の映像)

2 機器選択ボタンの[ドアホン]→モニターするドアホン番号→映像をタッチする

- 選んだドアホンのモニター画面になり、ドアホン側の音声がかかります。

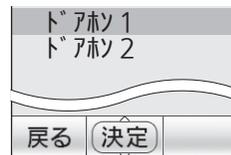


- モニター画面は約3分で自動的に終了します。途中で終了するには[終了]を押してください。

子機の場合

1 [モニター]を押す

- モニターできる機器が1台の場合、手順2のモニター画面が表示されます。
- モニターできる機器が複数ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)



2 ▼/▲でモニターするドアホンを選び、[決定]を押す

- 選んだドアホンのモニター画面になり、ドアホン側の音声がかかります。



- モニター画面は約3分で自動的に終了します。途中で終了するには[終了]を押してください。

お知らせ

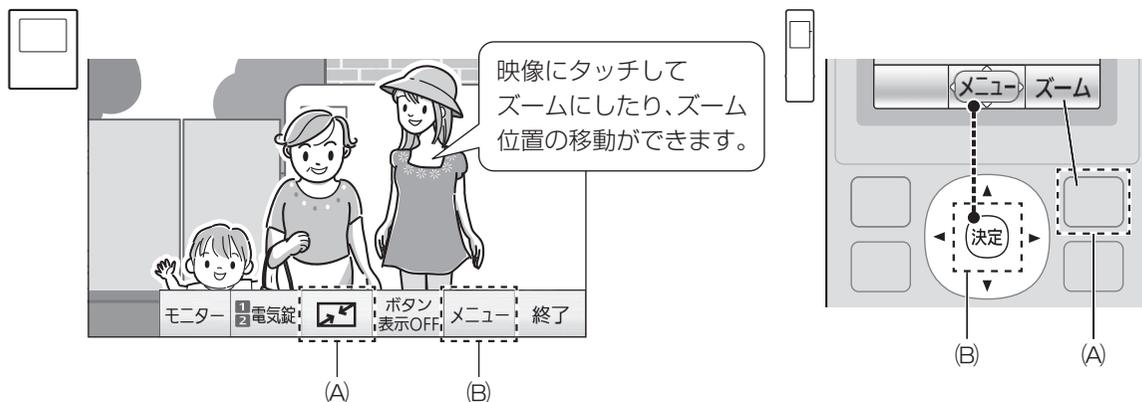
- ドアホン親機では機器選択画面で映像が表示されますが、音声は聞こえません。
- モニター中に、[通話]を押して相手に話しかけることもできます。

ドアホン通話中・モニター中の機能

ワイド/ズームの機能を使って映像を見やすくしたり、メニュー機能を使った様々な操作ができます。

● 次の機能については、それぞれの説明ページをお読みください。

タッチボタン表示のON/OFF (P.19)、映像の手動録画 (P.37)、電気錠の施錠/解錠 (P.63)



(A)ワイド表示と全体表示を切り替えるときに使います。

ズーム表示中は、ワイド表示に戻すボタンになります。

(B)P.29のメニュー機能を使うときに操作します。

ワイド/ズーム機能を使う

表示中の映像をワイドまたはズームにしたり、ズーム位置を切り替えたりすることができます。

表示の切り替え、ズーム位置の移動			
ワイド表示 	▶	ズーム表示 	拡大したい位置をタッチする [F2]を押す
全体表示 	▶	ズーム表示 	—
ズーム表示 	▶	ワイド表示 	Qワイドをタッチする [F2]を押す
全体表示 	▶	ワイド表示 	Qワイドをタッチする —
ワイド表示 	▶	全体表示 	Qワイドをタッチする —
ズーム表示中に 見たい位置を変える		見たい位置をタッチする	▼/▲/◀/▶を押す

お知らせ

- P.28の操作をしても、画面を終了して次に映像を表示するときは、P.25の「ドアホンのワイド/ズーム設定」「ドアホンのズーム位置設定」に従って表示します。
- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
- ワイド/ズームの機能は、着信中も操作できます。

ドアホン通話中・モニター中にメニュー機能を使う

画面の明るさ変更		[メニュー]をタッチ→[表示]をタッチ(※)→[暗く]または[明るく]をタッチして明るさを変更する	
		[決定](メニュー)を押す→▼/▲で[明るさ]を選んで[決定]を押す→◀/▶で明るさを変更する	
逆光補正 ● 来客の顔が見えにくいとき		[メニュー]をタッチ→[表示]をタッチ(※)→[逆光補正]をタッチして設定を変更する	設定について※1 「+」: 顔を明るくします 「OFF」: 補正しません 「-」: 顔を暗くします
		[決定](メニュー)を押す→▼/▲で[逆光補正]を選んで[決定]を押す→◀/▶で設定を変更する	
ドアホン照明のON/OFF		[メニュー]をタッチ→[表示]をタッチ(※)→[照明]をタッチしてON/OFFする	
		[決定](メニュー)を押す→▼/▲で[ドアホン照明]を選んで[決定]を押す→◀/▶でON/OFFする	
受話音量の変更 ● 室内側に聞こえる音量を変えたいとき		[メニュー]をタッチ→[音]をタッチ(※)→[小さく]または[大きく]をタッチして受話音量を変更する	
		[決定](メニュー)を押す→▼/▲で[受話音量]を選んで[決定]を押す→▼/▲で受話音量を変更する	
送話音量の変更 ● ドアホン側に聞こえる音量を変えたいとき		[メニュー]をタッチ→[音]をタッチ(※)→[送話音量]をタッチして設定(小/標準)を変更する	
ボイスチェンジ ● 女性の声を、男性のような低い声に変えたいとき		[メニュー]をタッチ→[音]をタッチ(※)→[ボイスチェンジ]をタッチする	
		[決定](メニュー)を押す→▼/▲で[ボイスチェンジ]を選んで[決定]を押す	

※1 ご使用のドアホンによってはON/OFFのみの設定の場合があります。

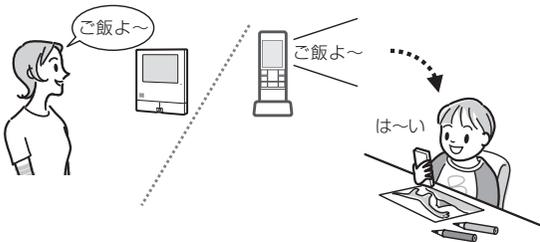
お知らせ

- 画面の明るさ、逆光補正、ドアホンの照明は、着信中も操作できます。着信中に操作するときは、上記手順中の(※)の操作は不要です。
- ご使用のドアホンがVL-V500の場合、逆光補正と照明の設定はできません。

室内の相手呼び出す (室内呼)

ドアホン親機や子機を呼び出し、相手が出たらスピーカーホンで室内通話ができます。

- 呼び出しは約30秒、室内通話は約60秒です。



ドアホン親機から呼び出すとき

- 1 トップメニューの [] 室内呼 をタッチする

- 呼び出せる機器が1台の場合、「プー」音が鳴り「呼出中」と表示されます。(手順3へ)
- 呼び出せる機器が複数ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)



- 2 相手を選んでタッチする

- [一斉呼出] をタッチすると、すべての機器を呼び出します。

- 3 「プー」音に続けて相手に呼びかける

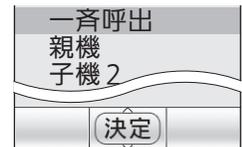
- 相手が出たら、通話もできます。

- 4 終わったら、[終了] を押す

子機から呼び出すとき

- 1 [室内呼] を押す

- 子機を電話/ファクスに登録済みの場合、「室内呼/内線」の選択画面が表示されます。
▼/▲で [ドアホン室内呼] を選び、[決定] を押してください。
- 呼び出せる機器が1台の場合、「プー」音が鳴り「親機を呼出中」と表示されます。(手順3へ)
- 呼び出せる機器が複数ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)



- 2 ▼/▲で相手を選んで [決定] を押す

- [一斉呼出] を選ぶと、すべての機器を呼び出します。

- 3 「プー」音に続けて相手に呼びかける

- 相手が出たら、通話もできます。

- 4 終わったら、[終了] を押す

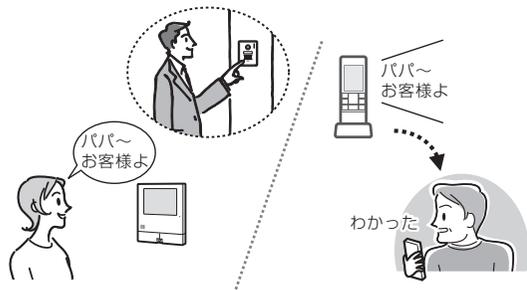
呼び出しに応答するとき

- 1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、[通話] を押して話す

ドアホン通話を転送する

ドアホン通話中に、別の部屋にいる相手呼び出し、通話を転送できます。

- 通話転送時の室内通話の音声は、ドアホン側には聞こえません。



ドアホン親機から転送するとき

- 1 ドアホン通話中に [通話転送] をタッチする

- 転送できる機器が1台の場合、「プー」音が鳴り「呼出中」と表示されます。(手順3へ)
- 転送できる機器が複数ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)



- 2 相手を選んでタッチする

- [一斉呼出] をタッチすると、すべての機器を呼び出します。

- 3 「プー」音に続けて相手に呼びかける

- 相手が出ないとき、ドアホン通話に戻るには、[来客と話す] をタッチします。

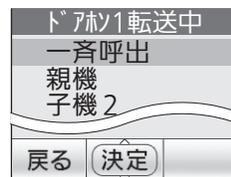
- 4 相手が出たら、通話を転送することを伝え、[来客と話してもらう] をタッチする

- 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できます。

子機から転送するとき

- 1 ドアホン通話中に [室内呼] を押す

- 転送できる機器が1台の場合、「プー」音が鳴り「親機を呼出中」と表示されます。(手順3へ)
- 転送できる機器が複数ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)



- 2 ▼/▲で相手を選んで [決定] を押す

- [一斉呼出] を選ぶと、すべての機器を呼び出します。

- 3 「プー」音に続けて相手に呼びかける

- 相手が出ないとき、ドアホン通話に戻るには、[通話] を押します。

- 4 相手が出たら、通話を転送することを伝え、[終了] を押す

- 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できます。

転送を受けるとき

- 1 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、[通話] を押し、転送元の相手と話す

- 2 転送元との室内通話が終了してドアホンの映像が映ったら、ドアホン側の相手と話す

ビデオ通話機能を利用する

ドアホン親機間・ドアホン親機とスマートフォン間で、ビデオ通話をしたり、ビデオメッセージを残すことができます。

この機能を利用する前に準備が必要です。まずは「取扱説明書 接続設定ガイド」に従って接続設定をしてください。

- 相手のドアホン親機はP.125の対応機種をお読みください。
- 相手を呼び出す前に、事前に親機カメラを調整し、自分の画像を適切な位置にしてください。(P.17)

ビデオ通話をする

約10分間ビデオ通話ができます。

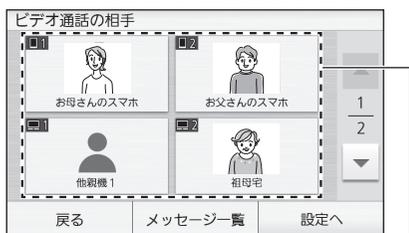
操作中表示されるアイコンについて

 1～4 /  1～4: 通話相手の機器がドアホン親機/スマートフォンであることを意味します。数字は登録番号です。

相手にかける

- 1 トップメニューの[ビデオ通話]をタッチする

- 通話相手を選択する画面が表示されます。



登録した通話相手の画像

- 2 通話相手の画像をタッチする

- 呼出画面が表示されます。



自分のドアホン親機のカメラが撮影している映像(撮影角度の調整についてはP.17)

- 3 [呼出]をタッチする

- 相手が応対したら通話します。

- 4 通話が終わったら[終了]を押す

呼び出しを受ける

- 1 呼出音が鳴ったら[通話]をタッチする



登録した通話相手の画像

- 対応しない場合は[終了]をタッチしてください。

- 2 通話が終わったら[終了]を押す

ビデオメッセージを残す

約1分間のビデオメッセージを相手に残せます。

- 1 「相手にかける」の手順1～2を行う
- 2 [ビデオメッセージ録画開始]をタッチする
- 3 「ピッ」と音が鳴ったらカメラに向かって話す



- 4 録画が終わったら[終了]をタッチする

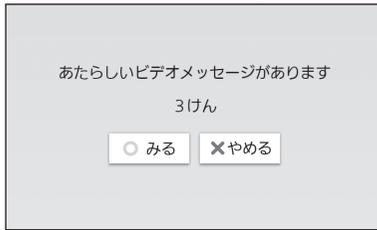
- 相手先のドアホン親機では、ビデオメッセージを受信すると、呼出音が鳴ります。

お知らせ

- ビデオメッセージの記録先と件数については(P.35)
- 相手に残したビデオメッセージは、本機で再生できません。

受信したビデオメッセージを再生する

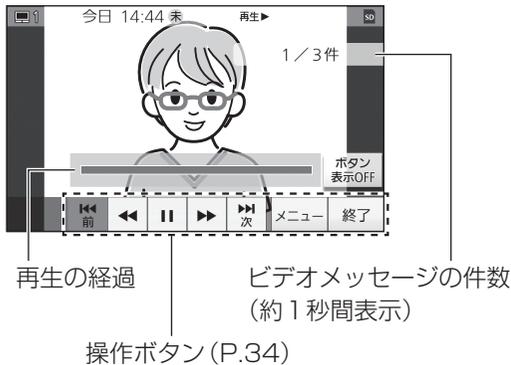
ビデオメッセージを受信すると、お知らせランプが点滅し、呼出音（ポーンポーン）が鳴ります。画面をタッチすると、ビデオメッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。



■ すぐに再生する場合

[みる] をタッチします。

新着および未確認のビデオメッセージが、受信した順に自動再生されます。



再生が終了すると、もう一度再生するかどうかの確認画面が表示されます。もう一度見る場合は [もういちどみる]、やめる場合は [やめる] をタッチしてください。

画面に表示されるアイコンについて

アイコン	意味
1~4	ビデオメッセージ送信者の機器 (ドアホン親機/スマートフォン)
1~4	SDカードのビデオメッセージ再生中
	消音中
再生▶	
	現在の再生状態 (再生中・一時停止中・早戻し中・早送り中)

■ あとで再生する場合

[やめる] をタッチします。

トップメニューが表示されます。

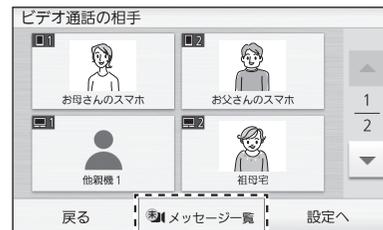
あとで再生するとき

未確認のビデオメッセージがあるときは、トップメニューの [ビデオ通話] 左上に「未」が緑点灯してお知らせします。



1 トップメニューの [ビデオ通話] をタッチする

- [メッセージ一覧] に「未」が緑点灯したカメラアイコンが表示され、未確認のビデオメッセージがあることをお知らせします。



2 [メッセージ一覧] をタッチする

- ビデオメッセージ一覧画面が表示されます。



未確認のビデオメッセージ

ビデオメッセージの受信日時と送信者名

記録先切替ボタン

- ドアホン親機とSDカードの両方にビデオメッセージが記録されている場合は、ビデオメッセージの記録先に応じて一覧を切り替えます。記録先切替ボタンをタッチして切り替えてください。
[本体メモリーを表示] :
ドアホン親機本体に記録されたビデオメッセージの一覧を表示します。
[SDカードを表示] :
SDカードに記録されたビデオメッセージの一覧を表示します。

3 再生するビデオメッセージをタッチする

- 選択したビデオメッセージの再生画面が表示され、ビデオメッセージが自動再生されます。再生画面については「受信したビデオメッセージを再生する」の「すぐに再生する場合」(P.33)をお読みください。

4 終わったら[終了]をタッチする

お知らせ

- SDカードにビデオメッセージが記録されていない場合は、手順2の[メッセージ一覧]が表示されません。ドアホン親機本体に記録されているビデオメッセージを確認する場合は、操作の前にSDカードを外してください。SDカードの取り出し方についてはP.15をお読みください。

再生中にできる操作

ビデオメッセージを再生中は、操作ボタンで各操作ができます。



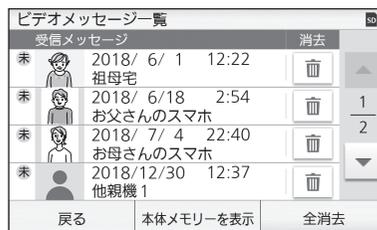
ボタン	はたらき
[前] / [次]	メッセージの件送り (前の件/次の件)
[<<] / [>>]	再生メッセージの早戻し/早送り
[]	再生の一時停止
[▶]	再生の再開 (停止位置から再開)
[メニュー]	映像の音量や画面の明るさの設定メニューを表示 (P.35)

受信したビデオメッセージを消去する

ビデオメッセージ一覧画面で消去する

1 トップメニューの[ビデオ通話] → [メッセージ一覧]をタッチする

- ビデオメッセージ一覧画面が表示されます。



2 ビデオメッセージを消去する

■ 全メッセージを消去する

[全消去]をタッチする

■ 個別に消去する

消去する送信者名の右の[ゴミ箱]をタッチする

3 [はい]をタッチする

ビデオメッセージを再生中に消去する

1 ビデオメッセージを再生中に[メニュー] → [消去] → [はい]をタッチする

自分の映像を相手に送らないようにする

ビデオ通話中・ビデオメッセージ録画中に、自分の映像を相手に送るかどうかを設定します。自分の映像を送らない場合は、音声のみ相手に届きます。

1 通話中・録画中に [相手に映像を送らない] をタッチする

- 自分の映像が非表示になります。



- 相手に映像を送る場合は、[相手に映像を送る] をタッチしてください。

お知らせ

- ドアホン親機のカメラがオフになっている場合は、「カメラがオフです」と表示されます。映像を相手に送る場合は、カメラをオンにしてください。詳しくはP.17をお読みください。

音量・画面の明るさを調整する

ビデオ通話中・ビデオメッセージ再生中に調整できます。

1 ビデオ通話中・ビデオメッセージ再生中に [メニュー] をタッチする

- 操作ボタンが表示されます。

2 下記の操作をする

■ 音量を調整するとき

[小さく] または [大きく] をタッチする音を消すには **消音** が表示されるまで [小さく] を繰り返しタッチします。(解除するには [大きく] をタッチ)

- ビデオ通話中は「消音」はできません。

■ 画面の明るさを調整するとき

[暗く] または [明るく] をタッチする

ビデオメッセージの記録先と件数について

■ ビデオメッセージの記録先について

- 別のドアホン親機宛てのとき
録画は相手先のドアホン親機に記録されません。
- スマートフォン宛てのとき
録画は本機に記録され、ビデオメッセージがあることをスマートフォンへ通知します。通知が届いたら、スマートフォンで本機に記録されているビデオメッセージを再生します。(本機でビデオメッセージを再生することはできません)

■ 本機に記録できるビデオメッセージの件数

受信したビデオメッセージとスマートフォン宛てのビデオメッセージは、ドアホン親機の本体メモリーに記録されます。SDカードを入れるとSDカードに記録されます。

ビデオメッセージの記録先	ビデオメッセージの種類	最大件数
ドアホン親機または2 GBのSDカード	受信したビデオメッセージ	10件
	スマートフォン1～4宛てのビデオメッセージ	各5件
4 GB以上のSDカード	受信したビデオメッセージ	100件
	スマートフォン1～4宛てのビデオメッセージ	各50件

■ 本機に記録されたビデオメッセージを消去するには

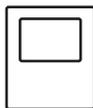
- 受信したビデオメッセージを消去するには (P.34)
- スマートフォン宛てのビデオメッセージを消去するには (P.108「情報表示画面を見る」の「情報表示画面」)

録画・録音機能について

映像・音声の記録について

ドアホンの映像と音声はドアホン親機の本体メモリーに記録されます。**カメラの映像と音声も記録する場合は、ドアホン親機にSDカードを入れてください。**

- ビデオメッセージの記録先と件数はP.35を参照してください。



ドアホン親機の本体メモリー
ドアホンの映像と音声を記録



ドアホン親機に
SDカードを入れると



SDカード
ドアホン・カメラの映像と音声を記録

お知らせ

- 録画の記録先は、SDカードを入れるとSDカード、SDカードがないとドアホン親機の本体メモリーになります。(記録先は選べません)
- SDカードの取り扱いや使用可能なSDカードについては(P.115、122)
- 本体メモリーに記録した画像はSDカードにコピーできます。(P.120)
- SDカードに記録した画像はパソコンで再生できます。(P.121)

録画時間と件数



ドアホン親機の本体メモリー

記録内容：ドアホンの映像と音声

録画時間：約1時間

録画件数：100件

最大保護件数：20件



SDカード

記録内容：ドアホン・カメラの映像と音声

録画時間と録画件数：右表

最大保護件数：ドアホン・カメラ合わせて20件

下表は次の条件下での目安です。

- 未使用のSDカードを使用
- 1件あたりの録画時間が約30秒

容量	ドアホンまたはセンサーカメラの映像・音声のみ記録した場合		ワイヤレスカメラの映像・音声のみ記録した場合	
	時間	件数	時間	件数
2 GB	約3.3時間	400件	約13.3時間	1600件
4 GB	約3.3時間	400件	約13.3時間	1600件
8 GB	約10.8時間	1300件	約25時間	3000件 (録画件数の上限)
16 GB	約25時間	3000件 (録画件数の上限)		
32 GB				
48 GB				
64 GB				
128 GB				

- カメラをご使用の場合は、4 GB以上のSDカードをお使いいただくことをお勧めします。
- 実際の録画時間・件数とは異なる場合があります。

録画がいっぱいになったとき (録画の自動更新)

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。

(手動で画像を消去しなくても、録画できます)

ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。

(P.39、41)

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

ドアホン映像や音声の録画・録音

着信時(来客からの呼び出し)、通話時、モニター時にそれぞれ次のように録画・録音ができます。

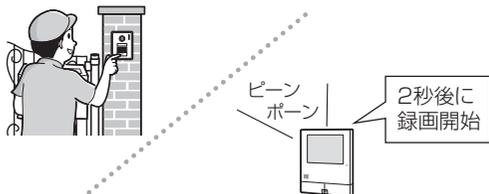
お知らせ

- 録画・録音中は、画面に「録画●」と表示されます。
- 着信・通話・モニター時の録画の際に記録される内容については(P.36)
- 来客に応答したときや、通話・モニター時の録画・録音は、録画再生の際に確認済み扱いになります。

来客時の映像を自動で録画・録音する

来客から呼び出し(ドアホン着信)があると、映像表示から約2秒後に、相手の映像を自動で録画します。(P.93「ドアホン着信自動録画」:初期値「する(録画のみ)」)

- 音声も記録する場合は「ドアホン着信自動録画」の設定を「する(録画+録音)」に変更してください。
- 1件あたり最大約30秒の動画または音声付き動画を録画します。



- 複数のドアホン着信が重なったときあとの着信を優先して録画します。(最初の録画は途中で中止されます)
- ドアホンとの通話中に別のドアホンから着信があったとき通話を終わらせて着信中のドアホン映像を表示しないと録画されません。

■ 留守中の録画(来客)はランプや画面でお知らせします

応答しなかったときの録画は未確認画像として記録し、次のように通知します。

- ドアホン親機
お知らせランプが点灯し、トップメニューに「お知らせ:新着の未確認あり」を表示



お知らせランプを点灯させたくないときは、P.95「お知らせランプ点灯」設定を「しない」にしてください。

- 子機
トップ画面に「新着の未確認画像あり」を表示

ドアホンとの通話内容を自動で録画・録音する

あらかじめ、P.93「ドアホン通話全記録」の設定を「する」に変更してください。変更すると、ドアホン親機や子機でドアホン側と通話するときに、映像と会話を自動で録画・録音します。

- 来客の呼び出しに通話応答したときは、着信から通話終了までを1件として最大約120秒の音声付き動画を録画します。
- 本機と連携設定した電話/ファクスやスマートフォンで来客応答(ドアホン通話)したときの通話内容は、記録されません。

モニター中の映像を手動で録画する

録画したいときに、下記の操作をしてください。

ドアホン親機の場合

- 1 モニター映像を表示中に、[録画] をタッチする

子機の場合

- 1 モニター映像を表示中に、**[決定]**(メニュー)を押す
- 2 ▼/▲で [録画] を選び、**[決定]**を押す

プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

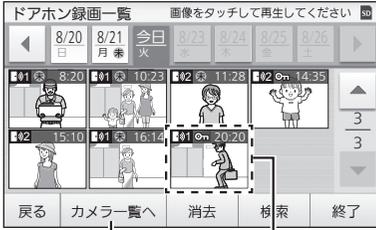


ドアホン親機で録画を再生する

1 トップメニューの

[録画の一覧] をタッチする

- 録画一覧画面が表示されます。



選択された日の最新画像

- [カメラ一覧へ] をタッチすると、カメラの録画一覧に切り替わります。

2 録画を見たい日付ボタンをタッチし、見たい画像を選んでタッチする

- 選んだ画像の再生画面になり、録画内容が自動再生されます。



再生の経過

- センサーカメラの録画画像には、[前録] ボタンが表示されます。(右表を参照)

3 終わったら、[終了]を押す

■ 録画一覧画面のボタンについて

ボタン	はたらき
[◀]/[▶]	週の切り替え (前週/次週)
[▲]/[▼]	ページ切り替え (前ページ/次ページ) ● 録画件数が9件以上で表示
[カメラ一覧へ]	カメラの録画一覧へ
[ドアホン一覧へ]	ドアホンの録画一覧へ
[消去]	選んだ日付の録画(一日分)を消去
[検索]	検索メニューを表示 (P.39)

■ 画像再生中のボタンについて

ボタン	はたらき
[前]/[次]	画像の件送り (前の件/次の件)
[◀◀]/[▶▶]	再生画像の早戻し/早送り
[]	再生の一時停止
[▶]	再生の再開 (停止位置から再開)
[メニュー]	画像の保護や消去、再生音量や明るさの設定メニューを表示 (P.39)
[ボタン表示OFF]/[ボタン表示ON]	映像に重なって表示されるタッチボタン・アイコンなどを表示OFF/表示ON (P.19)

<センサーカメラの録画の場合>
検知1秒前から約0.3秒おきに録画した画像を表示(最大9枚の静止画)



[前録]

画像をタッチ ↓ ↑ [戻る] をタッチ



録画一覧や画像再生中のアイコンについて

アイコン	意味
	SDカードの録画再生中
	未確認のドアホン画像あり、 または未確認のドアホン画像
	撮影機器 (上からドアホン1、センサーカメラ1、ワイヤレスカメラ1)
	保護設定した画像
再生▶ 	現在の再生状態 (再生中・一時停止中・早戻し中・早送り中)
	消音中

再生音量や画面の明るさを変える

- 1 画像再生中に [メニュー] → [音量・明るさ] をタッチする
- 2 下記の操作をする
 - 音量を変えるとき
 - [小さく] または [大きく] をタッチする
 - 音を消すには、**消音** が表示されるまで [小さく] を繰り返しタッチします。(解除するには [大きく] をタッチ)
 - 明るさを変えるとき
 - [暗く] または [明るく] をタッチする

画像を保護する

最大保護件数については (P.36)

- 1 画像再生中に [メニュー] → [保護] をタッチする

保護解除するとき

- 1 保護画像を再生中に [メニュー] → [保護解除] をタッチする

画像を消去する

「画像全消去」もできます。(P.93)

再生中の画像を消去するとき

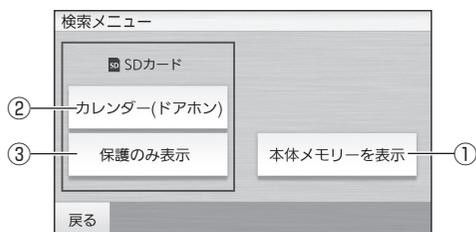
- 1 画像再生中に [メニュー] → [消去] → [はい] をタッチする

1日分をまとめて消去するとき

- 1 録画一覧画面の日付ボタン → [消去] → [はい] をタッチする

検索メニューを使って画像を探す

- 1 録画一覧画面の [検索] をタッチする
 - 検索メニュー画面が表示されます。



- ① 検索先 (本体メモリー/SDカード) を切り替えます。(どちらか一方にしか録画がなければ表示されません)
- ② カレンダーによる検索を行います。
- ③ 保護画像の録画一覧から検索を行います。

- 2 [カレンダー] または [保護のみ表示] をタッチする

■ [カレンダー] を選んだとき

画像を探したい日付ボタンをタッチする



- 選んだ日付の録画一覧が表示されます。(あとはP.38の手順2へ)

■ [保護のみ表示] を選んだとき

保護画像の一覧から見たい画像をタッチする



子機で録画を再生する

1 トップ画面で[F1](録画一覧)を押す

- 録画一覧画面が表示されます。

ドアホン録画一覧		
10/ 6(日)	3件	
10/ 7(月)	1件	
10/ 8(火)	2件	
未 10/ 9(水)	1件	
未 10/10(木)	3件	
10/11(金)		
10/12(土)		
		[決定] カメラ

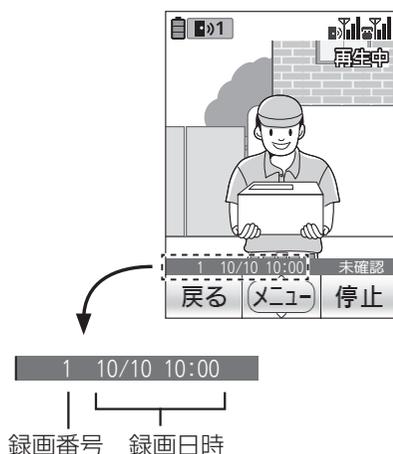
- [F2](カメラ)を押すと、カメラの録画一覧に切り替わります。

2 ▼/▲で録画を見たい日付を選び、[決定]を押す

10/10 (木)
3件

3 [決定]を押す

- 再生画面になり、選んだ日付以降に録画された内容が古い順に自動再生されます。



4 終わったら、[終了]を押す

■ 録画一覧画面のボタンについて

ボタン	はたらき
[F2](カメラ)	カメラの録画一覧へ
[F2](ドアホン)	ドアホンの録画一覧へ

■ 画像再生中のボタンについて

ボタン	はたらき
[決定](メニュー)	画像の保護や消去、再生音量や明るさの設定メニューを表示 (P.41)
[F2](停止)	再生を停止
[F2](再生)	停止した画像の頭から再生を再開
▼/▲	画像の件送り (前の件/次の件)

■ 録画一覧や画像再生中のアイコンについて

アイコン	意味
未	未確認のドアホン画像あり
 1	撮影機器 (上からドアホン1、センサーカメラ1、ワイヤレスカメラ1)
 1	
 1	
消音	消音中 (P.41)
再生中	再生中
停止中	停止中
未確認	未確認のドアホン画像
 1	保護設定した画像

再生音量や画面の明るさを変える

- 1 画像再生中に**[決定]**(メニュー)を押す
- 2 ▼/▲で変更する項目(音量^{*1}/明るさ)を選び、**[決定]**を押す
 - 音量を選んだとき
 - ▼/▲で音量を変更する
 - 音を消すには、**[消音]**が表示されるまで▼を押します。
(解除するには▲を押す)
 - 明るさを選んだとき
 - ◀/▶で明るさを変更する

※1 音声付き画像の場合のみ設定できます。

画像を消去する

子機では、再生中の画像のみ消去できます。

- 1 画像再生中に**[決定]**(メニュー)を押し、▼/▲で**[一件消去]**を選んで**[決定]**を押す
- 2 **[F1]**(はい)を押す

画像を保護する

最大保護件数については(P.36)

- 1 画像再生中に**[決定]**(メニュー)を押し、▼/▲で**[保護]**を選んで**[決定]**を押す

保護解除するとき

- 1 保護画像を再生中に**[決定]**(メニュー)を押し、▼/▲で**[保護解除]**を選んで**[決定]**を押す

お知らせ

- 画像再生中に**[決定]**(メニュー)を押して再生音量や明るさ変更などをした場合、設定が終わると、再度、再生中の画像の頭から再生を開始します。

電話/ファクスとの連携について

電話/ファクスで来客応答ができます。また、子機 **WD618** を電話/ファクスの子機としても使うことができます。

- 連携できる電話/ファクスは1台のみ。
(対応機種はP.124)
- 連携の用途に応じた登録操作が必要です。電話/ファクス側の操作は、ご使用の機器の説明書をお読みください。
- ドアホンアダプター (VE-DA10/VE-DA10-H) を使って、ドアホン親機と電話/ファクス親機を接続することはできません。

電話/ファクスで来客応答ができるようにする (ワイヤレスアダプター機能登録)

ドアホン親機と電話/ファクス親機で操作を行います。

電話/ファクス親機の操作

(例: KX-PD615)

- 1 **【機能】** → **#164** を押す
- 2 **【▼】【▲】** で「増設」を選び、**【決定】** を押す
 - 続けて、約2分以内にドアホン親機で下記の操作をしてください。

ドアホン親機の操作

- 3 トップメニューの **【設定/情報】** → **【設定を変更】** → 画面右下の **【▼】** → **【接続機器の登録/減設】** → **【登録】** → 画面右下の **【▼】** → **【電話/ファクス (ワイヤレスアダプター)】** をタッチする
- 4 登録が終わったら、**【終了】** を押す

■ 登録完了後、すべてのドアホン (1~2) の呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認してください。

- この操作をしないと、電話/ファクス親機からドアホンへの呼びかけができません。

■ 電話/ファクスでの来客応答など、操作方法は電話/ファクスの説明書をお読みください。

お知らせ

- 電話/ファクスで来客応答中は、ドアホン親機の画面に来客映像が表示されます。
- ワイヤレスアダプター機能で親機同士を登録しても、ドアホン親機と電話/ファクス間での内線通話や、ドアホン通話の転送はできません。

子機 **WD618** で電話ができるようにする (電話/ファクス登録)

電話/ファクス親機と子機で操作を行います。

- 登録操作中は、電話/ファクスの電話機コードを抜いてください。

電話/ファクス親機の操作

(例: KX-PD615)

- 1 **【機能】** → **#123** を押す
- 2 **【▼】【▲】** で登録する子機番号を選び、**【決定】** を押す
 - 続けて、約2分以内に子機で下記の操作をしてください。

子機の操作

- 3 トップ画面で **【決定】 (メニュー)** を押し、**◀/▶** で **【設定】** メニューを開く
- 4 **▼/▲** で **【子機増設】** を選び、**【決定】** を押す
- 5 **▼/▲** で **【電話/ファクス】** を選び、**【決定】** を押す
- 6 **【決定】 (登録)** を押す

お知らせ

- 登録後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。(ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備をしているため、故障ではありません)
- 子機で利用できる電話機能は、連携する電話/ファクスによって異なります。(P.127)

電話/ファクス連携時のお願い

連携時は、電話/ファクス親機とドアホン親機間で電波を使って通信を行います。電話/ファクス親機は、できるだけドアホン親機の近く(電波の強い場所)に設置してください。



- ワイヤレスアダプター機能で親機同士を登録したときは、ドアホン親機と電話/ファクス親機間の電波状態をトップメニューで確認できます。(P.18)
- 次の場合は、電話/ファクスでのドアホン通話や子機の電話機能が使えないことがあります。
 - ・親機同士が離れすぎている
 - ・100 m以内でも、別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがある
〈障害物の例〉
 - ・複層ガラスの窓や金属製のドアや雨戸
 - ・アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - ・コンクリートやトタン製の壁
 - ・壁を何枚もへだてたところ
- 中継アンテナのご利用について
 - ・親機間には中継アンテナは使えません。
 - ・連携時は、中継アンテナの登録台数や登録番号が制限されます。(P.118)

電話をかける/受ける

基本のかけかた/受けかた

電話をかけるとき

- 1 を押し、「ツーン」音が聞こえたら、フリップを開けてダイヤルする
 - 2 通話が終わったら、**[終了]** を押す
- 構内交換機に接続しているときのかけかた
外線発信番号(例:「0」)→ **[F1]** (ポーズ) を押し、ダイヤルしてから を押す
 - ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき
相手につながったあと、**[*]** (トーン) を押す

電話を受けるとき

- 1 呼出音が鳴ったら、 を押す
- 2 通話が終わったら、**[終了]** を押す

同じ相手にもう一度かける(再ダイヤル)

10件まで記憶できます。

- 1 ◀ を押し、▼/▲で相手を選ぶ
 - 2 を押す
- 再ダイヤルの履歴を消去するには
上記手順1で相手を選び→ **[F2]** (1件消去) → **[F1]** (はい) → **[終了]** を押す

電話帳でかける

事前に電話帳の登録が必要です。(P.47)

- ▶を押す
- ▼/▲で検索方法を選び、**[決定]**を押す
 - **[一覧で探す]**を選んだときは
手順3へ
 - **[フリガナで探す]**を選んだときは
フリガナを入力し、**[決定]**を押す
 - 文字入力のしかた (P.106)
 - **[グループで探す]**を選んだときは
▼/▲でグループを選び、**[決定]**を押す
- ▼/▲/◀/▶で相手を選び、を押す

スピーカーホンでかける

- を約2秒間押す
 - が表示され、スピーカーホン通話に切り替わります。
- フリップを開けてダイヤルし、送話口に向かって話す(約50 cm以内)
 - 受話口での通話に切り替えるには、再度 を約2秒間押してください。

内線電話をかける/受ける

電話/ファクス親機や別の子機と、内線通話ができます。

内線電話をかけるとき

- [室内呼]**を押す
- | |
|---------|
| 室内呼/内線 |
| ドアホン室内呼 |
| 電話内線 |
- ▼/▲で**[電話内線]**を選び、**[決定]**を押す
 - 下の画面が出たときは
▼/▲で相手を選び、**[決定]**を押す
 - **[F2](-斉呼出)**を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。

電話内線
親機
子機 1
[決定] [一斉呼出]

- 相手が出たら、話す

お知らせ

- 電話/ファクス親機で「内線呼出」設定を「音声」にしているときは、上記手順1～2の操作後、呼出音が2回聞こえたら、相手に呼びかけてください。

内線電話を受けるとき

- 呼出音が鳴ったら、**[通話]**を押して話す

外線通話中にできること

相手に待ってもらおう(保留)

1 [室内呼]を押す

- 保留中は4秒ごとに「ピーッ」と鳴り、相手には、電話/ファクス親機で設定した保留メロディが流れます。
- 通話に戻るには、を押す

キャッチホンを受ける (NTTとの契約が必要)

1 [F1](キャッチ)を押す

- 元の通話に戻るには再度押す

通話を録音する(通話録音)

1 [決定](メニュー)を押し、▼/▲で[通話録音]を選び、[決定]を押す

2 相手に警告の音声を流すかどうかを選んで録音する

■ 警告の音声を流して録音するときは
[F1](はい)を押す

■ 警告の音声を流さず録音するときは
[F2](いいえ)を押す

- 録音中は、「録音●」が表示されます。
- 録音をやめるには、[決定](メニュー)を押し、▼/▲で[録音中止]を選んで[決定]を押す

お知らせ

- 3者通話は録音できません。
- 録音した通話の再生/消去については、P.49「用件を再生する」をお読みください。

相手の声の音質を変える (ボイスセレクト)

スピーカーホン通話中はできません。

1 [決定](メニュー)を押し▼/▲で[ボイスセレクト]を選び、[決定]を押す

2 ◀/▶で音質を調整する

自分の声を低く変える (ボイスチェンジ)

1 [決定](メニュー)を押し、▼/▲で[ボイスチェンジ]を選び、[決定]を押す

2 [F1](はい)を押す

- が表示されます。
- ボイスチェンジは通話が終わると解除されますが、通話中に解除するには、再度手順1~2の操作をしてください。

お知らせ

- 次の場合、ボイスチェンジは使えません。
 - ・電話をかけたとき
 - ・電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
 - ・並列電話機(電話/ファクスの取扱説明書参照)で受けた電話に、あとで子機で出たとき
 - ・内線通話中のとき(P.44)
 - ・3者通話中のとき(P.47)
 - ・通話録音中のとき(左記)

自分の声が相手に聞こえないようにする(ミュート)

天気予報など相手の声を聞くだけの場合に、周囲の音で相手の声が途切れるときなどに使います。

1 [F2](ミュート)を押す(と表示)

- 再度押すと、ミュートが解除されます。



迷惑な電話をお断りする (通話拒否)

外線着信中や通話中の相手に、通話を拒否するメッセージを流して電話を切ることができます。

通話中は、チャイムを鳴らして来客があったようにして、電話を切ることもできます。

- キャッチホンで受けた電話には、この機能は使えません。

メッセージを流して通話を拒否する

外線着信中に拒否する場合

- 1 呼出音が鳴っているときに、**[F1]**(通話拒否)→**[F1]**(はい)を押す
 - 相手にメッセージが2回流れ、自動的に電話が切れます。
 - ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき(右上)

外線通話中に拒否する場合

- 1 通話中に、**[決定]**(メニュー)を押す
- 2 ▼/▲で**[通話拒否]**を選び、**[決定]**を押す
- 3 ▼/▲で**[音声]**を選び、**[決定]**を押す
 - 相手にメッセージが2回流れ、自動的に電話が切れます。
 - ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき(右上)

チャイムを鳴らして通話を拒否する

- 1 外線通話中に、**[決定]**(メニュー)を押す
- 2 ▼/▲で**[通話拒否]**を選び、**[決定]**を押す
- 3 ▼/▲で**[チャイム]**を選び、**[決定]**を押す
 - 相手にチャイムが聞こえます。(電話は切れません)
 - ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているとき(右上)
- 4 来客があったこととして電話を切る

通話拒否した相手の電話を次回から受けないようにする(ナンバー・ディスプレイサービスご利用時)

通話拒否した相手からの電話を、次回から受けないように設定できます。

- 1 通話拒否(左記)の操作後、電話を切る前に迷惑設定(または拒否設定)をするかどうかの確認メッセージが表示される
- 2 **[F1]**(はい)を押す



相手の声を確認して電話に出る(あんしん応答)

外線着信中に、相手に名前を尋ねるメッセージを流して相手の声を確認したあと、電話に出たり、電話を切ったりすることができます。

- 1 呼出音が鳴っているときに、**[F2]**(あんしん応答)を押す
 - 名前を尋ねるメッセージが相手に流れます。
- 2 スピーカーから相手の声を聞いて、下記のいずれかの操作をする
 - 電話に出るとき
[電話]を押す
 - お断りのメッセージを流して電話を切るとき
[F1](おことわり)を押す
 - 通話を拒否するメッセージが流れたあと、自動的に電話が切れます。
 - もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき
[F2](くりかえし)を押す
 - 電話を切るとき
[終了]を押す



電話をまわす/ 3者通話にする

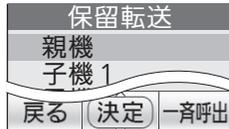
電話/ファクス親機や別の子機に電話をまわしたり、外の相手と3人で3者通話をすることができます。

1 外線通話中に[室内呼]を押して保留にし、 [F2](内線呼出)を押す

■ 下の画面が出たときは

▼/▲で相手を選び、[決定]を押す

- [F2](一斉呼出)を押して、すべての相手を呼び出すこともできます。



2 相手が出たら、下記の操作をする

■ 電話をまわすとき

まわすことを伝え、[終了]を押す

■ 外の相手と3人で話すとき(3者通話)

3人で話すことを伝え、[室内呼]を押す



お知らせ

- 電話をまわす相手が出ないとき、外線通話に戻るには、を押してください。
- 電話/ファクス親機で「内線呼出」設定を「音声」にしているときは、上記手順1の操作後、呼出音が2回聞こえたら、相手に呼びかけてください。
- 電話をまわす相手が近くにいるときは、次の方法でも電話をまわせます。
 - ①外線通話中に[室内呼]を押して保留にする
 - ②電話に出てほしい相手に声をかける〈電話に出る人〉
 - ③受話器を取る(子機は外線ボタンを押す)
 - ④外の相手と話す



電話帳に登録する

150件まで登録できます。

- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)は登録済み。(修正・消去できます)
- 相手をグループ1~9に分けて登録すると、電話をかけるときにグループ別に相手を探せます。

新規入力して電話帳に登録する

- 1 ▶→[F1](登録)を押す
- 2 フリップを開けて名前(全角10文字/半角20文字まで)を入力し、[決定]を押す
 - 文字入力のしかた(P.106)
- 3 フリガナ(半角12文字まで)を確認し、間違っていれば修正して[決定]を押す
- 4 電話番号(24ケタまで)を市外局番から入力し、[決定]を押す
- 5 ▼/▲/◀/▶でグループを選び、[決定]を押す
 - 続けて登録するときは、再度手順2へ
- 6 終わったら、[終了]を押す

登録した内容を確認するには

- 1 ▶を押す
- 2 ▼/▲で[一覧で探す]を選び、[決定]を押す
- 3 ▼/▲/◀/▶で登録内容を確認する
 - 選んだ相手の詳細内容も確認するには、[F1](詳細)を押す
- 4 終わったら、[終了]を押す

電話帳を使って電話をかけるには

「電話帳でかける」(P.44)を参照ください。

再ダイヤルから電話帳に登録する

- 1 ◀を押す
- 2 ▼/▲で相手を選び、**[決定]**(登録)を押す
- 3 あとは、「新規入力して電話帳に登録する」(P.47)の手順2からの操作を行う
 - 電話番号の入力は不要です。

電話帳を修正する

- 1 ▶を押す
- 2 ▼/▲で「一覧で探す」を選び、**[決定]**を押す
- 3 ▼/▲/◀/▶で相手を選び、**[決定]**(修正)を押す
- 4 あとは、「新規入力して電話帳に登録する」(P.47)の手順2からの操作を行う

電話帳を消去する

「電話帳全消去」もできます。(P.105)

相手を選んで消去するとき

- 1 ▶を押す
- 2 ▼/▲で「一覧で探す」を選び、**[決定]**を押す
- 3 ▼/▲/◀/▶で相手を選び、**[F2]**(一件消去)→**[F1]**(はい)を押す
- 4 終わったら、**[終了]**を押す

電話帳を転送する

電話/ファクス親機や別の子機に電話帳を転送できます。子機を電話/ファクス親機の近くに持ってきて、操作してください。

- 1 ▶→**[F2]**(転送)を押す
- 2 ▼/▲で転送先を選び、**[決定]**を押す
- 3 ▼/▲で転送方法を選び、**[決定]**を押す
 - **[個別]**を選んだときは
▼/▲/◀/▶で相手を選び、**[決定]**を押す
・続けて転送するにはこの操作を繰り返す
 - **[一斉]**を選んだときは
[決定]を押す
- 4 終わったら、**[終了]**を押す

お知らせ

- 機能設定メニュー(P.105)から「電話帳転送」を選んで操作することもできます。

ファクスを受ける

子機をファクスに登録したときは、子機でファクス受信の操作ができます。

- 1 呼出音が鳴ったら、を押す
- 2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき**[決定]**(メニュー)を押す
- 3 ▼/▲で「ファクス受信」を選び、**[決定]**を押す

留守番電話を使う

留守セットする/留守セットを解除して新しい用件を聞く

- 1 トップ画面で**[決定]**(メニュー)を押し、**◀/▶**で**[電話]**メニューを開く
- 2 **▼/▲**で**[留守操作]**を選び、**[決定]**を押す
- 3 留守セットまたは解除の操作をする
 - 留守セットするとき
[F2](設定)を押す
 - 留守セットを解除して新しい用件を聞くとき
 - ① **[F2]**(解除)を押し、用件を聞く
 - ② 再生後、用件消去のメッセージが出たら、**[F1]**(はい)を押し、用件を消す
 - 用件を残すには**[F2]**(いいえ)を押す

用件を再生する

留守セットしたまま、または留守セットしていないときに、新しい用件やすべての用件の再生ができます。(通話録音があるときは、同時に再生されます)

- 1 トップ画面で**[決定]**(メニュー)を押し、**◀/▶**で**[電話]**メニューを開く
- 2 **▼/▲**で**[留守操作]**を選び、**[決定]**を押す
- 3 **[F1]**(再生)を押す
- 4 **▼/▲**で**[新規のみ再生]**または**[すべて再生]**を選び、**[決定]**を押す
- 5 再生後、用件消去のメッセージが出たら、**[F1]**(はい)を押し、用件を消す
 - 用件を残すには**[F2]**(いいえ)を押す

再生中にできること

音量を変える	▼/▲
前の用件を聞く、または再生中の用件の頭から聞き直す	◀
次の用件を聞く	▶
1件目の用件から聞き直す	[F2] (最初へ)
再生を終わる(トップ画面に戻る)	[F1] (停止)

■ フリップを開けて行う操作

再生中の用件を1件ずつ消す	[※]→[4]→[F1] (はい)
一時停止/再開する	[2]
10秒戻る	[7]
30秒進む	[8]
再生中の用件をすべて消す	[※]→[5]→[F1] (はい)
新しい用件を1件目の頭から聞き直す	[4]
すべての用件を1件目の頭から聞き直す	[5]

- 再生中に**[決定]**(ガイド)を押すと、上記の操作方法を画面で確認できます。

すべての用件を消去する

通話録音も含めてすべての用件が消去されます。

- 1 「用件を再生する」の手順1～3を行う
- 2 **[F2]**(全消去)→**[F1]**(はい)を押す



ナンバー・ディスプレイサービス

ナンバー・ディスプレイの契約をしている電話/ファクスに子機登録した場合に利用できます。

ナンバー・ディスプレイサービスでは

電話がかかってくると、相手の電話番号を表示します。電話帳に登録した相手なら、名前と電話番号を表示します。

- 日時と電話番号は、電話/ファクス親機の着信履歴に記憶され、子機でも確認できます。
- 電話番号が表示できないときの表示について
「非通知」：相手が電話番号を通知していない
「公衆電話」：公衆電話から
「表示圏外」：海外など番号を通知できない電話（表示なし）：回線状態が悪い、または電話番号の信号が送られてきていない
- 「外線鳴り分け」(P.105)の設定をすると、かけてきた相手によって呼出音を変えられます。

着信履歴を確認する

- 1 トップ画面で**決定**(メニュー)を押し、**◀/▶**で**電話**メニューを開く
- 2 **▼/▲**で**着信履歴**を選び、**決定**を押す
 - 電話に出なかった着信履歴の件数が表示されます。(例:「新規(*)3件」)
- 3 **▼**を繰り返し押し、履歴を確認する
 - 履歴に表示されるマーク
* : 電話に出なかったとき
拒 : 「迷惑設定」や「拒否設定」しているとき
- 4 終わったら、**終了**を押す

着信履歴から電話をかける

- 1 上記の手順1~3を行い、相手を選ぶ
- 2 を押す

着信履歴から電話帳に登録する / 受けたくない電話を拒否設定する

- 1 「着信履歴を確認する」の手順1~3を行い、相手を選ぶ
- 2 目的に応じて下記の操作をする
 - 電話帳に登録するとき
 - ① **決定**(メニュー)を押し、**▼/▲**で**電話帳登録**を選んで**決定**を押す
 - ② あとは、「新規入力して電話帳に登録する」(P.47)の手順2からの操作を行う
 - 電話番号の入力は不要です。
 - 受けたくない電話を拒否設定するとき
 - ① **決定**(メニュー)を押し、**▼/▲**で**迷惑設定**または**拒否設定**を選ぶ
 - [拒否設定]は非通知/公衆電話/表示圏外を選んだときに表示されます。
 - ② **決定** → **F1**(はい)を押す
- 3 終わったら、**終了**を押す

着信履歴を消去する

1件ずつ消去するとき

- 1 「着信履歴を確認する」の手順1~3を行い、相手を選ぶ
- 2 **F2**(一件消去) → **F1**(はい)を押す
- 3 終わったら、**終了**を押す

すべての着信履歴を消去するとき

- 1 「着信履歴を確認する」の手順1~2を行う
- 2 **F2**(全消去) → **F1**(はい)を押す



電話/ファクスで 窓/ドアセンサーを登録して使っているとき

子機を登録した電話/ファクスに、窓/ドアセンサーが登録されているときは、窓やドアが開いてセンサーが反応したときに、子機で通知を受けたり、窓/ドアの開閉状態の確認や報知レベルの設定変更ができます。

● ドアセンサーに非対応の電話/ファクスに登録したときは、表示や操作の一部が異なります。

窓/ドアが開いたときの動作について

電話/ファクス側で設定した報知レベルによって動作が変わります。

● 子機で報知レベルの設定を変えることもできます。(右下)

報知レベル	子機の動作
高い	音と表示で約3分間お知らせ 音：プルルプルルル(最大音量) 表示：開いた窓やドアの情報 〈ドアセンサーをご使用のとき〉 帰宅時などでドアを開けるときのため、最大音量で音が鳴るまでに、約3分間のドア予備報知時間(ピポピポ…と小さな音が鳴る)が設定されています。*1
低い	音(約3秒)と表示(約10秒)でお知らせ 音：ポンポンポン (外線の呼出音量に連動)*2 表示：開いた窓やドアの情報
留守	留守セットしているとき 報知レベル「高い」と同じ動作 留守セットしていないとき 報知レベル「低い」と同じ動作

*1 ドア予備報知時間は、電話/ファクス親機で設定変更できます。

*2 外線の呼出音量が「切」のときは、「小」の音量で鳴ります。

最大音量で鳴る音をすぐに止めるには

1 **[F1]**(停止)または**[終了]**を押す

お知らせ

- 音(報知音)が鳴っているときは、外線やドアホンから呼び出しがあっても、呼出音は鳴りません。
- 外線やドアホンなどとの通話中も、窓/ドアセンサーからの通知を受けることができます。

窓/ドアの開閉状態(センサー情報)を確認する

- 1 トップ画面で**[決定]**(メニュー)を押し、**◀/▶**で**[電話]**メニューを開く
- 2 **▼/▲**で**[窓/ドアセンサー]**を選び、**[決定]**を押す
- 3 **▼/▲**で**[センサー情報]**を選び、**[決定]**を押す
 - エリア(1~3)の状態が表示されます。
「全て閉」:すべての窓/ドアが閉まっている
「開あり」:開いている窓/ドアがある
「確認」:圏外や電池切れのセンサーがある
- 4 終わったら、**[終了]**を押す

■ 「開あり」と表示された窓/ドアがあったとき
電波が届いていないため、通信できません。
窓/ドアセンサーの状態を確認してください。

■ 「電池切」と表示された窓/ドアがあったとき
窓/ドアセンサーの電池を交換してください。

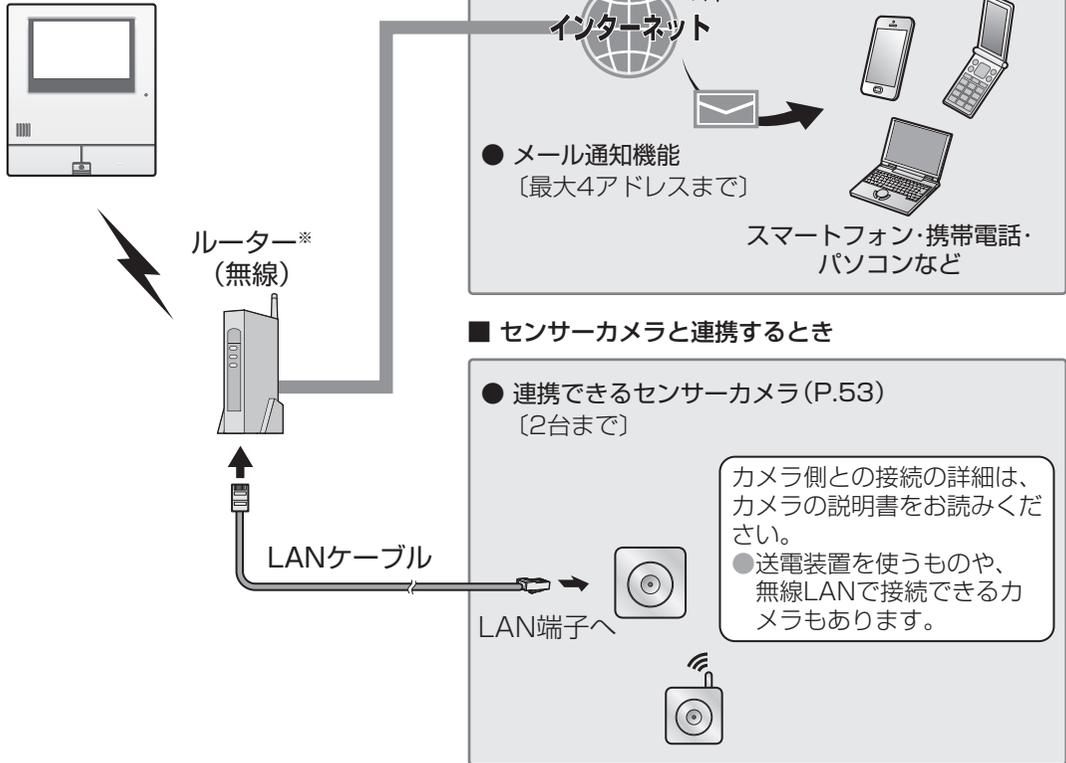
報知レベルの設定を変える

- 1 上記の手順1~2を行う
- 2 **▼/▲**で**[報知レベル設定]**を選び、**[決定]**を押す
- 3 **▼/▲**でエリアを選び、**[決定]**を押す
- 4 **▼/▲**でレベルを選び、**[決定]**を押す
- 5 終わったら、**[終了]**を押す

スマートフォンやセンサーカメラと連携するために (ネットワーク接続)

下図は接続例です。〔 〕内の台数は、ドアホン親機と連携できる最大の台数です。

インターネット(無線LAN)への接続とスマートフォンとの連携は、「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください。



※ ルーターについて

スマートフォンを連携させるには、インターネットに接続したルーター(市販品:グローバルIPアドレスが付与されているインターネットとUPnPに対応したもの)にドアホン親機を接続する必要があります。

動作確認済み ルーター 505-18968		動作確認済みルーターは？
-----------------------------	--	---------------------

お知らせ

- 複数のセンサーカメラの接続にはハブが必要な場合もあります。ハブ、ブロードバンドルーター、LANケーブルは、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。
- スマートフォンと連携するときに無線ルーターを使用する場合、スマートフォンはWi-Fi機能をONにして、ドアホン親機を接続した無線ルーター(無線アクセスポイント)に接続します。接続のしかたはスマートフォンと無線ルーターの説明書をお読みください。

カメラと連携して使う

本機には接続方法が異なる2種類のカメラ(下記、P.125)を合計6台まで接続して連携させることができます。連携すると、本機でカメラ側の様子をモニターしたり、カメラのセンサー反応時に着信(呼出音と映像)や反応通知を受けることができ、SDカードを利用してカメラ映像や音声の録画・録音もできます。

連携できるカメラについて

ご使用のカメラの説明書とあわせてよくお読みください。

主な仕様	連携できるカメラ(最大6台まで)	
	センサーカメラ(2台まで) ● 無線ルーター経由でLAN接続 	ワイヤレスカメラ(4台まで) ● 無線(DECET準拠方式の電波)で接続 
	〈屋外用〉 VL-CD265 〈屋内用〉 VL-CD235(★) VL-CD215 (★)無線ルーターと無線LANで接続することもできます。	〈屋外用〉 VL-WD813K/X VL-WD712K/X
センサー検知方式	動作検知、人感センサー	動作検知、人感センサー
動作/人感センサー検知時にカメラ側で鳴る音	ピポ ピポ ピポ(初期値) ● 音量などは、「お知らせ音」設定で変更可能(P.98)	ピポ ピポ ピポ(初期値) ● 音量などは、「センサー反応音」設定で変更可能(P.101)
センサーの無検知時間(固定)	検知から約45秒	WD813の場合: ・検知またはモニター開始から約35秒 ・映像表示を終了してから約10秒 WD712の場合: ・検知から約10秒
モニター時の映像同時表示	カメラ選択画面で 2台まで同時表示(2画面表示)	カメラ選択画面で 2台まで同時表示(2画面表示)
本機からカメラ側への呼びかけ	できない	できる ● カメラ側との通話も可能(P.61)
SDカード録画	2台同時に録画できる※1 ● 録画時間は1件あたり最大約30秒です。	同時録画不可 (あとからの着信を優先して1台ずつ録画) ● 録画時間は1件あたり最大約30秒です。
検知前録画	検知1秒前から録画(固定)	検知1秒前から録画※2 (WD813はP.102の「検知前録画」の設定で、2秒前からの録画も可能)

※1 同時録画では、映像の動きが通常よりも遅くなります。

※2 P.101「カメラ解像度」の設定が「320×240(速度優先)」のとき。設定を変更すると、検知前録画はできません。

センサーカメラを使うための準備と確認

センサーカメラをドアホン親機に登録する

操作はドアホン親機のみで行います。
登録前に次のことを確認してください。

- ドアホン親機とセンサーカメラのネットワーク接続が完了しているか(P.52)
- 登録するセンサーカメラの品番とMACアドレス(カメラ本体に表記されています。複数のカメラを登録するときのカメラの識別に必要です)

確認後、センサーカメラの電源を入れてから、登録操作を始めてください。

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→画面右下の[▼]→[接続機器の登録/減設]→[登録]→[カメラ]→[センサーカメラ]→登録するセンサーカメラ番号をタッチする

- ネットワークに接続されたカメラ(品番とMACアドレス)が表示されます。



- 2 登録したいカメラの右にある[決定]をタッチする

- 「登録中」となり、完了すると登録完了画面が表示されます。
- 登録完了画面が出たら、カメラの登録番号やメッセージを確認して[了解]をタッチしてください。
- ネットワークの接続環境によっては、確認メッセージが表示されます。このときは表示に従って操作してください。

お知らせ

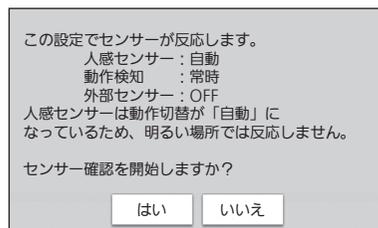
- お知らせ画面に「新しいセンサーカメラが見つかりました」と表示されたときは、画面の表示に従ってセンサーカメラの登録をすることもできます。

動作検知や人感センサーの動作確認をする

登録済みのカメラを設置し、設置場所で動作確認を行います。

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→[カメラ]→[センサーカメラ]→確認するセンサーカメラ番号→[センサー設定]→画面右下の[▼]→[センサー確認]をタッチする

- 次のような画面が表示されます。



- 2 表示された画面を確認して、[はい]をタッチする

- カメラ側がセンサー検知待ち状態になり、現在のカメラ映像が表示されます。

- 3 カメラ側でセンサーを反応させ、検知状況を確認する

- ドアホン親機には反応したセンサー名(人感センサー/動作検知)が表示されます。
- 次のことを確認してください。
 - 検知させたいエリアや人物の進行方向で、センサーが適切に検知しているか
 - 検知させたくない被写体(道路を行き来る通行人や車など)をセンサーが誤検知していないか

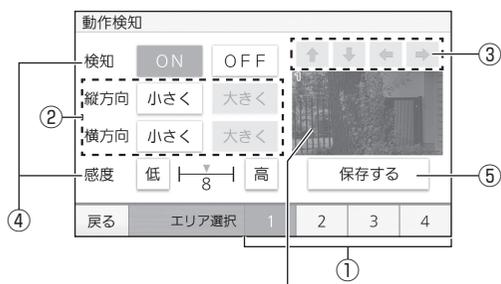
- 4 終わったら、[終了]を押す

お知らせ

- センサー確認で表示されるカメラ映像は約20分で終了します。確認の途中で終了したときは、最初からやり直してください。
- カメラの設置環境や検知状況の確認結果に応じて、センサーの感度や検知する時間帯などセンサー設定の変更ができます。(P.97) 動作検知エリアや動作検知感度を変えたいときは(P.55)

動作検知エリアや動作検知感度を変えるとき

動作検知の設定画面で詳細設定を行います。
(①～⑤は設定手順2の操作番号を表します)



撮影映像と検知エリア

- 検知エリアは枠とエリア番号で表示されます。(設定中は赤く表示されます)

- お買い上げ時はエリア1が撮影範囲すべてを検知する設定になっています。
検知エリアは任意の場所と範囲で4つまで設定でき、エリアごとに感度も変更できます。

- 1 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 変更するセンサーカメラ番号 → [センサー設定] → [動作検知] をタッチする

- 動作検知の設定画面が表示されます。

- 2 次の操作で、エリア1の設定を行う

- ① エリア選択の[1]をタッチする
- ② 縦方向・横方向の[小さく][大きく]をタッチして検知エリアの大きさを決める
- ③ [↑][↓][←][→]をタッチして検知する場所を決める
- ④ 必要に応じて、検知の[ON][OFF]や感度の[低][高]を設定する
 - 感度は15段階で設定できます。
小さな動きの変化も検知したいときは[高]、過度に検知したくないときは[低]をタッチしてください。

- ⑤ [保存する]をタッチする
 - エリア1の設定内容が保存されます。

- 3 必要に応じてエリア2～4の設定を行う

- 上記手順2と同じ要領で設定します。

- 4 終わったら、[終了]を押す

ワイヤレスカメラを使うための準備と確認

ワイヤレスカメラをドアホン親機に登録する

登録操作はドアホン親機とワイヤレスカメラで行います。カメラの電源を入れてから操作を始めてください。

- カメラ側の操作は、ご使用のカメラの説明書をお読みください。



ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 画面右下の[▼] → [接続機器の登録/減設] → [登録] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] をタッチする

- カメラの操作を促す表示が出ます。約5分以内にカメラの操作をしてください。



カメラの操作(例:WD813)

- 2 カメラの電源を入れた状態で、カメラの背面にある登録ボタンを約3秒間押す
 - カメラが「ピー」と鳴ったら登録完了です。



ドアホン親機の操作

- 3 登録完了画面が出たら、表示内容(登録したカメラ番号やメッセージ)を確認して[了解]をタッチする

- カメラ番号は登録順に自動で付与されます。
- 画面を終了するには、[終了]を押してください。



お知らせ

- 登録後、子機では映像の更新速度が遅くなります。(故障ではありません)
- 登録したカメラには、設置場所に応じた場所名を設定できます。(P.103の「場所/名前」設定) 場所名を登録しておく、複数のカメラを識別しやすくなります。

動作検知や人感センサーの動作確認をする

登録済みのカメラを設置し、設置場所で動作確認を行います。

- 1 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → 確認するワイヤレスカメラ番号をタッチする
- 2 下記の操作をする
 - ① 画面右下の[▼]をタッチし、[センサー確認]をタッチする
 - ② 確認するセンサー(人感センサー/動作検知)をタッチする
 - カメラ側がセンサー検知待ち状態になり、現在のカメラ映像が表示されます。
- 3 カメラ側でセンサーを反応させ、検知状況を確認する
 - ドアホン親機には反応したセンサー名(人感センサー/動作検知)が表示されます。
 - 次のことを確認してください。
 - ・ 検知させたいエリアや人物の進行方向で、センサーが適切に検知しているか
 - ・ 検知させたくない被写体(道路を歩き来る通行人や車など)をセンサーが誤検知していないか
- 4 終わったら、[終了]を押す

お知らせ

- センサー確認で表示されるカメラ映像は約20分で終了します。確認の途中で終了したときは、最初からやり直してください。
- カメラの設置環境や検知状況の確認結果に応じて、センサーの感度や検知する時間帯などセンサー設定の変更ができます。P.101、102を参照のうえ変更してください。

ワイヤレスカメラの映像表示について(表示サイズと画質)

「カメラ解像度」の設定(P.101)により異なります。

■ 解像度「320×240(速度優先)」の場合(初期値)

カメラの反応時やモニター時は、原寸の映像を約2倍に拡大して表示します。

(映像の更新速度は最大6コマ/秒です)

- 映像表示中に原寸の映像表示に切り替えることもできます。

〈拡大表示: 原寸の約2倍〉



映像の表示サイズの切り替えができます。



〈原寸表示〉



■ 解像度「640×480(画質優先)」の場合

カメラの反応時やモニター時は、原寸の映像を次のように表示します。

(映像の更新速度は最大3コマ/秒です)

- 映像の表示サイズは固定です。

〈原寸表示〉



お知らせ

- 解像度の設定は、すべてのワイヤレスカメラに共通で適用されるものです。
- ワイヤレスカメラの映像は、ドアホンやセンサーカメラの映像に比べて画質が劣ります。

カメラ側の様子を見る (モニター)

カメラ側の様子、映像と音で確認できます。
(室内の声はカメラ側には聞こえません)

ドアホン親機の場合

1 トップメニューの[モニター]をタッチする

- 機器選択画面が表示されます。



機器選択ボタン

2 カメラを選んでモニターする

■ センサーカメラをモニターするとき 手順1の画面で[センサーカメラ]をタッチする

- カメラ選択画面が表示されます。
(最大2画表示：下はカメラ2台のとき)



- この画面では2台のカメラ映像を同時に確認できますが、音声は聞こえません。
- 映像をタッチするとモニター画面になり、カメラ側の音声がかかります。
(例：カメラ1の映像をタッチ)



- モニター画面は約3分で自動的に終了します。途中で終了するには[終了]を押してください。

■ ワイヤレスカメラをモニターするとき 手順1の画面で[ワイヤレスカメラ]をタッチする

- カメラ選択画面が表示されます。
(最大2画表示：下はカメラ4台のとき)



- この画面では2台のカメラ映像を同時に確認できますが、音声は聞こえません。
- 映像をタッチするとモニター画面になり、カメラ側の音声がかかります。
(例：カメラ3の映像をタッチ)

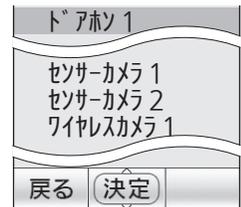


- モニター画面は約3分で自動的に終了します。途中で終了するには[終了]を押してください。

子機の場合

1 [モニター]を押す

- 下記の機器選択画面が表示されます。
(手順2へ)



2 ▼/▲でモニターするカメラを選び、 [決定]を押す

- 選んだカメラのモニター画面になり、カメラ側の映像と音声がかかります。
- モニター画面は約3分で自動的に終了します。途中で終了するには[終了]を押してください。

カメラが反応したとき

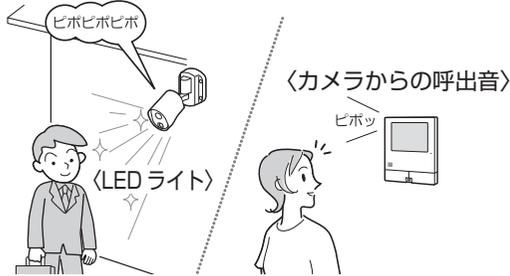
警戒モード「解除」中は下記のように動作します。
(警戒モード(在宅/留守)設定中の動作はP.78)

動作検知や人感センサーが反応したとき

ドアホン親機や子機でカメラからの呼出音が鳴り、カメラの映像が映ります。(カメラ着信)

- カメラ側でも音が鳴り、暗いときにライトも点灯します。(ライト付きカメラのみ)

(例:ワイヤレスカメラ「VL-WD813」のとき)
〈カメラ側で鳴る音〉



1 カメラからの呼出音が鳴ったら、表示されたカメラ映像を確認する

- カメラ側の音声は聞こえません。
- 映像は呼出音から約30秒後に終了します。
- 映像をもっと見たいときやカメラ側の音声を聞きたいとき
 - ・ ドアホン親機: [モニター] をタッチする
 - ・ 子機: [モニター] を押す

カメラ側で音を鳴らしたくないとき

■ センサーカメラの場合

P.98「お知らせ音」の設定を変更する

■ ワイヤレスカメラの場合

P.101「センサー反応音」の設定を変更する

カメラからの呼出音を鳴らしたくないとき

ドアホン親機や子機で個別に止めることができます。呼出音を止めたい機器でP.75「呼出音量を変える」設定を行い、カメラの呼出音量を「切」にしてください。

カメラ映像や音声の録画・録音(SDカード録画)

SDカードをご使用の場合のみ、着信時(カメラの反応)、モニター時に録画・録音ができます。

センサーカメラが反応したときに自動で録画する

センサーカメラのセンサー(動作検知や人感センサー)が反応すると、次のように自動で録画します。

録画開始: 検知1秒前

録画内容: 次の①②を1件の録画データとして記録

- ① 検知前後の静止画
(約0.3秒おき、最大9枚)
- ② 検知直後からの音声付き動画

録画時間: 最大約30秒

■ 2台の映像を同時に録画できません

2台のセンサーカメラが続けて反応して着信が重なった場合も、各カメラの映像と音声を約30秒ずつ同時に記録できます。

ただし、映像の動きは通常より遅くなります。

■ モニター中のカメラが反応したとき

検知映像は自動録画されません。必要に応じて手動で録画してください。(P.59)

ワイヤレスカメラが反応したときに自動で録画する

ワイヤレスカメラのセンサー(動作検知や人感センサー)が反応すると、自動で録画します。

録画のタイミングと録画内容は、P.101「カメラ解像度」の設定によっても異なります。詳細はP.59の表をお読みください。

📢 お知らせ

- ワイヤレスカメラが反応したときの録画動作は、P.81「接続機器の連動設定」の内容によって決まります。設定を変更するには、P.83「カメラの録画プログラムを変更する」の操作をしてください。

■ ワイヤレスカメラの録画のタイミングと録画内容

カメラ解像度の設定	
320×240 (速度優先) ※1 ●初期値	640×480 (画質優先)
録画開始： 検知の約1秒前※2	録画開始： 検知の約3秒後
録画内容： 次の①～⑤(静止画4枚と動画)を1件の録画データとして記録 ①検知約1秒前の静止画 ②検知直後の静止画 ③検知約2秒後の静止画 ④検知約3秒後の静止画 ⑤検知約5～6秒後以降の音声付き動画 (最大6コマ/秒)	録画内容： 音声付き動画 (最大3コマ/秒)
録画時間： 最大約30秒※3	録画時間： 最大約30秒※3

※1 録画の冒頭が静止画となるため、録画再生時には冒頭がコマ送りのように見えます。

※2 VL-WD813の場合、P.102「検知前録画」設定で検知2秒前からの録画もできます。

※3 VL-WD712の場合、録画中に同じカメラの検知が続くと、モニター終了までの間は録画時間が延長されます。

■ 複数のカメラ映像は同時に録画できません

複数のワイヤレスカメラが次々に反応して着信が重なった場合、あとの着信を優先して録画します。(最初の録画は途中で中止されます)

■ モニター中のカメラが反応したとき

検知映像が自動で録画されます。
録画時間は上記のとおりです。

モニター中の映像を手動で録画する

カメラ映像をモニター中に録画したい場合は、下記の操作をすると録画できます。

● ワイヤレスカメラの場合は、カメラ側と通話中も録画操作ができます。



ドアホン親機の場合

1 モニター映像を表示中に、[録画] をタッチする



子機の場合

1 モニター映像を表示中に[決定](メニュー)を押す

2 ▼/▲で[録画]を選び、[決定]を押す



お知らせ

● 1件あたり最大約30秒の音声付き動画を録画します。

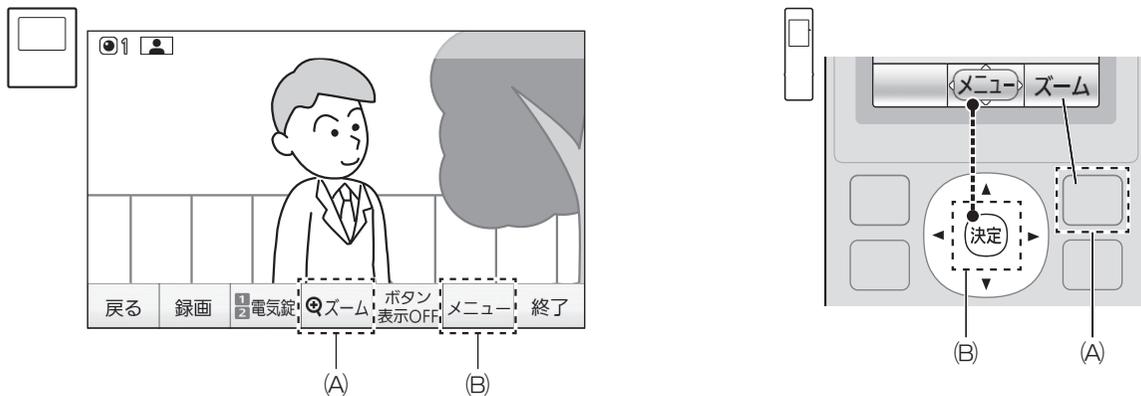
● 録画中は、画面に「録画●」と表示されます。

● 録画の再生方法については(P.38、40)

カメラ映像モニター中の機能

ワイド・ズームの機能を使って映像を見やすくしたり（センサーカメラのみ）、メニュー機能を使った様々な操作ができます。

- 次の機能については、それぞれの説明ページをお読みください。
映像の手動録画 (P.59)、電気錠の施錠/解錠 (P.63)



(A)下記のワイド/ズーム機能を使うときに操作します。(センサーカメラのみ)

ワイド表示中は[ズーム] ボタン、ズーム表示中は[ワイド] ボタンになります。

(B)P.61のメニュー機能を使うときに操作します。

ワイド/ズーム機能を使う（センサーカメラのみ）

表示中の映像をワイドまたはズームにしたり、ズーム位置を切り替えたりすることができます。

映像にタッチしてズームしたり、ズーム位置の移動ができます。(屋外用)

カメラの向きを変えることもできます。(パン・チルト) (屋内用)

ワイド/ズーム表示の切り替え、ズーム位置の移動			
ワイド表示	ズーム表示	<ul style="list-style-type: none"> ● [ズーム] をタッチする ● 拡大したい位置をタッチする(屋外用) 	[F2]を押す
ズーム表示	ワイド表示	[ワイド] をタッチする	[F2]を押す
ワイド表示中に見たい位置を変える(パン・チルト)		見たい位置をタッチする(屋内用)	▼/▲/◀/▶を押す
ズーム表示中に見たい位置を変える(パン・チルト)		見たい位置をタッチする	▼/▲/◀/▶を押す

お知らせ

- 上記の操作をしても、画面を終了して次に映像を表示するときは、常にワイド表示になります。また、パン・チルト対応カメラ映像は、「ポジション設定」で登録した位置を表示します。(P.98)
- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
- 映像イメージは、センサーカメラ(屋外用)です。

窓/ドアセンサーと連携して使う

P.124の対応機種を無線で接続して連携させることができます。(合計50台まで)

- 連携にはドアホン親機への登録が必要です。

連携後にできること

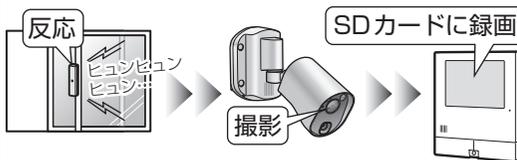
- ① ドアホン親機で、窓/ドアの開閉状態を確認できます。(P.75)
- ② 本システムを警戒モードに設定すると、センサー反応時にドアホン親機や子機から報知音を鳴らして周囲へお知らせできます。(P.77) 窓/ドアセンサー反応時は窓/ドアセンサーからも報知音が鳴ります。



ワイヤレスカメラとの連動設定でもっと便利に…

ワイヤレスカメラを次のようにお好みで連動させることができます。(P.81)

- 窓/ドアセンサーの反応時にワイヤレスカメラを連動させて様子を撮影・録画する



窓/ドアセンサーをドアホン親機に登録する

登録する機器とドアホン親機を使って操作します。

- 登録できる機器は増えることがあります。登録する機器側の操作は、ご使用の機器の説明書をお読みください。



ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→画面右下の[▼]→[接続機器の登録/減設]→[登録]→[窓/ドアセンサー]をタッチする

- 登録する機器の操作を促す表示が出ます。約5分以内に操作をしてください。



登録する機器の操作(例)

- 2 登録操作をする

- ① モード切替スイッチを「モード1」側に合わせる
- ② 電池を入れ、「ピッ」と鳴ってから2分以内に登録ボタンを先端の細いもので3秒以上押す
 - 「ピッ ピッ ピッ…」のあと、「ピー」と約1秒間鳴ったら登録完了です。



ドアホン親機の操作

- 3 登録完了画面が出たら、表示内容(登録した機器番号)を確認する

- 画面を終了するには、**終了**を押してください。



お知らせ

- 窓センサーとドアセンサーは両方あわせて登録順の番号が付与されます。(窓センサー1台、ドアセンサー1台を順番に登録すると、「窓センサー1」「ドアセンサー2」となります)

電気錠やエアコンなどと連携して使う

本機に接続した電気錠やエアコンと連携すると、次のことができます。

- 接続可能台数や接続方法については、施工説明書をお読みください。

接続機器	できること
JEM-A対応の電気錠	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアホン親機・子機・スマートフォンでの状態確認と施錠/解錠※1 ・スマートフォンへの施錠忘れ通知※2
JEM-A対応のエアコンなど	ドアホン親機・子機での状態確認とON/OFF操作
A接点出力対応の電気錠	ドアホン親機・子機での状態の反転(施錠時は解錠、解錠時は施錠)

- ※1 スマートフォンで解錠する場合、解錠を許可する設定が必要です。(P.65)
- ※2 通知設定をONに設定する必要があります。(P.76)

連携に必要な設定について

電気錠やエアコンなどを操作するにはP.90「電気錠・機器接続」の設定が必要です。接続機器に応じて次のように設定し、本機と連携させます。

■ 電気錠を接続した場合

〈JEM-A対応〉

- 端子(5-7)に接続したとき:
「電気錠・機器1」を選び、「電気錠」に設定する
- 端子(8-10)に接続したとき:
「電気錠・機器2」を選び、「電気錠」→「JEM-A」に設定する

〈A接点出力対応〉

- 端子(11-12)に接続したとき※1:
「電気錠・機器2」※2を選び、「電気錠」→「A接点出力」に設定し、出力時間(秒数)を設定する(設定した秒数だけ電気錠を操作できません)

■ エアコンなどの機器を接続した場合

- 端子(9~11)に接続したとき:
「電気錠・機器1」を選び、「機器」に設定する
- 端子(12~14)に接続したとき:
「電気錠・機器2」を選び、「機器」に設定する

- ※1 光るチャイムなどとの連携(P.67)はできません。
- ※2 A接点出力対応の電気錠は「電気錠・機器1」に設定できません。

電気錠やエアコンなどを操作する

□ ドアホン親機で電気錠を操作する

電気錠は、ドアホンやカメラの着信中、ドアホンやカメラと通話またはモニター中、待機中のいずれかで操作できます。

1 場面に応じて下記の操作をする

■ ドアホンと通話中などに操作するとき



↓ 「電気錠」をタッチする



- 操作できる電気錠が表示されます。(状態表示アイコンはJEM-A対応のみ)

■ 待機中に操作するとき

【戸締り確認】またはトップメニューの【錠・機器】をタッチする

- 操作できる電気錠が表示されます。(下は電気錠1がJEM-A対応、電気錠2がA接点出力対応)



A接点出力対応の電気錠は現在の状態が表示されません。

2 操作する電気錠ボタンをタッチする

- 電気錠の状態が切り替わります。



ドアホン親機でエアコンなどを操作する

ドアホン親機では、待機中にのみエアコンなどの機器のON/OFFができます。

1 トップメニューの[錠・機器]をタッチする

- 操作できる機器が表示され、現在のON/OFF状態が表示されます。



2 操作する機器ボタンをタッチする

- 現在の状態に応じてON/OFFが切り替わります。



子機で電気錠やエアコンなどを操作する

子機では、ドアホンやカメラと通話またはモニター中、待機中のいずれかで、電気錠の施錠/解錠やエアコンなどの機器のON/OFFができます。

1 場面に応じて下記の操作をする

- ドアホンと通話中などに操作するとき

[決定] (メニュー) → [F2] (錠・機器) を押す

- 待機中に操作するとき

トップ画面で[F2] (錠・機器) を押す

- 操作できる機器が1台しかない場合、機器の状態が切り替わります。
- 操作できる機器が2台ある場合、下記の機器選択画面が表示されます。(手順2へ)

例)

電気錠と機器を
各1台ご利用時

選択してください

電気錠: 解錠する
機器 : ON する

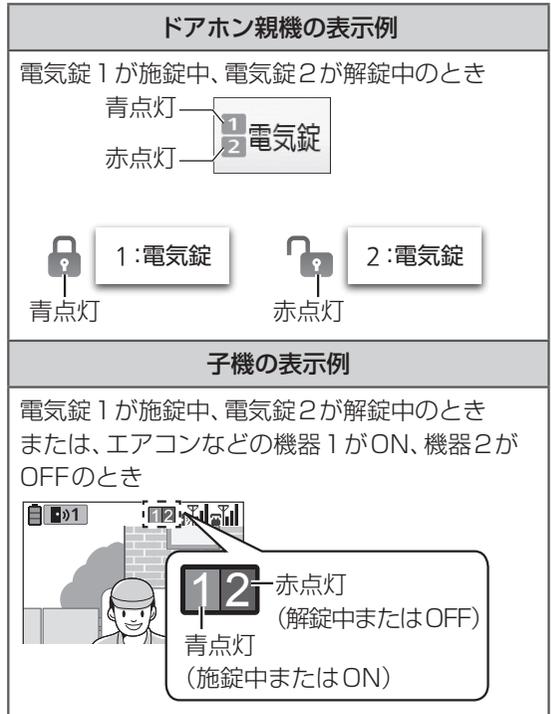
2 機器の選択画面が出たら、▼/▲で操作する機器を選び、[決定]を押す

- 機器の状態が切り替わります。



お知らせ

- JEM-A対応の電気錠やエアコンなどの操作ボタンや状態表示アイコンの色は、電気錠やエアコンなどの機器の状態によって変化します。



スマートフォンで電気錠を解錠できるようにする

スマートフォンでは、来客からの呼び出し（ドアホン着信）への応対時のみ、電気錠（JEM-A対応）を解錠できます。解錠操作をするには、ドアホン親機で次の設定が必要です。

解錠許可の設定

解錠を許可する/許可しないを切り替えます。

解錠パスワードの設定

解錠操作をするときに必要なパスワードです。（4文字以上16文字以内で設定してください）

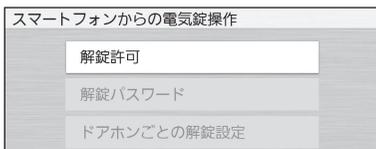
ドアホンごとの解錠設定

ドアホン（1～2）のそれぞれの着信で、どの電気錠の解錠操作を許可するかを設定できます。

- 設定した内容は連携したすべてのスマートフォンに共通して適用されます。
- ご使用のドアホンがVL-V500の場合、電気錠の解錠操作はできません。
- 初めて設定するときは、次の手順で操作を行います。

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→画面右下の[▼]→[電気錠・機器接続]→[スマートフォンからの電気錠操作]をタッチし、設定の案内画面が出たら内容を確認して[了解]をタッチする

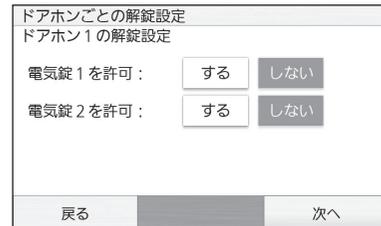
- 設定項目が表示されます。



- 2 [解錠許可]→[許可する]をタッチする
 - 本機能の利用に関する注意事項の説明画面が表示されます。
- 3 画面右下の[▼]でページをめくって注意事項を最後までよく読み、[利用する]をタッチする
 - 解錠許可の設定完了画面を表示後、解錠パスワードの入力を促す画面が表示されます。
- 4 画面の説明を確認し、[了解]をタッチする
 - 解錠パスワードの入力画面が表示されます。

- 5 パスワードを入力する
 - 文字入力のかたはは(P.106)
- 6 入力が終わったら、[次へ]をタッチする
 - 解錠パスワードの設定完了画面を表示後、ドアホンごとの解錠設定を促す画面が表示されます。

- 7 画面の説明を確認し、[了解]をタッチする
 - 下記の画面が表示され、設定可能な電気錠が表示されます。



- 8 ドアホン1の着信応対で解錠操作を許可する電気錠を[する]に設定し、[次へ]をタッチする
 - ドアホンが複数あるときは、次のドアホンの設定画面が表示されるので、ドアホンごとに設定をしてください。
 - 設定が終わると、ドアホンごとの設定結果が表示されます。
- 9 設定内容を確認し、[了解]をタッチする
 - 手順1の画面表示になります。画面を終了するには[終了]を押してください。

お知らせ

- 解錠許可の設定、解錠パスワードの設定、ドアホンごとの解錠設定は、下記の操作で変更することができます。
 - ①左の手順1の操作を行う
 - ②変更する項目を選び、画面に従って設定を変更する

警報器・コール機器・非常ボタンと連携して使う

P.125の対応機種をいずれか1種類のみ、有線で接続して連携させることができます。

- 接続方法は施工説明書をお読みください。
- 接続機器に応じて本機を適切に動作させるため、接続後は必ず、P.90「外部入力の接続機器」の設定をしてください。
- 接続や設定が完了すると、警報器・コール機器・非常ボタンに連動して本機が次のように動作します。

警報器(火災警報器など)が反応したとき

〈ドアホン親機や子機〉

通知音「ピポピポピポーン」が鳴り、画面に「警報器が反応しました」と表示されます。

- 通知時間：最大約3分※1
- 通知音量：「大」(固定)



お知らせランプが点灯※5

コール機器から呼ばれたとき

〈ドアホン親機や子機〉

通知音「ププププププ」が鳴り、画面に「コールです」と表示されます。

- 通知時間：最大約3分※1
- 通知音量：「大」※2



お知らせランプが点灯※5

非常ボタンが押されたとき

〈ドアホン親機や子機〉

非常警報音「ピロピロピロピロピローン」が鳴り、画面に「非常ボタンが押されました」と表示されます。

〈ドアホン1※3〉

非常警報音「ピロピロピロピロピローン」が鳴り、LEDライトが点滅します。

- 通知時間：音による通知は最大約10分※4
- 通知音量：「大」(固定)



●お知らせランプが点灯※5
●通話ランプが早点滅



- ※4 画面は約10分で消灯しますが、画面をタッチすると再表示されます。(ただし、子機の表示は「使用中」に変わります)
画面の表示・ランプやLEDライトの点滅による通知は、下記操作で通知を手動で終了するまで続きます。
- ※5 お知らせランプは、ドアホン親機のトップメニューを表示すると消灯します。

通知音や非常警報音をすぐに止めたいとき

ドアホン親機や子機で**〔終了〕**を押してください。

- 音の鳴り始めから約5秒間は終了できません。
- ドアホン親機の場合、画面上の停止ボタン(「音を止める」または「終了」)をタッチして止めることもできます。
- 終了操作をすると、ドアホン親機・子機すべての通知音や非常警報音が止まります。

お願い

- 非常ボタンからの非常警報音を止めたあとは、非常ボタンを元の状態に戻してください。
- 警報器・コール機器・非常ボタンの点検時は、本機の動作も確認してください。

お知らせ

- 警報器・コール機器・非常ボタンからの通知は、ドアホンやカメラとの通信よりも優先されます。
 - ・ドアホン通話中などに通知があると、通話が切れて通知画面に変わります。
 - ・通知画面を表示中は、ドアホンからの呼び出しを受けられません。
- 子機が電話の子機でもあるとき
 - ・外線や内線通話中に警報器などが反応すると、受話口から通知音や非常警報音が鳴ります。(通話は切れませんが、早めに通話を終わらせて反応した警報器などを確認してください)
 - ・警報器などからの通知画面を表示中は、電話をかける/受ける以外の操作はできません。
- 警報器・コール機器・非常ボタンからの通知の履歴をあとで確認することもできます。(P.108「情報表示画面」の④)
- スマートフォンにも通知します。

※1 警報器の反応やコール機器からの呼び出しが終わると通知を終了します。

※2 コール機器からの通知音量は「小」「切」に変更できます。(P.75「呼出音量を変える」)

※3 ドアホンを複数台ご利用時も、通知ができるのはドアホン1のみです。通知の方法はP.90「外部入力の接続機器」設定に従います。なお、ドアホン(ワイヤレス)と非常ボタンは連携できません。

光るチャイムやメロディサインなどと連携して使う

P.125の対応機種をいずれか1種類のみ、有線で接続して連携させることができます。

- 接続方法は施工説明書をお読みください。
- 接続すると、光るチャイムなどの機器が下記の場面で連動します。

連動する場面

- 来客からの呼び出し(ドアホン着信)やカメラからの呼び出し(カメラ着信)があったとき※¹
お買い上げ時の設定では、すべてのドアホン・カメラ着信に連動します。特定のドアホンやカメラにだけ連動させるよう設定を変更することもできます。(P.91「A接点出力との連動設定」)
- 警戒モード中のカメラや窓/ドアセンサーから反応通知があったとき※¹
- 警報器・コール機器・非常ボタンから反応や呼び出しの通知があったとき※¹

※¹ ドアホン親機などで着信に応答したり、各機器の反応通知を終了すると、A接点出力はOFFになります。
(光るチャイムなどの動作仕様は、ご使用の機器の説明書でご確認ください)

補聴器と連携して使う

P.125の対応機種を無線で接続して連携させることができます。連携すると、補聴器でドアホンの来客応答や室内通話などの操作ができます。

- 連携にはドアホン親機への登録が必要です。

補聴器をドアホン親機に登録する

本機の子機として登録します。

補聴器の操作方法は、ご使用の機器の説明書をお読みください。

補聴器の操作

1 本機に登録するための操作を行う

- 途中でドアホン親機の操作が必要になります。続けて下記の操作をしてください。



ドアホン親機の操作

2 P.116「子機をドアホン親機に登録する」の手順1の操作を行う

- 子機の操作を促す表示が出ます。約2分以内に下記の操作をしてください。

補聴器の操作

3 登録操作の続きを行う



ドアホン親機の操作

4 登録完了画面が出たら、表示内容(登録した子機番号や名前)を確認する

- 画面を終了するには、**[終了]**を押してください。

みまもりリモコンと連携して使う

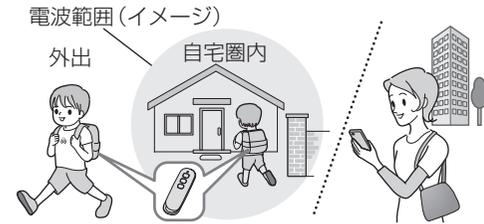
みまもりリモコンと連携すると、下記の機能を利用できます。

- リモコン1台に、みまもり機能とリモコン機能の両方を設定することができます。みまもり機能またはリモコン機能のみでも設定できます。

■ みまもり機能

みまもりリモコンを持った家族が自宅圏内か外出かをドアホン親機が判別し、状態が変わった場合にスマートフォンへ通知する機能です。

- 「自宅圏内」とは、みまもりリモコンがドアホン親機の電波の届く場所（通信可能範囲内）にあるときです。（自宅外でも電波が届き、自宅圏内と判別する場合があります）
- 「外出」とは、みまもりリモコンがドアホン親機の電波の届かない場所にあるときです。（自宅内でも電波が届かず、外出と判別する場合があります）



■ リモコン機能

ドアホン親機の一部の機能を、みまもりリモコンのボタンを使って操作できるようになります。

設定方法については「みまもりリモコンのボタンに機能を設定する」(P.69)をお読みください。

みまもりリモコンをドアホン親機に登録する

登録操作はドアホン親機とみまもりリモコンで行います。みまもりリモコンの電池を抜いた状態で登録操作を始めてください。（最大6台まで）

□ ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 画面右下の[▼] → [接続機器の登録/減設] → [登録] → 画面右下の[▼] → [みまもりリモコン]をタッチする
- 2 登録するみまもりリモコンの番号をタッチする
 - みまもりリモコンの操作を促す画面が表示されます。

🔋 みまもりリモコンの操作

- 3 みまもりリモコンの電池を入れる
 - 約3分以内に次の操作を行ってください。
 - 電池の入れかたについては、みまもりリモコンの取扱説明書をお読みください。
- 4 みまもりリモコンのランプが緑点減するまで、ボタン①を約5秒間押す
 - ドアホン親機が「ピー」と鳴ったら登録完了です。

□ ドアホン親機の操作

- 5 登録完了画面が表示されたら、[終了]を押す

みまもり機能のON/OFFと通信間隔を変更する

お買い上げ時の設定は、ON(通知する)/通信間隔は5分です。

設定操作はドアホン親機とみまもりリモコンで行います。

ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→画面右下の[▼]→[みまもりリモコン]→変更するみまもりリモコンの番号→[みまもり機能の設定]→[次へ]をタッチする
- 2 「みまもり」で[OFF](通知しない)または[ON](通知する)をタッチする
- 3 「ON」の場合は、通信間隔を設定する
- 4 設定が終わったら、[決定]をタッチする

みまもりリモコンの操作

- 5 みまもりリモコンのボタン②を約5秒間押す
 - ドアホン親機が「ピー」と鳴ったら設定完了です。

■ 通信間隔とスマートフォンへの通知について

設定した通信間隔で自宅圏内や外出を判別するため、スマートフォンへの通知は実際の自宅圏内や外出のタイミングと異なります。

みまもりリモコンとドアホン親機の通信間隔*1	スマートフォンへの通知までの時間	
	自宅圏内	外出
2分	約2分以内	約7分以内
5分(初期値)	約5分以内	約10分以内
15分	約15分以内	約20分以内

*1 通信間隔が短くなると、みまもりリモコンの電池寿命が短くなります。電池寿命については、みまもりリモコンの取扱説明書をお読みください。

- 通信間隔内で行き来したときは履歴に残らない場合があります。(例:「外出」→「自宅圏内」→「外出」になったときの自宅圏内の履歴)

みまもりリモコンのボタンに機能を設定する

みまもりリモコンを使って操作する機能を、みまもりリモコンのボタンに設定できます。ボタンに設定できる機能は、下記のいずれか1種類のみです。みまもり機能(自動で通知)と併用することもできません。

- ビデオ通話の相手呼び出す
- 電気錠を施錠/解錠する(JEM-A対応のみ)
- 警戒モードを切り替える
- 「自宅圏内」をスマートフォンに手動で通知する。(電波圏内でリモコンのボタンを押すたびに通知を行います)

設定操作はドアホン親機とみまもりリモコンで行います。

お知らせ

- ボタンごとに異なる機能を設定することはできません。
- 設定したあとのボタンの操作方法については、みまもりリモコンの取扱説明書をお読みください。

ビデオ通話の相手呼び出す機能を設定する

登録したビデオ通話の相手(他世帯のドアホン親機やスマートフォン)をみまもりリモコンのボタン操作で呼び出すことができます。(最大3台まで)

ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→画面右下の[▼]→[みまもりリモコン]→設定するみまもりリモコンの番号→[リモコンボタンの設定]→[次へ]をタッチする
- 2 [ビデオ通話の呼び出し]→[次へ]をタッチする

- みまもりリモコンの各ボタンに割り当てた呼び出し相手の一覧が表示されます。



- 3 呼び出し相手を設定するボタン番号右の→呼び出し相手の機器名→呼び出し相手の名前をタッチする

- 設定はボタンごとに繰り返してください。

4 設定が終わったら、[決定] をタッチする

みまもりリモコンの操作

- みまもりリモコンのボタン②を約5秒間押す
 - ドアホン親機が「ピー」と鳴ったら設定完了です。

電気錠の施錠／解錠機能を設定する

みまもりリモコンのボタン操作で、JEM-A対応の電気錠の施錠／解錠ができます。(最大2台まで)

ドアホン親機の操作

- トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → 画面右下の [▼] → [みまもりリモコン] → 設定するみまもりリモコンの番号 → [リモコンボタンの設定] → [次へ] をタッチする
- [電気錠の施錠／解錠] をタッチする
- 画面に表示された注意事項をよく読んで、[同意する] をタッチする
- 画面に表示された説明を読み、[次へ] をタッチする
- 暗証番号を設定する場合は [設定する] をタッチする
 - みまもりリモコンの第三者による不正な電気錠の操作や警戒モードの切り替え、リモコンを衣類のポケットなどに入れたときにボタンが押されて作動することを低減させるために、暗証番号を設定することをお勧めします。
 - 暗証番号を設定しない場合は [設定しない] をタッチして、手順7へ進みます。
- 任意の4桁の番号を設定し、[決定] をタッチする
 - 既に暗証番号を設定している場合は、現在の番号が表示されますので、新しい番号を設定してください。

みまもりリモコンの操作

- みまもりリモコンのボタン②を約5秒間押す
 - ドアホン親機が「ピー」と鳴ったら登録完了です。

ドアホン親機の操作

- 画面に表示された説明を読み、[了解] をタッチする

各ボタンで操作できる機能は、下記のとおりです。

ボタン番号	機能
1	電気錠1を施錠／解錠します。ボタンを押すたびに、施錠と解錠が切り替わります。
2	電気錠2を施錠／解錠します。ボタンを押すたびに、施錠と解錠が切り替わります。

警戒モードの切り替え機能を設定する

みまもりリモコンのボタン操作で、警戒モードの切り替えができます。

ドアホン親機の操作

- トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → 画面右下の [▼] → [みまもりリモコン] → 設定するみまもりリモコンの番号 → [リモコンボタンの設定] → [次へ] をタッチする
- [警戒モードの設定／解除] をタッチする
- 画面に表示された説明を読み、[次へ] をタッチする
- 「電気錠の施錠／解錠機能を設定する」(左記)の手順5からの操作を行う

各ボタンで操作できる機能は、下記のとおりです。

ボタン番号	機能
1	警戒モードを解除します。
2	警戒モードを留守に設定します。
3	警戒モードを在宅に設定します。

「自宅圏内」をスマートフォンに手動で通知する機能を設定する

みまもりリモコンのボタン操作で、ドアホン親機の電波範囲内「自宅圏内」であることを、登録しているスマートフォンすべてに通知できます。

□ ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→画面右下の[▼]→[みまもりリモコン]→設定するみまもりリモコンの番号→[リモコンボタンの設定]→[次へ]をタッチする
- 2 画面右下の[▼]→[スマホへの通知(自宅圏内時)]→[はい]をタッチする

📌 みまもりリモコンの操作

- 3 みまもりリモコンのボタン②を約5秒間押す
 - ドアホン親機が「ピー」と鳴ったら設定完了です。

みまもりリモコンのボタン操作を無効にする

みまもりリモコンのボタンを使用しない場合は、下記の操作でボタン操作を無効にしてください。

□ ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→画面右下の[▼]→[みまもりリモコン]→設定するみまもりリモコンの番号→[リモコンボタンの設定]→[次へ]をタッチする
- 2 [機能なし]をタッチする

📌 みまもりリモコンの操作

- 3 みまもりリモコンのボタン②を約5秒間押す
 - ドアホン親機が「ピー」と鳴ったら設定完了です。

みまもりリモコンの状態を確認する

みまもりリモコンの現在の位置と電池残量を確認します。

■ スマートフォンで確認する

スマートフォンでのみまもりリモコンの状態確認の詳細は、ドアホンコネクタアプリの取扱説明書(電子版)をお読みください。

■ ドアホン親機で確認する

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[情報を見る]→[接続状態]→[みまもりリモコン]をタッチする

● 状態確認画面が表示されます。

みまもりリモコンの状態
履歴確認ボタンの状態
(下記)

みまもりリモコンの状態表示について

表示	意味
自宅圏内	みまもりリモコンはドアホン親機の電波が届く場所にあります。
外出	みまもりリモコンはドアホン親機の電波が届かない場所にあります。
—	みまもり機能の利用が無効になっています。
電池わずか	みまもりリモコンの電池を交換してください。
電池切れ	

みまもりリモコンの状態の履歴を確認する

最新の50件が表示されます。

- 1 上記の手順1の画面で、確認したいみまもりリモコン番号の[履歴]をタッチする

● 履歴画面が表示されます。

📌 お知らせ

- 電波状況によっては、履歴の時刻が実際と異なる場合があります。

着信中・通話中・モニター中の別の呼び出し

着信中・通話中・モニター中に別の機器から新たな呼び出し(新着)があったときの主な動作例を説明します。

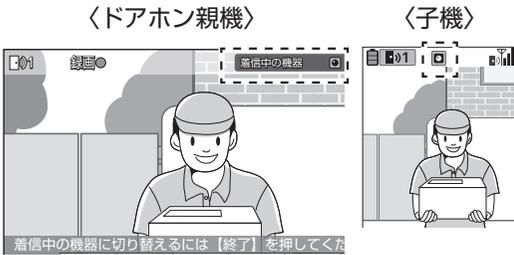
- ここに記載したドアホンは、有線接続タイプ(VL-V574L/V557L)の例です。別売のドアホン(ワイヤレス)の場合、動作が異なる場合があります。(詳細はP.114、115)
- 子機を電話の子機としても利用しているときは、電話中にドアホンやカメラからの呼び出しを受けたり、ドアホン通話中などに電話を受けたりすることもできます。(P.73)

■ 着信中の別の呼び出し(新着)

ドアホン着信とカメラ着信が重なったとき

新着の機器(ドアホン/カメラ)からの呼出音が鳴ります。着信の順序に関わらず、ドアホンの着信映像が表示され、カメラの着信は画面上部にピンク色のアイコンで表示されます。

例) ドアホンとセンサーカメラが着信中



- カメラの映像を表示するには次の操作をしてください。(ドアホン着信は終了します)
 - ・ドアホン親機: **【終了】**を押す
 - ・子機: **【モニター】**を押し、表示された機器選択画面でカメラを選ぶ

- ドアホンの着信が重なったとき(①)
- センサーカメラの着信が重なったとき(②)
- ワイヤレスカメラの着信が重なったとき(③)
- センサーカメラとワイヤレスカメラの着信が重なったとき(④)

新着の機器(ドアホン/カメラ)からの呼出音が鳴り、新着した機器の画面に切り替わります。

- 上記①や③では、前の着信は切断されます。
- 上記②や④では、前の着信は切断されず、着信中のまま画面上部にピンク色のアイコンで表示されます。

■ 通話中・モニター中の別の呼び出し(新着)

- ドアホンとの通話中、カメラ(または別のドアホン)から着信したとき
- ドアホンのモニター中、カメラから着信したとき

ドアホンとの通話やモニターは継続した状態で、新着の機器(ドアホン/カメラ)からの呼出音が鳴り、画面上部に新着の機器のアイコンがピンク色で表示されます。

例) ドアホンとの通話中、センサーカメラから着信



- 新着の機器の映像を表示するには、ドアホン親機や子機で**【終了】**を押してください。(通話やモニターは終了します)

- カメラのモニター中(または通話中)、別のカメラ(またはドアホン)から着信したとき
- ドアホンのモニター中、別のドアホンから着信したとき

モニターや通話が終了して新着の機器(ドアホン/カメラ)からの呼出音が鳴り、新着の機器の画面に切り替わります。

室内通話中、ドアホンやカメラから着信したとき

室内通話は継続した状態で、新着の機器(ドアホン/カメラ)からの呼出音が鳴り、ドアホン親機では**[[ほかの着信あり]]**ボタン、子機では画面上部に新着の機器のアイコンがピンク色で表示されます。

例) 室内通話中、センサーカメラから着信



- 新着の機器の映像を表示するには下記の操作をしてください。(室内通話は終了します)
 - ・ドアホン親機: **[[ほかの着信あり]]**をタッチ
 - ・子機: **【終了】**を押す

〈子機のみ〉

- 電話中のドアホン・カメラの呼び出し、
ドアホン・カメラ通話中の電話呼び出しなど

外線(または内線)通話中、
ドアホンまたはカメラから着信したとき

外線や内線通話は継続した状態で、着信したドアホンやカメラからの呼出音が鳴り、**通話**または**モニター**が点滅します。
画面には着信中のドアホンやカメラがアイコンと映像で表示されます。

例) 外線通話中、
ドアホンから着信



- ドアホンやカメラに応答するには、点滅中の**通話**または**モニター**を押します。
 - ・外線通話は保留になり、ドアホンとの通話やカメラのモニター画面に切り替わります。(内線通話は終了します)
 - ・保留した外線通話に戻るには、を押します。(ドアホンとの通話などは終了します)

- **ドアホン・カメラと通話(またはモニター中)、外線着信したとき**
- **室内通話中、外線着信したとき**

ドアホンやカメラとの通話やモニター、室内通話は継続した状態で、外線の呼出音が鳴り、が点滅します。
画面には「外線着信中」と表示されます。

例) ドアホン通話中、
外線着信



- 電話に出るには、点滅中のを押します。
 - ・ドアホンやカメラとの通話やモニター、室内通話は終了し、外線通話に切り替わります。

内線通話中、外線着信したとき

内線通話は継続した状態で、外線の呼出音が鳴り、が点滅します。

- 電話に出るには、点滅中のを押します。
 - ・内線通話が終了し、外線通話に切り替わります。

呼出音の種類を変える (ドアホン・カメラ・外線)

ドアホン親機や子機で次のときに鳴る呼出音の種類を変更できます。

- ・ ドアホンから呼ばれたとき
- ・ センサーカメラが反応したとき
- ・ ワイヤレスカメラが反応したとき
- ・ 外線の電話がかかってきたとき (子機のみ)

ドアホンからの呼出音

音1	ピーンポーン	音3	ポーンポーン ポーン
音2	ピーンポーン ピーンポーン	音4	プルルルルルル...

- ドアホン(1~2)ごとに設定でき、音の鳴りかた(押すたび/繰り返し)も選べます。

センサーカメラ・ワイヤレスカメラからの呼出音

音A	ピポッ	音C	ポーンポーン
音B	ポポポポポポ...	音D	ピーンポーン

- それぞれのカメラ(センサーカメラ1~2、ワイヤレスカメラ1~4)ごとに設定できます。

外線の呼出音

ベル(8種類)
ベル1~ベル8
メロディ(4種類)
JUPITER/ヴァルキューレの騎行/CANTATA
(主よ、人の望みの喜びよ)/くるみ割り人形

- ベル6~8:
© 2011 Akiyuki Ishida Creative Room.
Associate with Office Y.K All Rights Reserved.
- メロディ:
© 2006 Copyrights Vision Inc.



ドアホン親機の場合

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[呼出音と応答の設定]→[呼出音]をタッチする
 - 呼出音を設定できるドアホンやカメラが一覧表示されます。
- 2 呼出音を変えたいドアホン・カメラの番号をタッチする
 - 設定できる音の種類が表示されます。
- 3 下記の操作をする
 - ドアホンの場合
 - ① 音を選んでタッチし、設定の確認画面が出たら[はい]をタッチする
 - ② 鳴りかたの設定を促す画面が出たら[了解]をタッチする
 - 鳴りかたの種類が表示されます。
 - ③ 鳴りかたを選んでタッチする
 - 設定完了です。
 - カメラの場合
 音を選んでタッチし、設定の確認画面が出たら[はい]をタッチする
 - 設定完了です。
- 4 終わったら、[終了]を押す



子機の場合

- 1 トップ画面で[決定](メニュー)を押し、◀/▶で[設定]メニューを開く
 - 設定の機能一覧が表示されます。
- 2 ▼/▲で[呼出音]を選び、[決定]を押す
 - 呼出音を設定できるドアホン・カメラ・外線が一覧表示されます。
- 3 ▼/▲で呼出音を変えたいドアホン・カメラの番号、または[外線]を選び、[決定]を押す
 - 設定できる音の種類が表示されます。
- 4 下記の操作をする
 - ドアホンの場合
 - ① ▼/▲で音を選び、[決定]を押す
 - ② ▼/▲で鳴りかたを選び、[決定]を押す
 - カメラの場合
 ▼/▲で音を選び、[決定]を押す
 - 外線の場合
 [決定](変更)を押し、▼/▲で音を選び、[決定]を押す
- 5 終わったら、[終了]を押す

呼出音量を変える

設定できる呼出音量と音量のレベル

- ドアホンからの呼出音量 : 大/中/小/切
- カメラからの呼出音量 : 大/中/小/切
- 室内呼/ビデオ通話/
ビデオメッセージの呼出音量 : 大/中/小
- コール機器からの呼出音量 : 大/小/切
(子機のみ)
- 外線(電話)の呼出音量 : 大/中/小/切



ドアホン親機の場合

- 1 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → [呼出音と応答の設定] → [呼出音量] をタッチする
 - 呼出音量の項目一覧が表示されます。
- 2 変更する項目を選んでタッチする
 - 音量の選択画面が表示されます。
- 3 音量を選んでタッチし、設定の確認画面が出たら[はい]をタッチする
 - 設定後、画面を終了するには[終了]を押してください。



子機の場合

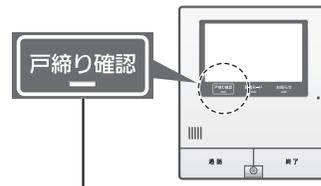
- 1 トップ画面で▼/▲を押す
 - 呼出音量の項目一覧が表示されます。
- 2 ▼/▲で変更する項目を選んで[決定]を押し、▼/▲で音量のレベルを変更する
 - 「室内呼/内線」以外の音量は、「切」(音を鳴らさない)にすることもできます。
 - ・「切」にするとき
■切 が出るまで▼を長押しする
 - ・「切」を解除するとき
▲を押す
 - 設定後、画面を終了するには[終了]を押してください。

戸締り確認機能を使う

電気錠や窓/ドアセンサー利用時に有効な機能です。

ドアホン親機の[戸締り確認] ボタンを使って次の操作ができます。

- 電気錠の施錠/解錠確認や操作
(A接点对応の電気錠は状態確認ができません)
- 窓/ドアセンサーの状態確認
- 電気錠の施錠忘れの通知・設定

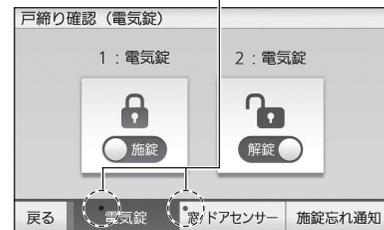


戸締り確認ランプ

解錠中の電気錠や開いている窓/ドアがあると赤点灯でお知らせします。

電気錠や窓/ドアセンサーの状態を確認する

- 1 [戸締り確認] をタッチする
 - 戸締り確認画面が表示されます。
(解錠中の電気錠や開いている窓/ドアがあると、ボタン左上に●が赤点灯します)



[窓/ドアセンサー] をタッチ ↓ ↑ [電気錠] をタッチ

戸締り確認 (窓/ドアセンサー)	
センサー名	状態
2階: 窓センサー-4	開
1階: 窓センサー-5	開
玄関: ドアセンサー-1	閉
勝手口: ドアセンサー-2	閉

- 電気錠を操作(施錠/解錠)するとき
上記の電気錠の画面で、操作する電気錠をタッチする

窓/ドアセンサーの状態表示画面について

戸締り確認 (窓/ドアセンサー)		
センサー名	状態	
2階: 窓センサー4	開	1 2
1階: 窓センサー5	開	
玄関: ドアセンサー1	閉	
勝手口: ドアセンサー2	閉	
戻る	電気錠	窓/ドアセンサー 施錠忘れ通知

■ センサー名の表示内容

- 1行目: 場所名
(P.89「窓/ドアセンサー」の「場所名」設定時のみ表示)
- 2行目: 登録時の機器番号
(連携したスマートフォンで各機器に名前を付けると、その名前を表示)

■ 状態アイコンの種類と意味

	(青)	窓センサー: 窓が閉じている
	(赤)	窓センサー: 窓が開いている
	(青)	ドアセンサー: ドアが閉じている
	(赤)	ドアセンサー: ドアが開いている
		電波が届いていない(圏外)
		電池切れまたは電池が切れかかっている

■ 各センサーの表示順

電波圏外→電池切れ→開いている窓/ドア→閉じている窓/ドアの順に表示します。

🍌 お知らせ

- 子機では窓/ドアセンサーの状態確認はできません。

電気錠の施錠忘れ通知について

施錠されていない状態が約30分続いたとき、施錠忘れと判断して連携したスマートフォンに通知する機能です。

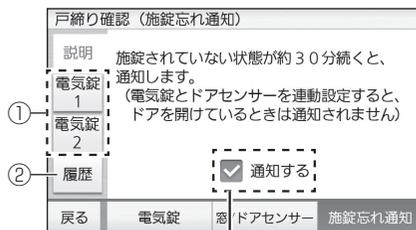
- JEM-A対応の電気錠をご使用の場合のみ利用できます。

施錠忘れ通知をON/OFFする

お買い上げ時の設定はOFF(通知しない)になっています。下記の操作で切り替えてください。

1 戸締り確認画面で[施錠忘れ通知]をタッチする

- 施錠忘れ通知の説明画面が表示されます。



をタッチして にすると、通知ONになります。(タッチすることにより切り替わります)

- ① ドアセンサーご使用時に表示され、電気錠とドアセンサーの連動設定ができます。(P.77)
電気錠が付いたドアにドアセンサーを付けている場合に連動設定をしておくこと、換気などで意図的にドアを開けておくときに施錠忘れ通知がなくなるので便利です。
- ② 施錠忘れが通知された履歴を表示します。(P.77)

🍌 お知らせ

- 通知をONにすると、施錠されていない状態が約30分続いたときにドアホン親機にもお知らせとして通知され、お知らせランプが点灯します。(お知らせ画面を見るにはP.108)

電気錠とドアセンサーを連動設定する

設定すると、「ドアが閉まっているのに電気錠が施錠されていない状態」が約30分続いたときだけ施錠忘れ通知をすることができます。

- 電気錠 (1、2) ごとに、連動させるドアセンサーを設定できます。

1 P.76の手順1の画面で、設定する電気錠(1または2)ボタンをタッチする

- 連動設定の画面が表示されます。(初期値は連動しない設定です)

戸締り確認 (施錠忘れ通知)			
説明	連動させるドアセンサーを選んでください		
	<input checked="" type="radio"/> 連動センサーなし (電気錠のみ)		
電気錠 1	<input type="radio"/> 玄関: ドアセンサー 1		1/2
電気錠 2	<input type="radio"/> 勝手口: ドアセンサー 2		
履歴	<input type="radio"/> 事務所: ドアセンサー 3		
戻る	電気錠	窓/ドアセンサー	施錠忘れ通知

2 連動させるドアセンサーを選んでタッチする

施錠忘れ通知の履歴を確認する

施錠忘れが通知された日時と発生場所 (電気錠名) を履歴として確認できます。(最新の50件を表示)

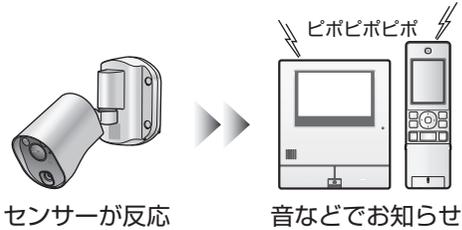
1 P.76の手順1の画面で、[履歴]をタッチする

- 履歴の画面が表示されます。

戸締り確認 (施錠忘れ通知)			
説明	通知日時	施錠忘れ場所	
	2018/ 8/24 8:30	電気錠 1	
電気錠 1	2018/ 8/12 15:23	電気錠 1	
	2018/ 7/23 8:20	電気錠 2	
電気錠 2	2018/ 7/ 2 12:45	電気錠 1	1/2
	2018/ 6/20 18:30	電気錠 2	
	2018/ 5/29 8:12	電気錠 2	
履歴	2018/ 5/ 1 8:30	電気錠 1	
	2018/ 4/24 12:35	電気錠 1	
戻る	電気錠	窓/ドアセンサー	施錠忘れ通知

警戒モードを使う

警戒モードとは、カメラや窓/ドアセンサーが反応したときに、ドアホン親機や子機で報知音や報知画面を出して警戒通知をしたり、スマートフォンに通知する機能です。



- 警戒モードは、カメラ、窓/ドアセンサーのいずれかをドアホン親機に登録すると使うことができます。
- スマートフォンへの通知の設定は、ドアホンコネクタアプリの取扱説明書 (電子版) をお読みください。

警戒モードを切り替える

警戒モードは「在宅」「留守」「解除」の3種類あり、お買い上げ時は警戒モードを使用しない「解除」に設定されています。警戒モードを使用する場合は、在宅時は「在宅」に、外出時は「留守」に設定します。

- 「在宅」「留守」の動作については、「警戒モードの動作について」(P.78) をお読みください。

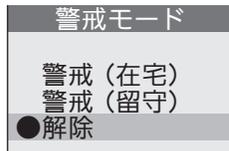
ドアホン親機の場合

1 トップメニューで切り替えたいモードを選んでタッチする



子機の場合

- 1 トップ画面で**決定**(メニュー)を押し、◀/▶で**[ドアホン]**メニューを開く
- 2 ▼/▲で**[警戒モード]**を選び、**決定**を押す
 - 警戒モード画面が表示されます。
- 3 ▼/▲でモードを選び、**決定**を押す



お知らせ

- モードの切り替え時にメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。
- 警戒モードを「解除」に設定しても、センサー反応の履歴はドアホン親機に記録されます。

警戒モードの動作について

警戒モードの動作は機器によって異なります。お買い上げ時の動作は次のとおりです。

警戒モードの対象機器		「在宅」の動作	「留守」の動作
センサーカメラ 	屋外	警戒通知しない	ドアホン親機の報知音が鳴る、など※1
	屋内	警戒通知しない	
ワイヤレスカメラ 		警戒通知しない	ドアホン親機と子機の予備報知音が鳴る、など※2
窓/ドアセンサー 		ドアホン親機・子機・窓/ドアセンサーの予備報知音が鳴る、など※2	

※1 動作の詳細は「警戒モードの動作例」の「シーンの例1」をお読みください(右記)。

※2 動作の詳細は「警戒モードの動作例」の「シーンの例2」をお読みください(右記)。

警戒モードの動作例

次の例はお買い上げ時の設定の場合です。

- 動作や報知音の音量などは、お好みで変更できます。詳しくは「警戒モードの詳細設定を変更する」(P.79)をお読みください。

■ シーンの例1

警戒モードの対象機器	警戒モード
屋外センサーカメラ	留守

ドアホン親機の動作(※)
報知音「ブルルルー」が中音量で約30秒間鳴ります。画面には反応したカメラの映像が表示されます。 ・ワイヤレスカメラと異なり、センサーの反応情報は表示されません。

スマートフォンの動作
ドアホン親機からセンサー反応が通知されません。ドアホン親機や子機で報知音を止めても(P.79)、スマートフォンにはセンサーカメラの反応が通知されます。

※ 子機では呼出音が鳴って反応したカメラの映像が表示されます。(警戒モード「解除」時と同じ動作になります)

■ シーンの例2

警戒モードの対象機器	警戒モード
ワイヤレスカメラ	留守
窓/ドアセンサー	在宅または留守

ドアホン親機や子機の動作
<p>① 予備報知音「ピポピポピポ」が20秒おきに、中音量で約1分間鳴ります。画面にはセンサーの反応情報が表示されます。(この時間を予備報知時間と呼びます) ・表示は窓/ドアセンサー反応時の例です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">〈ドアホン親機〉</p> <p style="text-align: center;">(1階) 窓センサー 3 ☑ 窓センサーが反応しました</p> <p style="text-align: center;">予備報知停止</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">〈子機〉</p> <p style="text-align: center;">窓センサー反応</p> <p style="text-align: center;">1階 窓センサー 3</p> </div> </div> <p>② 予備報知が終わると、報知音「ブルルルー」が約3分間鳴ります。「(在宅)設定時は中音量、「留守」設定時は大音量で鳴ります」画面にはセンサーの反応情報が表示されます。(この時間を報知時間と呼びます)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">(1階) 窓センサー 3 ☑ 窓センサーが反応しました</p> <p style="text-align: center;">報知停止</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">窓センサー反応</p> <p style="text-align: center;">1階 窓センサー 3</p> </div> </div>

スマートフォンの動作

ドアホン親機からセンサー反応が通知されます。ただし、ドアホン親機や子機で予備報知音を止めると(下記)、通知されません。

(窓/ドアセンサー反応時)

窓/ドアセンサーも下記のように動作します。

- ① 予備報知音「ピーピー」が小音量(固定)で鳴ります。
 - ・窓センサー:約3秒で止まります。
 - ・ドアセンサー:約1秒で止まります。
- ② 予備報知音が鳴ってから約1分後、報知音「ヒュンヒュンヒュン」が大音量(固定)で約30秒間鳴ります。

予備報知音や報知音を止めるには

■ センサーカメラの反応時

ドアホン親機や子機で、モニターボタンを押す

■ 窓/ドアセンサーの反応時

ドアホン親機や子機で、**終了**を押す

- ・ドアホン親機・子機:窓/ドアセンサーのすべての報知音が止まります。
- ・ドアホン親機の場合、画面上の停止ボタン([予備報知音停止]または[報知音停止])をタッチして止めることもできます。

ドアセンサー利用時に、「留守」設定して外出/帰宅するときの使用例

■ 外出するとき

- ① 警戒モードを「留守」に切り替える(P.77)
 - ・警戒モード(留守)が作動するまでに、猶予時間(報知音遅延時間:初期値1分)が設けられています。この間、ドアホン親機では報知音遅延音「ピピッ ピピッ」が鳴ります。
- ② 報知音遅延時間内にドアを開けて外出する
 - ・報知音遅延時間を過ぎてドアを開けると、下記のように動作します。

■ 帰宅したとき

- ① 帰宅時にドアを開ける
 - ・予備報知音「ピポピポピポ」が20秒おきに、中音量で約1分間鳴ります。
(詳細は「警戒モードの動作例」の「シーンの例2」を参照(P.78))
- ② 予備報知音時間内にドアホン親機や子機で**終了**を押す、警戒モードを「在宅」または「解除」に切り替える

警戒モードの詳細設定を変更する

警戒モード中にカメラや窓/ドアセンサーが反応したときに、ドアホン親機や子機をどのように動作させるかをお好みで設定できます。

- 「センサーカメラ」と「ワイヤレスカメラ・窓/ドアセンサー」では設定できる内容が異なります。
- 設定はドアホン親機で行います。

センサーカメラの詳細設定を変更する

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[システムの設定]→[警戒モードの設定]をタッチする
- 2 [警戒(在宅)中の報知音設定]または[警戒(留守)中の報知音設定]をタッチする
 - 「在宅」の設定内容を変更する場合は[警戒(在宅)中の報知音設定]を、「留守」の設定内容を変更する場合は[警戒(留守)中の報知音設定]をタッチしてください。
- 3 [センサーカメラ反応時]をタッチする
 - 設定できる項目が表示されます。
- 4 変更する項目をタッチして内容を設定する
- 5 詳細設定が終わったら、**終了**を押す

設定できる内容は次のとおりです。

警戒(在宅)中の報知音設定	
音量(予備報知音・報知音)	大、中、小、切 ● 初期値:中
カメラごとの報知音ON/OFF設定	
センサーカメラ 1~2	ON(報知音)、ON(予備報知音)、OFF ● 初期値 屋外カメラ:OFF 屋内カメラ:OFF
警戒(留守)中の報知音設定	
音量(予備報知音・報知音)	大、中、小、切 ● 初期値:中
カメラごとの報知音ON/OFF設定	
センサーカメラ 1~2	ON(報知音)、ON(予備報知音)、OFF ● 初期値 屋外カメラ:ON(報知音) 屋内カメラ:OFF

ワイヤレスカメラ・窓/ドアセンサーの詳細設定を変更する

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[システムの設定]→[警戒モードの設定]をタッチする
- 2 [警戒(在宅)中の報知設定]または[警戒(留守)中の報知設定]をタッチする
 - 「在宅」の設定内容を変更する場合は[警戒(在宅)中の報知設定]を、「留守」の設定内容を変更する場合は[警戒(留守)中の報知設定]をタッチしてください。
- 3 [ワイヤレスカメラ・窓/ドアセンサー反応時]をタッチする
 - 設定できる項目が表示されます。
- 4 下記の操作で項目の詳細を設定する
 - 予備報知などの時間や音量を変更するとき
 - ① 変更する項目をタッチする
 - 設定画面が表示されます。



- ② [+]または[-]をタッチして時間を変更し、[小さく]または[大きく]をタッチして音量を変更する
 - [小さく]を繰り返しタッチして音量を「切」にすることもできます。
 - ③ 設定が終わったら、[決定]をタッチする
 - 設定内容が更新されます。
 - 音量を「切」にしたときは確認画面が表示されます。表示に従って操作してください。
- 報知ON/OFFを変更したいカメラ・窓/ドアセンサーがあるとき
 - ① [センサーごとの報知ON/OFF設定]→各機器の登録場所名(※)→設定を変更したいカメラ・窓/ドアセンサーをタッチする
 - ※ 各機器は、P.89、103で設定した場所名ごとに分類されています。場所名を未登録の機器は「場所：ー」を選んでください。
 - ② 報知ON/OFFの設定画面が出たら、変更したい設定内容を選んでタッチする
 - 設定内容が更新されます。

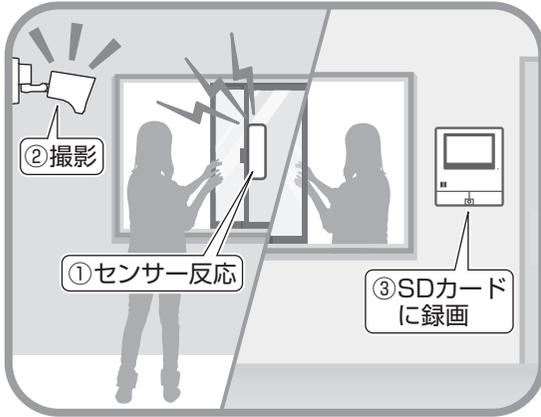
5 詳細設定が終わったら、[終了]を押す

設定できる内容は次のとおりです。

警戒(在宅)中の報知設定	
予備報知時間と音量	
予備報知時間	0秒～29分59秒 ● 初期値：1分
予備報知音量	大、中、小、切 ● 初期値：中
報知時間と音量	
報知時間	1秒～29分59秒 ● 初期値：3分
報知音量	大、中、小、切 ● 初期値：中
センサーごとの報知ON/OFF設定	
センサーごとに設定	ON、ON(予備報知あり)、OFF ● 初期値 カメラ：OFF 窓/ドア：ON(予備報知あり)
警戒(留守)中の報知設定	
報知遅延時間と音量(外出時)	
報知遅延時間	0秒～29分59秒 ● 初期値：1分
報知遅延音量	大、中、小、切 ● 初期値：中
予備報知時間と音量(帰宅時)	
予備報知時間	0秒～29分59秒 ● 初期値：1分
予備報知音量	大、中、小、切 ● 初期値：中
報知時間と音量	
報知時間	1秒～29分59秒 ● 初期値：3分
報知音量	大、中、小、切 ● 初期値：大
センサーごとの報知ON/OFF設定	
センサーごとに設定	ON、ON(予備報知あり)、OFF ● 初期値 カメラ：ON(予備報知あり) 窓/ドア：ON(予備報知あり)

接続機器の連動設定

窓/ドアセンサーやワイレスカメラの人感/動作検知/外部センサー※に連動して、カメラ映像を録画するようにプログラムを作成・登録できます。
 ※外部センサーはVL-WD813のみ。



- 登録できるプログラムは最大50件です。
- プログラム作成時は、録画のきっかけとなるセンサー、録画連動する曜日・時間帯、警戒モードとの連動条件などを、お好みで設定できます。
- カメラ映像の録画には、SDカード(ドアホン親機に装着)が必要です。
- 次の録画連動プログラムは、ワイレスカメラをドアホン親機に登録時に自動で設定されます。(例: VL-WD712を接続した場合)

自動で設定されるプログラム(変更もできます)

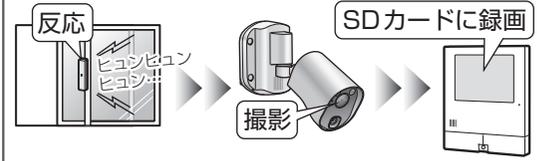
録画するカメラ : 登録したカメラ
 連動させるセンサー : 登録したカメラに内蔵のセンサー(人感/動作検知)
 連動時間 : 0:00-0:00
 曜日設定 : 毎日
 警戒モード : 在宅、留守、解除

●内蔵のセンサーが反応したときに、自身のカメラ映像を録画するためのプログラムです。このプログラムがないと、カメラの反応時に録画ができないほか、ドアホン親機や子機への着信(呼出音と映像表示による通知)もできません。

録画の連動パターン①

窓/ドアセンサーが反応したときに、周辺に設置したワイレスカメラで撮影して録画する

例) 毎日、22:00~6:00、
 警戒モード(在宅/留守)中に
 窓センサー2が反応したら、カメラ2で撮影してドアホン親機のSDカードに自動録画

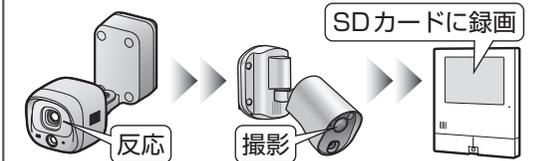


録画の連動パターン②

ワイレスカメラが反応したときに、別のワイレスカメラで撮影して録画する

●カメラ同士を連動させることで、周りを移動する被写体がとらえやすくなります。

例) 土日、0:00~0:00(常時)、
 警戒モード(在宅/留守)中に
 カメラ1が反応したら、カメラ3で撮影してドアホン親機のSDカードに自動録画



カメラの録画プログラムを追加する

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[システムの設定]→[ワイレスカメラの録画連動設定]をタッチする
 - 設定できるワイレスカメラが一覧表示されます。
- 2 録画設定をするカメラをタッチする
 - プログラムの設定画面が表示されます。



(次ページにつづく)

3 [プログラムの追加]をタッチする

- 連動できるセンサーが一覧表示されます。



4 連動させたいセンサーの右にある[追加]をタッチする

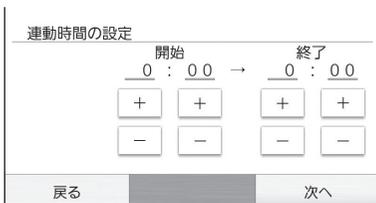
- 連動条件の設定画面が表示されます。



条件を変更するときにタッチします。

5 変更する条件の右にある[✎]をタッチし、設定画面が表示されたら詳細を設定する

■ 連動時間の設定画面の場合



[+]または[-]をタッチして開始と終了時刻を設定し、[次へ]をタッチする

- 手順4の画面になり、設定した内容が表示されます。

■ 曜日設定の設定画面の場合

青色のボタンがONの状態です。タッチしてON/OFFを切り替えます。

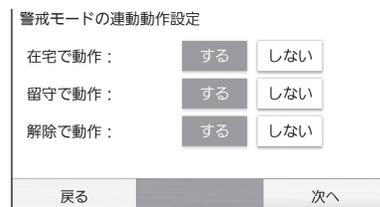


曜日ボタンをタッチして連動させる曜日を指定し、[次へ]をタッチする

- 手順4の画面になり、設定した内容が表示されます。

■ 警戒モードの設定画面の場合

連動させたくないモードは[しない]をタッチします。



[する]または[しない]をタッチして各モードの連動設定を変更し、[次へ]をタッチする

- 手順4の画面になり、設定した内容が表示されます。

6 設定が終わったら、[決定]をタッチする

- 設定したプログラムの追加が完了します。画面を終了するには[終了]を押してください。

お知らせ

- 1つのセンサーに対して、同じ時間帯に複数のワイヤレスカメラで録画させるような設定はできません。
- カメラと録画連動設定したセンサーが反応すると、ドアホン親機や子機ではカメラからの呼出音が鳴ってカメラの映像が表示されます。
- 他機器のセンサー反応に連動して録画するときのタイミングについて
他機器のセンサー反応をカメラに通知するまでに時間がかかるため、カメラ自身のセンサー反応で録画する場合と比べ、録画開始が遅くなります。

カメラの録画プログラムを変更する

登録済みのプログラムの連動条件の変更や、プログラムの動作を無効にする設定ができます。

1 P.81の手順1、2を行い、プログラムの設定画面で[プログラムの変更]をタッチする

- プログラムの変更画面が表示されます。



2 変更するセンサーの右にある[変更]をタッチする

- 連動条件の設定画面が表示されます。



- 連動条件の変更方法は、P.82の手順5以降を参照してください。
- プログラムを動作させないようにするには [無効] をタッチし、確認画面で [了解] → [決定] をタッチしてください。

カメラの録画プログラムを削除する

不要になったプログラムを削除できます。

1 P.81の手順1、2を行い、プログラムの設定画面で[プログラムの変更]をタッチする

- プログラムの変更画面が表示されます。

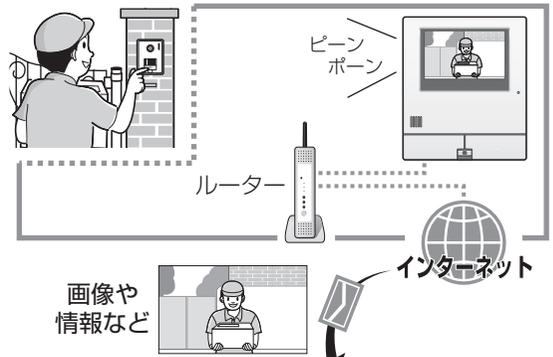


2 プログラムを削除するセンサーの右にある[削除]をタッチし、削除の確認画面が出たら [はい] をタッチする

- プログラムの削除が完了します。画面を終了するには [終了] を押してください。

携帯電話などにドアホンやカメラの画像を送る(メール通知)

ドアホン親機をインターネットに接続しているときに(P.52)、本機から携帯電話などに画像や情報をメールで送る機能です。この機能を使うにはメール送信に必要な情報の設定が必要です。



スマートフォン・携帯電話・パソコンなど、最大4つのメールアドレスへメールを送信



ご利用までの流れ

① 設定に必要な送信元情報を準備する

次の情報が必要です
Ⓐ 送信元メールアドレス (プロバイダーやフリーメールサービスから取得した、あなたのメールアドレスです) ※携帯電話のメールアドレスは使えません。
Ⓑ ご使用になる送信メールサーバー名 (一般的にはSMTPから始まる名前です)
Ⓒ メール送信に使うSMTPポート番号
Ⓓ セキュリティ(暗号化)設定の必要の有無と、暗号化の種類
Ⓔ SMTP認証設定の必要の有無と、必要な場合のアカウント名(ユーザー名)とパスワード ・SMTP認証は、メール送信のたびに送信者の認証を行い、サーバー側が認証できたときにメールを送信する方式です。

- インターネットサービスプロバイダーのメールサービスを使うときは、インターネットの契約書類などでご確認ください。(不明な場合は、プロバイダーへご確認ください)
 - 無料で取得できるフリーメールサービスを使うときは、サービス提供元のヘルプなどをご参照ください。
- ② メールサーバーや通知先メールアドレスの登録をする(P.85)
- ドアホン親機とルーターを無線LANで接続しているときは、事前にドアホン親機のトップメニューで無線LANの電波状態をご確認ください。(P.18)
電波状態が悪いと設定できません。

お知らせ

- メールの受信側で迷惑メール対策をしていると、受信できないことがあります。送信元として設定するメールアドレスを受信できるように、受信側の設定を変更してください。
- ネットワーク環境の状態によっては、メールが送信できない場合があります。

メール通知機能がONのとき

- ドアホン親機などで来客応答してもメールは送信されます。在宅時などメール送信を止めるには、メール通知をOFFにしてください。(P.85)
- 通知先として複数のメールアドレスを登録すると、すべてのメールアドレスに一齐にメールが送信されます。(通知先ごとに通知のON/OFF設定はできません)

送信できる情報と送信のタイミング

P.92「送信選択」の設定に従って、下記①～⑤の情報が送信されます。

- お買い上げ時は、すべて送信される設定です。必要に応じて設定を変更してください。
- ① **ドアホンの着信情報と画像(静止画1枚)**
ドアホン(1~2)から呼び出しがあったとき
 - ② **センサーカメラの反応情報と画像(静止画2枚)**
センサーカメラ(1~2)が反応したとき
 - ③ **ワイヤレスカメラの反応情報と画像(静止画2枚)**
ワイヤレスカメラ(1~4)が反応したとき
 - ④ **警報器・コール機器・非常ボタンからの通知情報**
各機器から反応や呼び出しの通知がきたとき
 - ⑤ **警戒モード中のセンサー検知情報**
ワイヤレスカメラや窓/ドアセンサーの反応で本機の報知音が鳴ったとき
(予備報知中はメール送信されません)

メール送信設定をする

メールサーバーを登録する

事前に準備した送信元情報 (P.84の①) を元に、送信元のメールサーバーの登録を行います。

- 登録操作の最後に、入力した送信元メールアドレスにテストメールが送信されます。受信確認ができるパソコンなどを準備してください。

- 1 トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] → 画面右下の [▼] → [ネットワークの設定] → [メール送信設定] をタッチする

- メール送信設定画面が表示されます。



- 2 [メールサーバー登録/修正] をタッチし、画面の表示に従って必要事項を設定する

- 最初に送信元メールアドレスの入力画面が表示されます。(文字入力のしかたは P.106)



- ① 送信元メールアドレス (P.84の①) を入力し、間違いないことを確認後、[次へ] をタッチする
- ② 送信メールサーバー (P.84の②) を入力し、間違いないことを確認後、[次へ] をタッチする
- ③ 送信ポート番号 (P.84の③) を入力し、間違いないことを確認後、[次へ] をタッチする
- ④ P.84の④で確認したセキュリティの種類 (TLS、SSL、なし) をタッチする
- ⑤ P.84の⑤で確認したSMTP認証 (使用する、使用しない) をタッチする
 - 「使用する」を選んだときは、アカウント名 (ユーザー名) を入力 → [次へ] をタッチ → パスワードを入力 → [次へ] をタッチします。

- 3 「メール送信のテストを行います」の表示が出たら、[はい] をタッチする

- 設定した送信元メールアドレスにテストメールが送信されます。送信完了画面が出たら、[了解] をタッチしてください。(手順1の画面が表示されます)
 - メールが届いたことを確認し、続けて通知先メールアドレスの登録を行います。
 - その他の画面が出たときは登録が完了していません。P.135も参照のうえ、登録し直してください。

通知先メールアドレスを登録する

最大4つのメールアドレスを登録できます。

- 1 メール送信設定画面 (左記手順1) で [通知先メールアドレス] をタッチする

- 登録ボタン (通知先1~4) が表示されます。

- 2 下記の手順で登録する

- ① 登録ボタン (通知先1~4) をタッチする
 - メールアドレス入力画面が表示されます。
- ② メールアドレスを入力し、完了したら [次へ] をタッチする
- ③ 「メール送信のテストを行います」の表示が出たら、[はい] をタッチする
 - 入力したメールアドレスにテストメールが送信されます。
- ④ 「送信先にメールが届いているか確認してください」の表示が出たら、[次へ] をタッチする
- ⑤ 入力したメールアドレスの登録確認画面が出たら、間違いないことを確認して [はい] をタッチする
 - 登録完了画面が表示されます。同時にメール通知機能がONになります。
 - 複数のメールアドレスを登録するときは、上記①~⑤を繰り返して行います。
 - 登録完了後、[終了] を押してください。

メール通知ON/OFFを切り替える

トップメニューのメール通知ボタンで通知ON/OFFの切り替えができます。在宅時など、通知が不要なときはOFFにしてください。

- メール通知ボタンはメールサーバーと通知先メールアドレスの登録後に表示されます。



タッチするとON/OFFが切り替わる

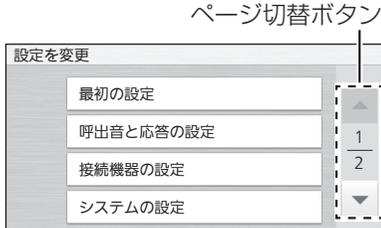


ドアホン親機の機能設定 (設定方法と機能一覧)

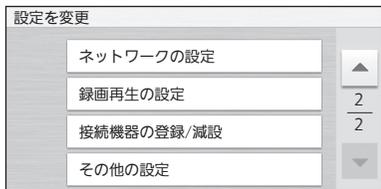
トップメニューからドアホン親機の各種機能の設定ができます。

1 トップメニューの [設定/情報] → [設定を変更] をタッチする

- 設定の項目一覧が表示されます。



[▼] をタッチ ↓ ↑ [▲] をタッチ



- 各項目の機能の詳細は機能一覧表でご確認ください。

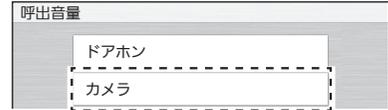
2 設定する項目をタッチする

- 選んだ項目の機能一覧が表示されます。
(例: 「呼出音と応答の設定」の場合)



3 設定する機能をタッチし、設定内容を変更する

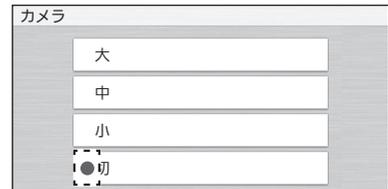
- 選んだ機能によってはサブメニューや確認メッセージが表示される場合があります。表示に従って操作してください。
(例: 「呼出音量」の場合)



「●」が現在の設定 ↓ [カメラ] をタッチ



↓ [切] をタッチ



4 設定が終わったら、[終了] を押す

「最初の設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [最初の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
日時設定	<p>初期値：2018年1月1日0時00分</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日時の変更ができます。日時の設定画面が出たら、[+][−]をタッチして現在の日時を設定し、[決定]をタッチしてください。
ドアホンのワイド/ズーム設定	<p>ドアホン(1~2ごとに設定)</p> <p>来客時 : ズーム、ワイド、全体</p> <p>モニター時 : ズーム、ワイド、全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 来客時やモニター時の映像表示のしかたをそれぞれ設定できます。(詳細はP.25)
ドアホンのズーム位置設定	<p>ドアホン(1~2ごとに設定)</p> <p>初期値：ワイド映像の中央</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ズーム画面のとき、最初に表示する位置を設定します。(詳細はP.25)

「呼出音と応答の設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [呼出音と応答の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
<p>呼出音量</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳細はP.75 	<p>ドアホン : 大、中、小、切</p> <p>カメラ : 大、中、小、切</p> <p>室内呼/ビデオ通話 : 大、中、小</p> <p>外部入力(コール機器) : 大、小、切</p>
<p>呼出音</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 詳細はP.73 	<p>ドアホン(1~2ごとに設定)</p> <p>(音の種類を選択) : 音1、音2、音3、音4</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期値：ドアホン1は音1、ドアホン2は音2 <p>(鳴りかたを選択) : 押すたび、繰り返し(5秒ごとに鳴る)</p> <p>センサーカメラ(1~2ごとに設定)</p> <p>: 音A、音B、音C、音D</p> <p>ワイヤレスカメラ(1~4ごとに設定)</p> <p>: 音A、音B、音C、音D</p>
音声応答	<p>する、しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「する」を選ぶと、ドアホンからの呼び出しに音声応答できます。(通話ボタンでの応答もできます)

「接続機器の設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
ドアホン	ドアホンの名前	ドアホン1: <input type="text" value="ドアホン1"/> 、玄関、門、勝手口 ドアホン2: <input type="text" value="ドアホン2"/> 、玄関、門、勝手口 ● 設定した名前は、子機でドアホンやカメラをモニターする際、モニター機器の選択画面に表示されます。
	ドアホン照明自動点灯	ドアホン(1~2ごとに設定) 来客時 : <input type="text" value="する(暗いとき)"/> , する(常時)、しない モニター時: <input type="text" value="する(暗いとき)"/> , する(常時)、しない ● 来客時やモニター時のそれぞれで、ドアホンのLEDライトを自動点灯させるかどうかを選びます。
	ドアホン接続	ドアホン1: <input type="text" value="あり"/> , 自動判定、なし ドアホン2: あり、 <input type="text" value="自動判定"/> , なし ● 有線で接続するドアホンの設定です。通常は変更不要ですが、使わなくなったドアホンがあれば、「なし」を選びます。 ● 別売のドアホン(ワイヤレス)をドアホン2として登録している場合、上記のドアホン2はグレー表示となり変更できません。
	ドアホン(ワイヤレス)の電池セーブ(★)	標準、 <input type="text" value="セーブ1"/> , <input type="text" value="セーブ2(来客応答専用)"/> ● 「セーブ1」は、「標準」より電池寿命が長くなりますが、モニター時は映像が表示されるまでに時間がかかります。 ● 「セーブ2」は、「セーブ1」より電池寿命が長くなりますが、次の制限があります。 ① ドアホン親機や子機からモニターや通話ができない ② 「ドアホンのズーム位置設定」(P.25) ができない ③ 次の場合、表示される画面に従い、お客様自身で玄関先のドアホンの呼出ボタンを押す必要がある ・電波レベルや電池残量の確認画面で、情報を更新するとき(P.110) ・再度、「ドアホン(ワイヤレス)の電池セーブ」設定を変更するとき
	ドアホン(ワイヤレス)の明るさ(★)	(映像が暗くなる) -2、-1、 <input type="text" value="0"/> , +1、+2 (映像が明るくなる) ● 映像の明るさを設定できます。 ● 設定画面が出たら、[◀暗く]または[明るく▶]をタッチして明るさレベルを変更し、[決定]をタッチします。
子機の名前	子機(1~6ごとに設定) : <input type="text" value="子機"/> , 子供部屋、書斎、寝室、洋室、和室、リビング、キッチン ● 設定した名前は、ドアホン親機・子機・増設モニターで室内呼やドアホン通話転送を行う際、呼び出し画面や着信画面に表示されます。	

- 上記の(★)の付いた機能は、別売のワイヤレスのドアホンをご利用時のみ表示されます。

「接続機器の設定」の機能一覧(つづき)



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
スマートフォン	センサーカメラの通知	<p>する、しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「しない」を選ぶと、センサーカメラが反応してもスマートフォンには通知されません。
	宅外配信フレームレート	<p>高、低、超低</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宅外接続のスマートフォンでドアホンやドアホン親機、カメラの映像が乱れる場合、「低」や「超低」を選ぶと改善できることがあります。
カメラ	センサーカメラ	<ul style="list-style-type: none"> ● センサーカメラの各種機能を設定します。(詳細はP.96～99)
	ワイヤレスカメラ	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスカメラの各種機能を設定します。(詳細はP.100～103)
窓/ドアセンサー		<p>(例)</p> <p>窓センサー (1～50ごとに設定) 場所: リビング、ダイニング、キッチン、和室、洋室、書斎、寝室、子供部屋、浴室、洗面所、トイレ、納戸、物置、ロフト、屋根裏、地下室、廊下、階段、1階、2階、3階、玄関、勝手口、庭、ガレージ、事務所、倉庫、登録しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 登録済みの各機器に、設置場所に応じた場所名を設定できます。 名前の欄には登録時の機器番号が表示されます。 (連携したスマートフォンで各機器に名前を付けると、その名前を表示します。ドアホン親機で名前の変更はできません) 場所名や名前は、警戒モード中に各センサーが反応したときなどに、ドアホン親機や子機の通知画面に表示されます。
みまもりリモコン	みまもり機能の設定	<p>ON(2分、5分、15分)、OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みまもりリモコンの状態を確認する機能を有効にします。(詳細はP.69)
	リモコンボタンの設定	<p>機能なし、ビデオ通話の呼び出し、電気錠の施錠/解錠、警戒モードの設定/解除、スマホへの通知(自宅圏内時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● みまもりリモコンの各ボタンに機能を設定します。(P.69)

「接続機器の設定」の機能一覧(つづき)



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
電気錠・ 機器接続	電気錠・ 機器 1	<p>電気錠、機器、接続なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JEM-A用端子 1 (ドアホン親機背面の端子番号5~7) に接続した機器を操作するための設定です。
	電気錠・ 機器 2	<p>電気錠、機器、接続なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「電気錠」を選択時は種別を設定：JEM-A、A接点出力 ● 「電気錠」で「A接点出力」を選択時はさらに、出力時間を設定：1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、6秒、7秒 ● JEM-A用端子 2 (ドアホン親機背面の端子番号8~10) に接続した機器、またはA接点出力端子に接続した電気錠を操作するための設定です。
	スマートフォ ンからの電気 錠操作	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンから電気錠を解錠するために必要な設定を行います。(詳細はP.65)
外部入力 の接続機器		<p>警報器、コール機器、非常ボタン、接続なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記のいずれかの機器を選択後、接続機器の接点種別を設定：A接点(メーク)、B接点(ブレーク) ● 「非常ボタン」を選択時はさらに、ドアホンへの警報通知のしかたを設定：ドアホンのLEDライト点滅+警報音、ドアホンのLEDライト点滅のみ、警報なし ● 外部入力端子に接続した機器に応じて本機を適切に動作させるための設定です。
中継アンテナ の中継対象		<p>子機、窓/ドアセンサー、ワイヤレスカメラ、窓/ドアセンサー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中継アンテナで中継する機器を変更することができます。ドアホン(ワイヤレス)を中継するときは、「ワイヤレスカメラ、窓/ドアセンサー」を選んでください。 ● 中継アンテナを2台ご利用の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれを単独でご利用のときは、1台ごとに中継対象を選びます。 ・2台を連結してご利用のときは、連結した2台による中継対象を選びます。

「システムの設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [システムの設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する (終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
ビデオ通話の設定※1	本機の通信番号 (親機間通信用)	● 本機の通信番号を確認します。
	他親機 (通信相手) の登録/解除	● ビデオ通話相手のドアホン親機を登録/解除します。
	相手の画像設定	● ビデオ通話相手の画像を設定します。
鳴り分けの設定	親機	ドアホン (1~2ごとに設定) : <input type="checkbox"/> 鳴る、 <input type="checkbox"/> 鳴らない センサーカメラ (1~2ごとに設定) : <input type="checkbox"/> 鳴る、 <input type="checkbox"/> 鳴らない ワイヤレスカメラ (1~4ごとに設定) : <input type="checkbox"/> 鳴る、 <input type="checkbox"/> 鳴らない
	子機 (1~6ごとに設定)	● ドアホン親機や子機 (1~6) に着信させたくないドアホンやカメラがあれば、「鳴らない」を選びます。(ドアホンとの通話中などは、鳴らない設定にした機器からも着信します)
	電話/ファクス (ワイヤレスアダプター)	ドアホン (1~2ごとに設定) : <input type="checkbox"/> 鳴る、 <input type="checkbox"/> 鳴らない ● 連携した電話/ファクスに着信させたくないドアホンがあれば、「鳴らない」を選びます。
警戒モードの設定	警戒 (在宅) 中の報知設定	センサーカメラ反応時、ワイヤレスカメラ・窓/ドアセンサー反応時 ● カメラや窓/ドアセンサーが反応したときに本機へどのように通知するか (通知の音量や時間など) を、警戒モードの「在宅」または「留守」のそれぞれで設定できます。(詳細はP.79、80)
	警戒 (留守) 中の報知設定	
ワイヤレスカメラの録画連動設定		● ワイヤレスカメラによる録画プログラムを設定できます。(詳細はP.81)
A接点出力との連動設定		ドアホン (1~2ごとに設定) : <input type="checkbox"/> ON、OFF センサーカメラ (1~2ごとに設定) : <input type="checkbox"/> ON、OFF ワイヤレスカメラ (1~4ごとに設定) : <input type="checkbox"/> ON、OFF ● A接点出力の接続機器 (光るチャイムなど) は、お買い上げ時、すべてのドアホンやカメラの着信に連動します。連動させたくないドアホンやカメラがあれば「OFF」に設定してください。

※1 ビデオ通話の設定については「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください。

「ネットワークの設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [ネットワークの設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する (終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
現在のステータス	ネットワーク情報	● ドアホン親機のIPアドレスやMACアドレスなど、ネットワークに関する情報を表示します。
	無線LAN情報	● ドアホン親機と無線ルーターとの接続状態、接続中の無線ルーターのSSID、クライアントMACアドレス、BSSIDを表示します。 (クライアントMACアドレスはドアホン親機、BSSIDは無線ルーターのMACアドレスです)
	メール設定情報	● P.85で設定した送信元のメールサーバー情報や通知先メールアドレスなど、メール送信の設定情報を表示します。
	インターネット接続確認	● インターネットとの接続状態を確認できます。
無線LAN接続	自動設定	● ご使用の無線ルーターに応じた接続方法を選んで設定します。(詳しくは「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください)
	手動設定	
IP設定		<p>IPアドレス自動設定 : <input checked="" type="checkbox"/> する、<input type="checkbox"/> しない</p> <p>● 無線LAN接続時のIPアドレスを固定にして使うときは「しない」を選んでIPアドレスなどの情報を入力・設定します。(設定する項目の右にある  をタッチすると入力画面が表示されます)</p>
メール送信設定	メール通知	<p>ON、<input checked="" type="checkbox"/> OFF</p> <p>● 登録した通知先メールアドレスにメール通知をするかしないかの設定です。送信元のメールサーバーと通知先メールアドレスを登録すると、自動的にメール通知「ON」に変更されます。(それまでは設定変更できません)</p>
	メールサーバー登録/修正	● 送信元のメールサーバー情報を登録します。(詳細はP.85)
	メールサーバー消去	● 送信元のメールサーバー情報を消去します。
	通知先メールアドレス	● メールの通知先(最大4件)を登録します。(詳細はP.85)
	送信選択	<p>ドアホン(1~2ごとに設定) : <input checked="" type="checkbox"/> 送信する、<input type="checkbox"/> 送信しない</p> <p>センサーカメラ(1~2ごとに設定) : <input checked="" type="checkbox"/> 送信する、<input type="checkbox"/> 送信しない</p> <p>ワイヤレスカメラ(1~4ごとに設定) : <input checked="" type="checkbox"/> 送信する、<input type="checkbox"/> 送信しない</p> <p>外部入力 : <input checked="" type="checkbox"/> 送信する、<input type="checkbox"/> 送信しない</p> <p>警戒モード中のセンサー検知 : <input checked="" type="checkbox"/> 送信する、<input type="checkbox"/> 送信しない</p> <p>● メール通知ONのときに通知先へ送信する情報を選びます。</p>

「ネットワークの設定」の機能一覧(つづき)



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [ネットワークの設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など	(<input type="checkbox"/> は初期値)
ポートフォワーディング (NAT越え)	ON、 <input type="checkbox"/> OFF ● グローバルIPアドレス(IPv4)が付与され、UPnP機能が有効なルーターをご使用ください。UPnP機能が無効なルーターをご使用の場合は、下記の手順で解決することがあります。 ① P.92の「IP設定」で、ドアホン親機に固定IPアドレスを割り当てる ② ルーター側でポートフォワーディング機能の設定を行う(ポート番号55000~65000をドアホン親機に転送するよう設定してください) ③ 本設定を「ON」にし、5つのポート番号「ポートA~E」を入力する(各ポート番号の右にある[]をタッチし、55000~65000の範囲内の数値を入力してください)	
MTUの設定	576 byte、 <input type="checkbox"/> 1280 byte、1500 byte ● MTU(Maximum Transmission Unit)とはネットワーク通信で一度に送信できる最大のデータ量です。送信データが設定値を超える場合は設定したデータ量に分割して複数回送信されます。	
ネットワーク設定の初期化	● ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

「録画再生の設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [録画再生の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など	(<input type="checkbox"/> は初期値)
ドアホン録画開始時間	<input type="checkbox"/> 標準、 <input type="checkbox"/> 遅い ● 有線接続したドアホンから着信したときの自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選びます。(ワイヤレスのドアホンは対象外です) 「標準」: 着信映像の表示から約2秒後に録画を開始 「遅い」: 着信映像の表示から約3秒後に録画を開始	
ドアホン着信自動録画	ドアホン(1~2ごとに設定): <input type="checkbox"/> する(録画のみ)、 <input type="checkbox"/> する(録画+録音)、 <input type="checkbox"/> しない ● 機能の詳細は(P.37)	
ドアホン通話全記録	ドアホン(1~2ごとに設定): <input type="checkbox"/> する、 <input type="checkbox"/> しない ● 機能の詳細は(P.37)	
画像全消去※1※2	本体メモリー : すべての画像を消去、保護画像を残して消去 SDカード : すべての画像を消去、保護画像を残して消去	
SDカードのフォーマット	● 詳細は(P.120)	
本体からSDカードへのコピー	● 詳細は(P.120)	

※1 件数が多いと消去に時間がかかります。(消去中、スマートフォンからテレビドアホンへのアクセスができません)

※2 ビデオメッセージは消去されません。ビデオメッセージを消去する場合は、「ビデオメッセージを消去する」(P.34)をお読みください。

「接続機器の登録/減設」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の登録/減設] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する (終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など	
登録	子機	● 子機を登録します。(詳細はP.116)	
	スマートフォン	● スマートフォンを登録します。(詳しくは「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください)	
	カメラ	センサーカメラ	● センサーカメラを登録します。(詳細はP.54)
		ワイヤレスカメラ	● ワイヤレスカメラを登録します。(詳細はP.55)
	窓/ドアセンサー	● 窓/ドアセンサーを登録します。(詳細はP.62)	
	みまもりリモコン	● みまもりリモコンを登録します。(詳細はP.68)	
	電話/ファクス (ワイヤレスアダプター)	● 電話/ファクス親機を登録します。(詳細はP.42)	
	ドアホン (ワイヤレス)	● ワイヤレスのドアホンを登録します。(詳細はP.114)	
	中継アンテナ	● 中継アンテナを登録します。(詳細はP.117)	
減設	子機	● 各機器を減設します。(詳細はP.119)	
	スマートフォン		
	カメラ		
	窓/ドアセンサー		
	みまもりリモコン		
	電話/ファクス (ワイヤレスアダプター)		
	ドアホン (ワイヤレス)		
	中継アンテナ		

「その他の設定」の機能一覧



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [その他の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する (終わったら**終了**を押す)

機能名	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
お知らせランプ点灯	する 、しない ● 新しいお知らせや新しく録画したドアホンの未確認画像があっても、お知らせランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。
タッチ確認音	ON 、OFF ● タッチしたときに鳴る「ピッ」音を出さないようにするには、「OFF」を選びます。
親機の初期化	親機の設定を元に戻す、本体メモリー画像全消去、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。
展示モード (販売店専用)	通常は使わないでください。(店頭販売時の展示用)



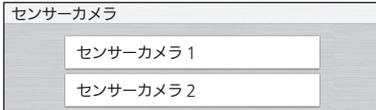
センサーカメラの機能設定(設定方法と機能一覧)

ドアホン親機の機能設定画面でセンサーカメラの各種機能の設定ができます。

- 設定はすべてカメラ(1~2)ごとの個別設定です。設定変更は1台ずつ行ってください。

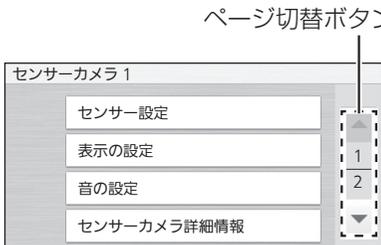
1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→[カメラ]→[センサーカメラ]をタッチする

- センサーカメラの設定画面が表示されます。



2 設定するセンサーカメラ番号(1~2)をタッチする

- 選んだカメラの項目一覧が表示されます。



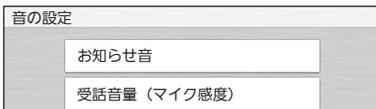
[▼]をタッチ ↓ ↑ [▲]をタッチ



- 各項目の機能の詳細は機能一覧表でご確認ください。

3 設定する項目をタッチする

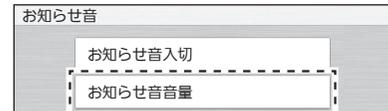
- 選んだ項目の機能一覧が表示されます。(例:「音の設定」の場合)



4 設定する機能をタッチし、設定内容を変更する

- 選んだ機能によってはサブメニューや確認メッセージが表示される場合があります。表示に従って操作してください。

(例:「お知らせ音」の場合)



↓ [お知らせ音音量]をタッチ

「●」が現在の設定



↓ [小さめ]をタッチ



5 設定が終わったら、[終了]を押す

お知らせ

- センサーカメラをパソコンに接続してご使用の場合

センサーカメラをドアホン親機に登録したときに、カメラの設定内容がP.97~99に記載した初期値に変更されます。ご確認のうえご使用ください。

「センサー設定」の機能一覧：カメラ（1～2）ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 設定するセンサーカメラ番号 → [センサー設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する（終わったら**終了**を押す）

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
人感センサー	<p>高感度、標準、低感度、超低感度、OFF (検知しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人感センサーの感度設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検知しにくいときは「高感度」、検知しすぎるときは「低感度」や「超低感度」を選びます。 ・ 外部センサー使用時など、人感センサーを使用しないときは「OFF (検知しない)」を選びます。
動作検知	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作検知の検知エリアや感度設定を行います。(詳細はP.55)
外部センサー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 屋外カメラの場合 OFF、アラーム入力(短絡)、アラーム入力(開放) ■ 屋内カメラの場合 端子(1～3ごとに設定)：OFF、アラーム入力(短絡)、アラーム入力(開放) ● カメラに接続する外部センサーの仕様に合わせて設定します。
検知タイマー	<p>人感センサー : 自動、常時、タイマー 動作検知 : 常時、タイマー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検知する時間帯をセンサーごとに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自動」: 夜間など周囲が暗いときだけ検知 (明るさはカメラが自動で判定) ・ 「タイマー」: タイマー設定した時間帯だけ検知 「タイマー」を選んだときは、[+][–]をタッチして検知する時間帯を設定し、[決定]をタッチします。
センサー確認	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの各センサーによる検知状況を確認できます。カメラの設置時など、設置環境下で各センサーが適切に反応するかを確認してください。(詳細はP.54「動作検知や人感センサーの動作確認をする」)

「表示の設定」の機能一覧：カメラ（1～2）ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 設定するセンサーカメラ番号 → [表示の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する（終わったら**終了**を押す）

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
明るさ	<p>(映像が暗くなる) 0、1、2、3、4、5、6、7、8 (映像が明るくなる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定画面が出たら、[◀暗く]または[明るく▶]をタッチして明るさレベルを変更し、[決定]をタッチします。
逆光補正	<p>ON、OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被写体の顔が暗くて見えにくいときに「ON」を選びます。

「表示の設定」の機能一覧(つづき)：カメラ(1～2)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 設定するセンサーカメラ番号 → [表示の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
照明 ● ライト付きカメラのみ		<p>自動(暗い間ずっと点灯)、検知時のみ(いつでも)、検知時のみ(暗いときのみ)、検知(いつでも)+モニター(暗いとき)、検知(暗いとき)+モニター(暗いとき)、消灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのLEDライトを点灯させる条件を設定します。(明るさの判定は、カメラが自動で行います)
ポジション設定 ● パン・チルトカメラのみ	設定	● カメラのホームポジション(センサー反応時やモニター時、最初にカメラを向ける位置)の登録を行います。設定画面にカメラ映像が表示されたら、画面にタッチして登録したい位置を表示させ、[ポジション登録] をタッチします。
	解除	● 登録したホームポジションを解除します。設定画面にカメラ映像が表示されたら、[ポジション解除] をタッチします。
オートスローシャッター		<p>OFF 1/30秒(0.03秒)、最大2/30秒(0.06秒)、最大4/30秒(0.13秒)、最大6/30秒(0.20秒)、最大10/30秒(0.33秒)、最大16/30秒(0.53秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間など、暗いときのシャッター速度を自動的に遅くする設定です。シャッター速度を遅く設定すればするほど、露光時間が長くなるため、映像は明るくなります。(ただし、被写体はぶれやすくなります)
ズーム倍率指定		1.5倍、 2.0倍 、3.0倍

「音の設定」の機能一覧：カメラ(1～2)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 設定するセンサーカメラ番号 → [音の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
お知らせ音	お知らせ音入切	<p>■ 屋外カメラの場合 ボタン押下時と検知時に鳴る、ボタン押下時だけ鳴る、検知時だけ鳴る、お知らせ音は鳴らない</p> <p>■ 屋内カメラの場合 ボタン押下時と検知時に鳴る、ボタン押下時だけ鳴る、検知時だけ鳴る、お知らせ音は鳴らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お知らせ音はカメラ側で鳴る音です。鳴らないようにしたり、鳴らす条件を設定したりできます。「ボタン押下時」とは、お知らせ音を鳴らす操作(P.61)をしたときのことを表します。
	お知らせ音音量	大きめ、 標準 、小さめ
	お知らせ音種類	ピポピポピポ 、ブルルルブルルル、ポウポウポウポウ、わんわん、わんわんわんわん、ブーブー
受話音量(マイク感度)		<p>マイク強、マイク中、マイク弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのマイクで音声を集音するときの感度を選びます。

「センサーカメラ詳細情報」の機能一覧：カメラ(1～2)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 設定するセンサーカメラ番号 → [センサーカメラ詳細情報] をタッチする (終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
—	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ自身の情報 (型番、MACアドレス、IPアドレス、自己診断、ステータス) を表示します。接続に異常があるときなどは、機器の状況 (異常の内容) も表示します。

「その他の設定」の機能一覧：カメラ(1～2)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [センサーカメラ] → 設定するセンサーカメラ番号 → [その他の設定] をタッチする
 ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する (終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
電源ランプ	<p>常時、アクセス時、人感センサー反応時、消灯</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラの電源ランプの点灯のしかたを設定します。 「アクセス時」を選ぶと、センサー反応時やモニター時など、カメラからの映像を本機に表示中の場合のみ、ランプが点灯します。
PRIVACY ボタン (プライバシーボタン) ● 屋内カメラのみ	<p>許可する、許可しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのPRIVACY (プライバシー) ボタンを押しても、かくれレンズに設定できないようにするには「許可しない」を選びます。
センサーカメラの再起動	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラを再起動します。
設定と登録の初期化	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で設定したカメラの設定内容 (ポジション設定を除く) をお買い上げ時の状態に戻します。また、ドアホン親機との登録状態も解除します。(テレビドアホンと連携するには、再登録が必要です)

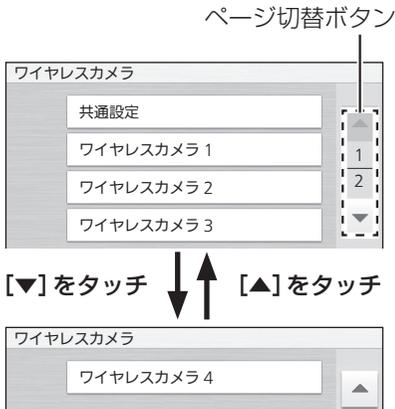


ワイヤレスカメラの機能設定(設定方法と機能一覧)

ドアホン親機の機能設定画面でワイヤレスカメラの各種機能の設定ができます。

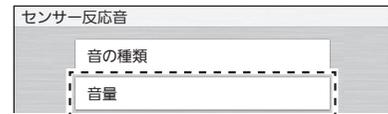
- 複数のワイヤレスカメラ(1~4)に対する共通設定と、ワイヤレスカメラ(1~4)ごとの個別設定があります。それぞれで設定できる機能を一覧表で事前にご確認のうえ、設定してください。
- ご使用のカメラによって設定できる機能や内容が異なります。

- 1** トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→[接続機器の設定]→[カメラ]→[ワイヤレスカメラ]をタッチする
- ワイヤレスカメラの設定画面が表示されます。



- 3** 設定する機能をタッチし、設定内容を変更する
- 選んだ機能によってはサブメニューが表示されます。表示に従ってこの操作を繰り返してください。

(例: 個別設定の「センサー反応音」選択時)



「●」が現在の設定 ↓ [音量]をタッチ



↓ [切]をタッチ



- 2** 下記の操作をする
- カメラ共通の設定 (P.101) の場合
[共通設定]をタッチする
 - 共通設定の機能一覧が表示されます。
- 
- カメラごとの個別設定 (P.101~103) の場合
設定するワイヤレスカメラ番号(1~4)をタッチする
 - 選んだカメラの機能一覧が表示されます。
- (例)



- 4** 設定が終わったら、[終了]を押す

「共通設定」の機能一覧：すべてのワイヤレスカメラに適用されます。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → [共通の設定] をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する（終わったら**終了**を押す）

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
カメラ解像度	<p>640×480(画質優先)、320×240(速度優先)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラ映像の画質を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「640×480(画質優先)」: 最大3コマ/秒で映像を更新します。(※) ・「320×240(速度優先)」: 最大6コマ/秒で映像を更新します。(※) ※ センサー検知による録画では、録画開始のタイミングなどが変わります。詳細はP.59をお読みください。
ちらつき防止設定	<p>東日本(50 Hz)、西日本(60 Hz)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラ映像のノイズ軽減のため、お使いの地域に合わせて選んでください。

「ワイヤレスカメラ1～4」の機能一覧：カメラ(1～4)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → 設定するワイヤレスカメラ番号をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する（終わったら**終了**を押す）

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
センサー反応音	<p>音の種類： ピポピポピポ、ピロリロ ピロリロ ピロリロ、ポウ ポウ ポウ ポウ</p> <p>音量：大、中、小、切</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期値：WD813は「中」、WD712は「大」 ● センサー反応音は、カメラの動作検知や人感センサー検知時にカメラ側で鳴る音です。音の種類や音量の設定ができます。
人感センサー感度	<p>高感度、標準、低感度、超低感度、OFF(検知しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検知しにくいときはより高い感度を、検知しすぎるときはより低い感度を選びます。
動作検知感度	<p>高感度、標準、低感度、超低感度、OFF(検知しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検知範囲内の小さな動きの変化も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」「超低感度」を選びます。
動作検知範囲	<p>お買い上げ時は撮影範囲内のすべての動作を検知します。 検知させたくない場所があるときは下記の画面で設定を行います。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>動作検知範囲</p> <p style="font-size: small;">動作を検知しない場所をタッチして設定してください</p> </div> <div> <p>〈設定のしかた〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 検知したくない場所をタッチして「×」にする (再度タッチすると「×」が消える) ② 設定する をタッチする </div> </div>
外部センサー ● WD813のみ	<p>A接点(メーク)、B接点(ブレーク)、なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラに接続する外部センサーの仕様に合わせて設定します。

「ワイヤレスカメラ1～4」の機能一覧(つづき)：
カメラ(1～4)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → 設定するワイヤレスカメラ番号をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
検知タイマー	<p>人感センサー：自動、常時、タイマー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期値：WD813は「自動」 WD712は「タイマー(16:00 – 8:00)」 <p>動作検知：常時、タイマー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期値：WD813は「常時」 WD712は「タイマー(6:00 – 18:00)」 <ul style="list-style-type: none"> ● 検知する時間帯をセンサーごとに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「自動」：夜間など周囲が暗いときだけ検知(明るさはカメラが自動で判定) ・「タイマー」：タイマー設定した時間帯だけ検知 「タイマー」を選んだときは、[+][–]をタッチして検知する時間帯を設定し、[決定]をタッチします。
検知前録画 ● WD813のみ	<p>1秒前から録画、2秒前から録画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● センサー反応時、検知1秒前から録画するか2秒前から録画するかを選びます。(P.101「カメラ解像度」の設定を「320×240(速度優先)」にしたときのみ有効)
センサー確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 人感センサーや動作検知、および外部センサー(対応カメラのみ)の検知状況を個別に確認できます。カメラの設置時など、設置環境下で各センサーが適切に反応するかを確認してください。(詳細はP.56)
明るさ	<p>(映像が暗くなる) –2、–1、0、+1、+2 (映像が明るくなる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定画面が出たら、[◀暗く]または[明るく▶]をタッチして明るさレベルを変更し、[決定]をタッチします。
逆光補正 ● WD813のみ	<p>ON、OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被写体の顔が暗くて見えにくいときに「ON」を選びます。
照明自動点灯 ● WD813のみ	<p>センサー反応時：する、する(暗いときのみ)、しない モニター時：する、する(暗いときのみ)、しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● センサー反応時やモニター時のそれぞれで、カメラのLEDライトを自動点灯させるかどうかを選びます。
カメラマイク感度 ● WD813のみ	<p>高、中、低</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのマイクが音声を集音しすぎるときは「中」または「低」を選びます。

「ワイヤレスカメラ1～4」の機能一覧(つづき)：
カメラ(1～4)ごとの設定。設定変更は1台ずつ行ってください。



〈設定はトップメニューから行います〉

- ① [設定/情報] → [設定を変更] → [接続機器の設定] → [カメラ] → [ワイヤレスカメラ] → 設定するワイヤレスカメラ番号をタッチする
- ② 設定する機能名をタッチし、画面に従って設定する(終わったら**終了**を押す)

機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)						
場所/名前	<p>(例)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: left;">場所/名前</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">場所</td> <td style="border: 2px dashed gray;">未登録</td> </tr> <tr> <td>名前</td> <td>ワイヤレスカメラ1</td> </tr> </table> </div> <p style="margin-left: 150px;">— 下記候補から選択</p> <p>場所：リビング、ダイニング、キッチン、和室、洋室、書斎、寝室、子供部屋、浴室、洗面所、トイレ、納戸、物置、ロフト、屋根裏、地下室、廊下、階段、1階、2階、3階、玄関、勝手口、庭、ガレージ、事務所、倉庫、登録しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置場所に応じた場所名を設定できます。 名前の欄には登録時のカメラ番号が表示されます。 (連携したスマートフォンでカメラに名前を付けると、その名前を表示します。ドアホン親機で名前の変更はできません) 場所名や名前は、警戒モード中にカメラが反応したときなどに、ドアホン親機や子機の通知画面に表示されます。 	場所/名前		場所	未登録	名前	ワイヤレスカメラ1
場所/名前							
場所	未登録						
名前	ワイヤレスカメラ1						
状態表示ランプ	<p><input type="checkbox"/> ON、OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 状態表示ランプを点灯させるかどうかを選びます。 						



子機の機能設定(設定方法と機能一覧)

子機のトップ画面から各種機能の設定ができます。

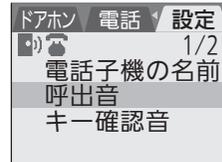
1 トップ画面で**[決定]**(メニュー)を押し、**◀/▶**で**[設定]**メニューを開く

- 設定の機能一覧画面(①)が表示されます。

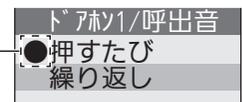
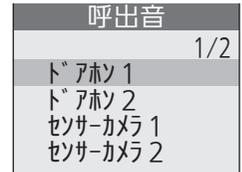
2 ▼/▲で設定する機能を選び、**[決定]**を押す

- 選んだ機能によってはサブメニュー(②)が表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。

①機能一覧画面(例)



②サブメニュー(例)



「●」が現在の設定

3 ▼/▲で設定内容を変更し、**[決定]**を押す

- 設定完了後、**[終了]**を押してください。
- 設定内容の選択時に確認メッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

- (★)の付いた機能は、子機を電話/ファクスに登録してご使用のときに表示されます。

機能一覧	
機能	設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
電話子機の名前(★)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話の子機としての名前を登録できます。名前の入力画面が出たら、名前を入力(全角6/半角12文字まで)→[決定]→フリガナを確認・修正(半角8文字まで)→[決定]で登録します。 <ul style="list-style-type: none"> ・文字入力のしかた(P.106) ・登録した名前は、子機のトップ画面のほか、電話の内線呼び出しで相手の画面にも表示されます。
呼出音 ● 詳細は(P.73)	ドアホン(1~2ごとに設定) (音の種類を選択)：音1、音2、音3、音4 ・初期値：ドアホン1は音1、ドアホン2は音2 (鳴りかたを選択)： 押すたび 、繰り返し センサーカメラ(1~2ごとに設定) ： 音A 、音B、音C、音D ワイヤレスカメラ(1~4ごとに設定) ： 音A 、音B、音C、音D 外線(★) ： ベル1 、ベル2、ベル3、ベル4、ベル5、ベル6、ベル7、ベル8、JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形

機能一覧(つづき)



〈設定はトップ画面から行います〉

- ① **[決定]**(メニュー)を押す→◀/▶で**[設定]**メニューを開く
- ② ▲/▼で項目を選択し、**[決定]**を押す(選択と決定を繰り返し、設定が終わったら**[終了]**を押す)

機能		設定内容など (<input type="checkbox"/> は初期値)
キー確認音		ON 、OFF ● ボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を出さないようにするには「OFF」を選びます。
横画面表示		する 、しない ● 子機を左右に90度回転したとき、映像を横画面表示にしたくないときは「しない」を選びます。(横画面表示についてはP.23)
オフフック応答(★)		する 、 しない ● 電話(外線・内線)の応答方法を設定します。 「する」を選ぶと、充電台から子機を取るだけで電話を受けられます。
外線鳴り分け(★)	グループ(1~9ごとに設定)	登録しない 、ベル1、ベル2、ベル3、ベル4、ベル5、ベル6、ベル7、ベル8、JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形 ● 電話をかけてきた相手ごとに、別々の呼出音を設定できます。 (ナンバー・ディスプレイサービスご利用時のみ) ・グループ別に鳴り分けするには、電話帳のグループ登録が必要です。(P.47) ・電話帳に未登録の相手からの電話は外線の呼出音設定(P.74)に従って鳴るため、ここでは外線の呼出音設定とは異なる呼出音を選ぶことをお勧めします。
	非通知	
	公衆電話	
	表示圏外	
電話帳転送(★)		(転送先を選択) 親機、子機(1~6)*¹ (転送方法を選択) 個別、一斉 ● 電話/ファクス親機または別の子機に、電話帳の内容を個別または一斉に転送できます。電話帳転送の設定画面表示後の操作は、P.48の「電話帳を転送する」の手順2~4を参照してください。
電話帳全消去(★)		● 子機の電話帳の内容をすべて消去します。
動作モード		ドアホン/電話、ドアホン、電話 ● 電話/ファクスに未登録時は「ドアホン」以外の選択肢が表示されず、動作モードは「ドアホン」になります。電話/ファクスに登録すると上記の選択肢が表示され、設定は自動的に「ドアホン/電話」に変わります。 ● 電話とドアホンの両方の機能を使う場合は「ドアホン/電話」、ドアホン専用子機として使う場合は「ドアホン」、電話専用子機として使う場合は「電話」を選びます。
子機増設		● 親機への登録が必要なときに操作します。 ・電話/ファクス親機に登録するとき(詳細はP.42) ・ドアホン親機に登録するとき (付属の子機は登録済みです。再登録が必要なときはP.116)
設定の初期化		● 子機の設定のみをお買い上げ時の状態に戻します。(ご使用のドアホン親機や電話/ファクス親機には登録されたままです)

※1 操作している子機以外の子機番号が表示されます。

文字入力のしかた

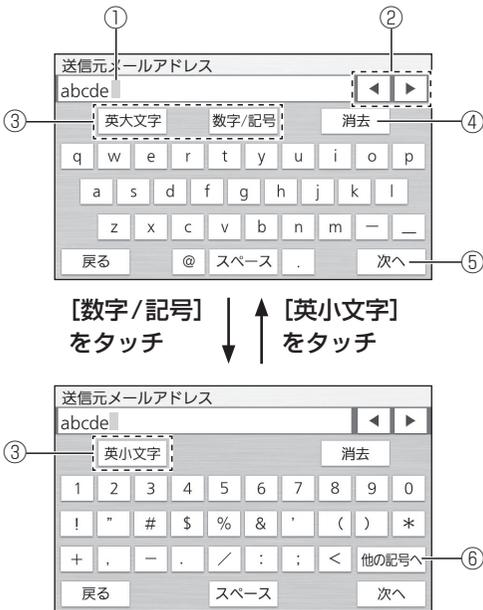


ドアホン親機で文字を入力する

ドアホン親機では、メール通知の設定 (P.85) や固定IPアドレスの設定 (P.92) などを行うときに文字入力が必要です。文字入力が必要な場面では次のようなソフトキーボードが表示されます。

- キーボードの表示は場面によって異なります。
- 下記を参照のうえ、ソフトキーボードの文字や記号を直接タッチして入力してください。

〈ソフトキーボードの例〉



番号	説明
①	カーソル (文字の入力位置)
②	文字入力後、カーソルを左右に移動する
③	文字の種類を切り替える
④	入力した文字を消去する
⑤	文字入力完了後、次の画面へ移行する
⑥	他の記号に切り替える

■ **文字を挿入するには**
 挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■ **修正するには**
 修正する文字にカーソルを移動し、[消去] で文字を消してから入力し直す



子機で文字を入力する

子機が電話の子機でもあるときは、電話子機の名前 (P.104) や電話帳 (P.47) を登録するときに文字入力が必要です。文字入力が必要な場面では次のような入力画面が表示されます。

- 下記を参照のうえ、入力してください。

〈文字入力画面の例〉



● 文字入力時のボタンのはたらき

ボタン	はたらき										
[F1] (文字)	文字の種類を切り替える ● ボタンを押すごとに切り替わります。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>文字の種類</th> <th>入力できる文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かな</td> <td>ひらがな・漢字・全角カタカナ</td> </tr> <tr> <td>カナ</td> <td>半角カタカナ</td> </tr> <tr> <td>英字</td> <td>英字・記号</td> </tr> <tr> <td>数字</td> <td>数字</td> </tr> </tbody> </table>	文字の種類	入力できる文字	かな	ひらがな・漢字・全角カタカナ	カナ	半角カタカナ	英字	英字・記号	数字	数字
文字の種類	入力できる文字										
かな	ひらがな・漢字・全角カタカナ										
カナ	半角カタカナ										
英字	英字・記号										
数字	数字										
[0] ~ [9] [*]	文字を入力する ● 入力できる文字は (P.107)										
[室内呼]	スペースを入れる										
[決定]	「かな入力」で入力した文字を確定する										
◀ / ▶	文字入力後、カーソルを左右に移動する										
▼ / ▲	「かな入力」で入力した文字を変換する										
[F2] (クリアー)	入力した文字を消去する ● 長押しすると、カーソル以降の文字をすべて消去できます。										

■ **文字を挿入するには**
 挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■ **修正するには**
 修正する文字にカーソルを移動し、[F2] (クリアー) で文字を消してから入力し直す

入力例：子機で「すずき」と入力するとき

- 文字の種類を「かな入力」にし、下記のように入力します。

「す」：**3** (3回)
 「ず」：**▶*** → **3** (3回) → ***** (1回)
 「き」：**2** (2回)

※同じボタンの文字を続けて入力するときにカーソルを右へ移動させます。

- ひらがなのまま入力するとき **決定** を押して文字を確定します。



お知らせ

- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 希望の漢字に変換できないこともあります。

- 漢字などに変換するとき **▼** / **▲** を押して変換後、**決定** を押します。



変換中の文字の区切りを変えるには

- ① 変換中に **F2** (クリア) を押し、ひらがなに戻す
- ② **◀** / **▶** で、変換する最後の文字にカーソルを移動し、**▼** を押す

名前を入力
 ただのりこ (左の例では「ただ」までが変換されます)

文字列一覧表

表示ボタン	かな	カナ	英字	数字
1	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	@ . _ -(ハイフン) & \$ ¥ % + = ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	わをんー(長音)	ワヲンー(長音)	! ? / -(ハイフン) * # . ; : . ' " () [] { } < > 「 」	0
*	゛ (濁点) ° (半濁点) 、 。	゛ (濁点) ° (半濁点) 、 。	、 。	

- 一覧表の文字とディスプレイの文字は、形や位置が異なる場合があります。

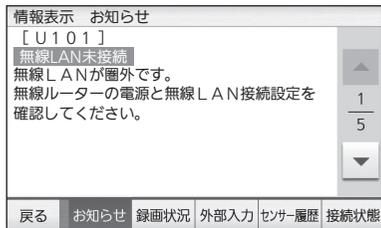
お知らせ画面を見る

お知らせがあるとトップメニューに「お知らせ」が表示されます。タッチするとお知らせ画面が表示されて詳細を確認できます。



「お知らせ」をタッチ

(例)



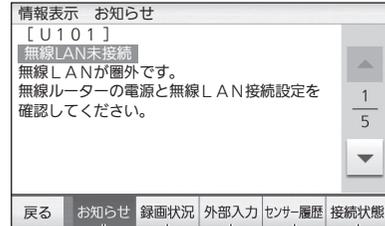
- お知らせ画面には、次のような通知が表示されます。内容を確認し、必要に応じて適切な処置や操作をしてください。
 - ・警戒モード中のセンサー反応通知
 - ・警報器・コール機器・非常ボタンの反応や呼び出しなどの通知
 - ・その他のお知らせやエラー表示など

情報表示画面を見る

情報表示画面には、ご利用のシステムに応じた情報が表示されます。必要に応じて確認してください。

1 トップメニューの「設定/情報」→「情報を見る」をタッチする

- 情報表示画面が表示されます。



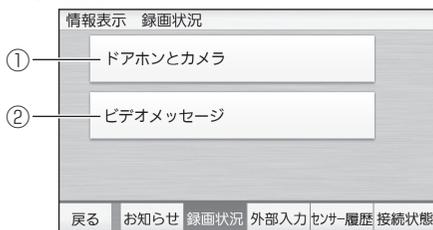
情報表示の切替ボタン

■ 情報表示の切替ボタンについて

記号	はたらき
Ⓐ	お知らせ画面を表示します。 ● トップメニューの「お知らせ」をタッチして表示される画面と同じです。
Ⓑ	● ドアホン・カメラの現在の記録先と空き容量の目安を表示します。 ● ビデオメッセージの「録画件数」を表示します。また宛先ごとにメッセージを消去できます。(詳細はP.109)
Ⓒ	警報器・コール機器・非常ボタンの反応や呼び出し履歴(日時と機器名)を表示します。 ● 最新の履歴を50件まで。
Ⓓ	カメラや窓/ドアセンサーの反応履歴を確認できます。(詳細はP.109)
Ⓔ	カメラや窓/ドアセンサーなどの接続状態や、ドアホン(ワイヤレス)の電波レベルや電池残量、みまもりリモコンの状態を確認できます。(詳細はP.110)

録画状況(㊸)の表示について

下記の画面が表示されます。①をタッチすると、ドアホン・カメラの現在の記録先と空き容量の目安を確認できます。②をタッチすると、ビデオメッセージの録画件数を確認できます。



②ビデオメッセージの録画件数

ビデオメッセージの宛先ごとの録画件数が表示されます。

(例：4 GBのSDカード使用時)

メッセージの宛先	録画件数 / 最大件数	全消去
親機 (本機)	51件 / 100件	🗑️
スマートフォン1	10件 / 50件	🗑️
おかあさんのスマホ	25件 / 50件	🗑️
リビングのタブレット	0件 / 50件	🗑️

宛先ごとにビデオメッセージを消去できます。宛先右の[🗑️]→[はい]をタッチしてください。

お知らせ

- ビデオメッセージの記録先(ドアホン親機またはSDカード)に関わらず、選択した宛先の全ビデオメッセージが消去されます。
- スマートフォン宛でのビデオメッセージは本機に記録されていますが、本機では再生できません。スマートフォンでのみ再生できます。

センサー履歴(㊹)の表示について

下記の画面が表示されます。①～②をタッチすると、それぞれの履歴を確認できます。



①警戒モード中の履歴(最新の50件を表示)

警戒モードの切り替え日時や、警戒モード中のワイヤレスカメラ(人感・動作検知)・窓/ドアセンサーの反応履歴を表示します。

日時	場所	機器
2018/ 8/24 8:30	警戒 (留守)	
2018/ 8/23 15:20	2階:	窓センサー4
2018/ 8/23 9:00	玄関:	ドアセンサー1
2018/ 8/20 21:40	1階:	ワイヤレスカメラ1
2018/ 8/20 20:05	ガレージ:	ワイヤレスカメラ4

反応した機器のアイコン(下記) 機器の詳細情報(下記)

②センサーカメラの履歴(最新の50件を表示)

センサーカメラの反応履歴を表示します。

日時	カメラ	センサー名
2018/ 8/24 20:20	カメラ1	人感センサー
2018/ 8/24 15:43	カメラ2	動作検知
2018/ 8/24 9:15	カメラ2	動作検知
2018/ 8/22 22:05	カメラ1	人感センサー

反応したセンサー名

■ アイコンの種類と意味

	ワイヤレスカメラが反応した
	窓センサーが反応した
	ドアセンサーが反応した

■ 機器の詳細情報

1行目：場所名

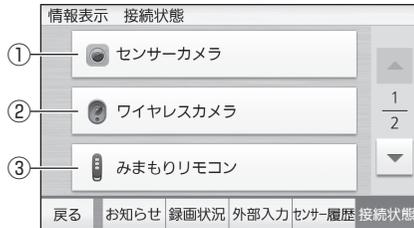
(P.89、103の「場所名」設定時のみ表示)

2行目：登録時の機器番号

(連携したスマートフォンで各機器に名前を付けると、その名前を表示)

接続状態 (㊦) の表示について

下記の画面が表示されます。①～⑤をタッチすると、各機器の接続状態を確認できます。



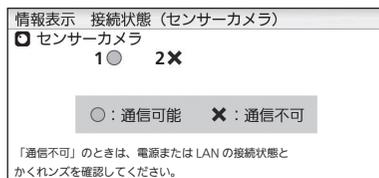
(2ページ目)



① センサーカメラの接続状態

LAN接続したセンサーカメラ (1～2) との通信状態を表示します。

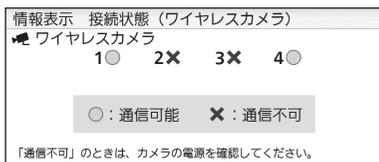
- 通信不可の場合は、カメラの電源やLAN接続の状態を確認してください。(屋内カメラはかくれレンズ設定時も通信不可となります)



② ワイヤレスカメラの接続状態

無線 (DECT 準拠方式の電波) で接続したワイヤレスカメラ (1～4) との通信状態を表示します。

- 通信不可の場合は、カメラの電源や電波状態を確認してください。(電波状態はカメラ本体の状態表示ランプで確認できます)

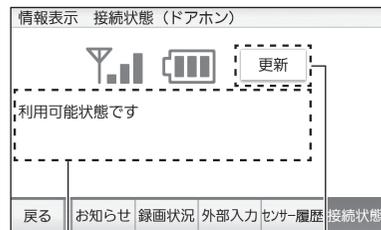


③ みまもりリモコンの接続状態

詳しくは「みまもりリモコンの状態を確認する」(P.71)をお読みください。

④ ドアホン (ワイヤレス) の接続状態

ワイヤレスで接続したドアホンの電波レベルや電池残量を表示します。

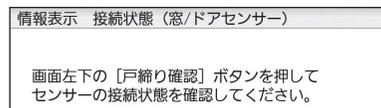


- 状態に応じたメッセージが表示されます。

- [更新] をタッチすると最新情報に更新します。電波レベルの安定確認のため、何度か更新操作を行い、電波状態を確認いただくことをお勧めします。
- 「ドアホン (ワイヤレス) の電池セーブ」の設定が「セーブ2」の場合 (P.88)、更新操作時に表示される画面の指示に従い、ドアホンの呼出ボタンを押す必要があります。

⑤ 窓/ドアセンサーの接続状態

窓/ドアセンサーの接続状態の確認方法を表示します。表示に従って操作してください。



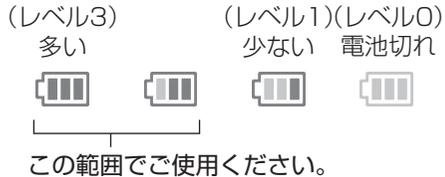
ドアホン(ワイヤレス)の電波レベルの見方



〈電波が弱いまたは圏外の場合〉

- ドアホン親機とドアホン間に中継アンテナを設置すると改善できる場合があります。(P.117)

ドアホン(ワイヤレス)の電池残量の見方



- レベル1になると通信が不安定になる場合があります。電池切れになる前に電池を交換してください。(電池の交換方法は、ドアホンの取扱説明書をお読みください)
- ドアホンの電波レベル(上記)が圏外の場合は電池残量が確認できないため、表示になります。

お知らせ

- ドアホンの電池を交換した場合は、再度P.110の④の画面を表示して最新情報を確認されることをお勧めします。
- ドアホンに電池を入れたあとの電池残量表示がになるときは、ドアホンの呼出ボタンを押してドアホン親機に映像を表示させてください。そのあとで④の画面を表示すると、正しい残量表示になります。
- ドアホンに、市販の充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合
 - ・使っていないときも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけ使用する直前に充電してください。
 - ・新品の電池でも、上記の放電状態によっては、取り付け直後に (残量レベル2)の表示になることがあります。

ドアホン親機のソフトウェアのバージョン確認と更新

現在のバージョンを確認する

トップメニューから下記の操作をすると、現在のソフトウェアのバージョンを確認できます。

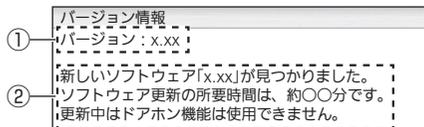


「設定/情報」をタッチ



「バージョン情報」をタッチ

(バージョン情報画面)



①バージョン

現在のバージョンを表示します。(例：3.00)
ソフトウェアの更新を行うと、新しいバージョンと更新日時を表示します。

②新しいソフトウェアの通知

ドアホン親機をインターネットに接続してご利用の場合に、新しいソフトウェアを見つけると表示します。(更新方法はP.113)

新しいソフトウェアが公開されたとき

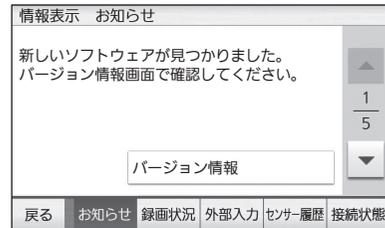
新しいソフトウェアが公開されると、次の方法で通知します。

■ ネットワークを使って通知

ドアホン親機をインターネットに接続してご利用の場合は、新しいソフトウェアがないかを定期的に自動チェックしています。

新しいソフトウェアがあるときはお知らせランプが点灯し、ドアホン親機のお知らせ画面にメッセージで通知します。

(お知らせ画面)



- お知らせ画面はトップメニューの「お知らせ」をタッチすると表示されます。画面下の「バージョン情報」をタッチすると、左記のバージョン情報画面が表示され、ソフトウェアを更新できます。(P.113)

■ サポートサイト(下記)で通知

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/door/verup/>

新しいソフトウェアがあることをサイトのお知らせで通知します。

- SDカードをご利用の場合、パソコンなどを使ってサイトから新しいソフトウェアをSDカードにダウンロードすると、ドアホン親機に装着してソフトウェアを更新できます。(更新方法の詳細はP.113)

🔔 お知らせ

- ソフトウェアの更新サービスは、予告なく変更、中止することがあります。

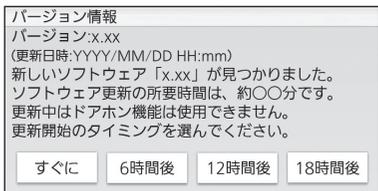
ソフトウェアを更新する (バージョンアップ)

ネットワーク経由(ドアホン親機をインターネットに接続時)または新しいソフトウェアが入ったSDカードを使ってソフトウェアを更新できます。

- 更新には約20分かかり、更新中は本システムのすべての機能が利用できません。

ネットワーク経由で更新するとき (ドアホン親機をインターネットに接続時)

操作はトップメニューの[設定/情報]→[バージョン情報]をタッチして表示されるバージョン情報画面で行います。更新開始のタイミングは、4つの選択肢(すぐに/6時間後/12時間後/18時間後)から選ぶことができます。

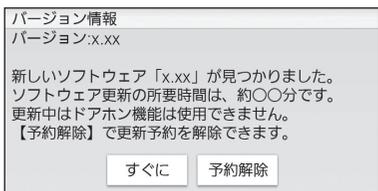


1 バージョン情報画面で更新開始のタイミングを選んでタッチする

- 「すぐに」を選んだとき
更新を開始します。(右記参照)
- 時間予約(6/12/18時間後)を選んだとき
予約時間の確認メッセージが表示されます。確認後に[決定]をタッチすると、画面が終了します。

お知らせ

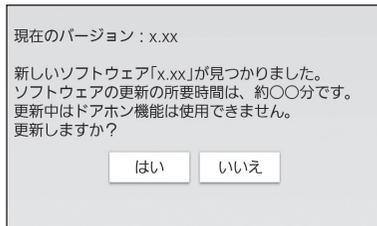
- 時間予約は解除することができます。
再度、バージョン情報画面を表示し、[予約解除]をタッチしてください。



SDカードを使って更新するとき

1 新しいソフトウェアが入ったSDカードをドアホン親機に入れる

- 新しいソフトウェアが見つかったと、下記の画面が表示されます。



2 [はい]をタッチする

- 更新を開始します。(下記参照)
- SDカードは更新が完了するまでドアホン親機に入れたままにしてください。

■ ソフトウェアの更新中は…

更新中の画面が表示されます。(約20分)

■ 更新が終わったら…

下記の操作で、更新の完了と新しいバージョンを確認してください。

- ① トップメニューの[お知らせ]をタッチする
 - ・ 正常に更新されたときは、お知らせ画面に更新完了のメッセージ、更新後のバージョン、更新日時が表示されます。
 - ・ 更新完了のお知らせ画面で[更新内容]をタッチすると、バージョンアップによって更新された機能などが表示されます。

ドアホン(ワイヤレス)を登録して使う(増設)

別売のドアホン(ワイヤレス)を、ドアホン2としてドアホン親機に登録して使うことができます。(1台のみ)

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機の近くにドアホンを持って行き、ドアホンの電池を抜いた状態で操作を始めてください。



ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→画面右下の[▼]→[接続機器の登録/減設]→[登録]→画面右下の[▼]→[ドアホン(ワイヤレス)]をタッチする
 - ドアホンの操作を促す表示が出ます。続けて次の操作をしてください。



ドアホンの操作

- 2 ドアホン本体に電池を入れ、約3分以内に表面の呼出ボタンを約5秒間押す
 - LEDライトが点滅したら、登録中です。完了すると「ピーッ」と鳴ります。
 - 登録できなかったときは、すべての電池を抜いてから登録操作をやり直してください。

有線接続のドアホンとの違い

付属のドアホンなど、有線接続のドアホンとは次のような違いがあります。

主な違い	ドアホン(有線)	ドアホン(ワイヤレス)
接続台数	最大2台	1台のみ
出力映像	最大15 fps (640×480) 詳細はP.115	最大6 fps (320×184) 詳細はP.115
ただいまコール(P.16)	○	×(機能なし)
非常ボタンの連携対応(P.66)	○	×(非対応)
ワイヤレスカメラとの着信競合について	カメラ映像は録画される 詳細はP.115	カメラ映像が録画されない場合あり 詳細はP.115



お知らせ

- 上記のほか、ドアホン通話中に別のドアホンから着信があった場合も、着信したドアホンが有線かワイヤレスで次の違いがあります。
 - ・ドアホン(有線)からの着信の場合：着信時間は約30秒です。
 - ・ドアホン(ワイヤレス)からの着信の場合：着信時間が約10秒の場合があります。(「ドアホン(ワイヤレス)の電池セーブ」設定が「セーブ2」のとき)

ドアホン(ワイヤレス)の映像表示について

ドアホン(有線)とは画像サイズが異なるため、画面に表示される映像が次のように異なります。

〈ドアホン(有線)の場合〉

原寸(640×480)の映像を約1.25倍に拡大して、画面いっぱいに表示します。

(ボタン表示OFFの場合の例)



- 上下の映像が少し切れます。

〈ドアホン(ワイヤレス)の場合〉

原寸(320×184)の映像を約2倍に拡大して、下記のように表示します。

(ボタン表示OFFの場合の例)



- 上下左右に黒帯が表示されます。
- ドアホン(有線)に比べて、画質が劣ります。

ワイヤレスカメラとの着信競合について

次の場面では、ドアホンが有線かワイヤレスによって、カメラの着信や録画動作が異なります。

■ ワイヤレスカメラの着信中に、ドアホンから着信したとき

着信画面はカメラからドアホンに切り替わりますが、次の違いがあります。

〈ドアホンが有線の場合〉

カメラの着信とカメラ映像の録画は、裏で継続されます。

〈ドアホンがワイヤレスの場合〉

カメラの着信とカメラ映像の録画は、中断されます。

■ ドアホン着信中・通話中・モニター中に、ワイヤレスカメラが反応したとき

ドアホンの着信・通話・モニター状態を継続しますが、次の違いがあります。

〈ドアホンが有線の場合〉

カメラの着信が呼出音などで通知され、カメラ映像が録画されます。

〈ドアホンがワイヤレスの場合〉

カメラの着信が通知されず、カメラ映像は録画されません。

子機を増やす(増設)

別売のワイヤレス子機(P.124)を増設できます。

- 本機の子機として使うにはドアホン親機への登録が必要です。
- 補聴器(P.125)を本機と連携させる場合、本機の子機として登録する必要があります。
- 子機として登録できる台数は、補聴器と合わせて6台までです。

子機をドアホン親機に登録する

子機の操作は、増設する子機の説明書をお読みください。(子機によって操作が異なります)



ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→画面右下の[▼]→[接続機器の登録/減設]→[登録]→[子機]→登録する子機の名前→登録する子機番号をタッチする
 - 子機の操作を促す表示が出ます。約2分以内に子機の操作をしてください。



子機の操作(例: **WD618**)

- 2 子機の状態に応じて下記の操作をする
 - お買い上げ時の状態の場合
(画面に「増設してください」と表示)
F2(増設)を押す
 - 電話/ファクスに登録済みの場合
 - ① トップ画面で[決定](メニュー)を押し、◀/▶で[設定]メニューを開く
 - ② ▼/▲で[子機増設]を選び、[決定]を押す
- 3 ▼/▲で[ドアホン]を選び、[決定]を押す
- 4 [決定](登録)を押す



ドアホン親機の操作

- 5 登録完了画面が出たら、表示内容(登録した子機番号や名前)を確認する
 - 画面を終了するには[終了]を押してください。



お知らせ

- 子機 **WD618** で電話機能も使うには、電話/ファクス親機への登録も必要です。(P.42)

中継アンテナを使用する

ドアホン親機と次の機器間に、別売の中継アンテナ「KX-FKD3」を設置して使用することができます。

- 子機
- ワイヤレスカメラ
- 窓/ドアセンサー
- ドアホン(ワイヤレス)

各機器がドアホン親機から離れていたり、壁などの障害物(P.12)があって次のような症状が出るときに中継アンテナを設置すると、症状を改善できることがあります。

- ・子機で通話が途切れる、または映像が乱れる
- ・ワイヤレスカメラ、窓/ドアセンサー、ドアホン(ワイヤレス)との通信が不安定(映像が乱れる、センサー反応時の通知がこない、など)
- ・「圏外」となって使えない

中継アンテナを登録・設置する前に

P.118「中継アンテナの設置例と電波の中継イメージ」をお読みのうえ、ご利用の目的に合った接続方法を確認してください。

- 設置は**2台まで**。中継アンテナの取扱説明書もよくお読みください。
- **1台の中継アンテナで中継できる機器**
次のどちらかを登録時に選びます。(※)
 - ①子機、窓/ドアセンサー
 - ②ワイヤレスカメラ、窓/ドアセンサー(※) ドアホン(ワイヤレス)を中継する場合は、②を選びます。
- **1台の中継アンテナで、子機とワイヤレスカメラの両方を中継することはできません。**

中継アンテナをドアホン親機に登録する



ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューの[設定/情報]→[設定を変更]→画面右下の[▼]→[接続機器の登録/減設]→[登録]→画面右下の[▼]→[中継アンテナ]をタッチする

- 登録可能な中継アンテナ番号が表示されます。

- 2 下記の操作をする

■ 1台目を登録するとき

- ① 登録する中継アンテナ番号をタッチする
- ② 「次の画面で中継したい機器を選んでください」と出たら、[次へ]をタッチして中継する機器をタッチする
 - 中継アンテナの操作を促す表示が出ます。約2分以内に中継アンテナの操作をしてください。

■ 2台目を登録するとき

- ① 登録する中継アンテナ番号をタッチする
- ② 接続方法(単独で接続/連結で接続)をタッチする
 - 「連結で接続」を選んだときは、手順3へ進んでください。
- ③ 「次の画面で中継したい機器を選んでください」と出たら、[次へ]をタッチして中継する機器をタッチする
 - 中継アンテナの操作を促す表示が出ます。約2分以内に中継アンテナの操作をしてください。



中継アンテナの操作

- 3 電源を入れ、登録ボタンを約3秒間押す
 - 電波レベル/登録ランプが緑点滅し、登録が完了すると点灯します。



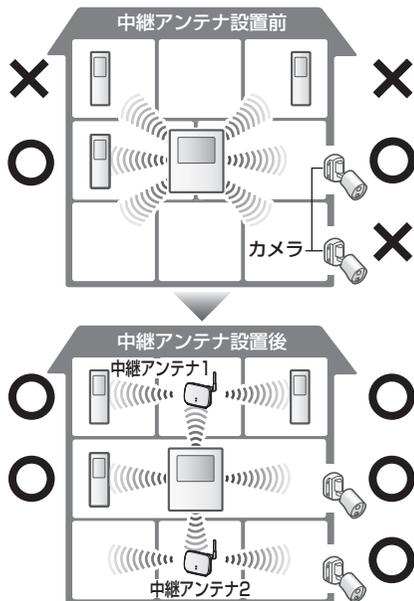
ドアホン親機の操作

- 4 登録完了画面が出たら、表示内容(登録した中継アンテナ番号や中継する機器)を確認する
 - 画面を終了するには[終了]を押してください。

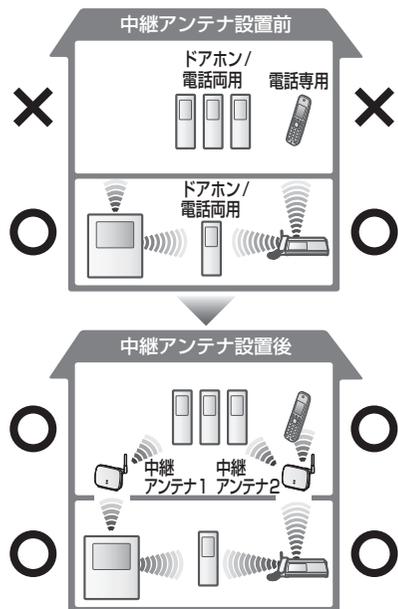
中継アンテナの設置例と電波の中継イメージ

単独接続 中継アンテナを1台ずつ単独で使って、ドアホン親機の電波を別方向に伸ばす

例1) 電話/ファクス連携なし。2台の中継アンテナでドアホン親機の電波を別方向に中継。



例2) 電話/ファクス連携あり。*1
2台の中継アンテナでドアホン親機と電話/ファクス親機の電波をそれぞれ中継。



- ドアホン/電話両用で使う子機 **WD618** を両方の親機(ドアホン、電話/ファクス)から電波が届きにくい場所に設置すると、それぞれの親機からの電波を中継するために、中継アンテナが2台必要です。
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

*1 電話/ファクス連携時の中継アンテナ利用について

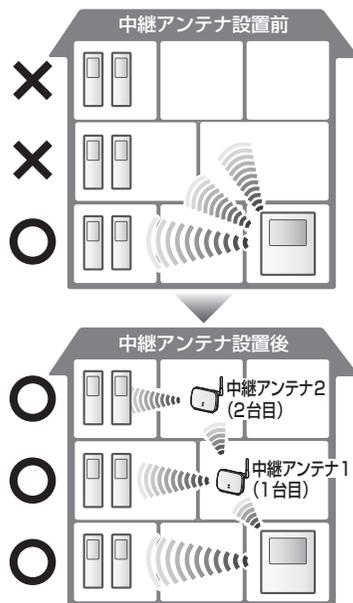
〈登録できる台数〉

ドアホン側と電話/ファクス側で合計2台まで。

〈中継アンテナの登録番号〉

ドアホン側と電話/ファクス側で別の番号にしてください。

連結接続 2台の中継アンテナを連結接続し、ドアホン親機の電波をより遠くまで伸ばす



- 電話/ファクスと連携しているとき
中継アンテナはドアホン側と電話/ファクス側で合計2台までのため、ドアホン側で中継アンテナを連結接続して使うと、電話/ファクス側では中継アンテナが使いません。

使わなくなった機器を減設する

ドアホン親機に登録された各機器は、下記の操作で減設（登録解除）できます。

□ ドアホン親機の操作

1 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 画面右下の[▼] → [接続機器の登録/減設] → [減設]をタッチする

- 減設できる機器の種類が表示されます。



[▼]をタッチ ↓ ↑ [▲]をタッチ



2 減設する機器に応じて下記の操作をする

■ カメラの場合

- ① [カメラ]をタッチし、[センサーカメラ]または[ワイヤレスカメラ]タッチする
 - 選んだカメラの一覧が表示されます。
- ② 減設するカメラをタッチする
 - 減設の確認画面が表示されます。

■ 電話/ファクス、ドアホン(ワイヤレス)の場合

- ① [電話/ファクス(ワイヤレスアダプター)]または[ドアホン(ワイヤレス)]をタッチする
 - 減設の確認画面が表示されます。

■ その他の機器の場合

- ① 減設する機器の種類をタッチする
 - 選んだ機器の一覧が表示されます。
- ② 減設する機器をタッチする
 - 減設の確認画面が表示されます。

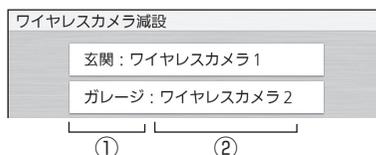
3 メッセージを確認して[はい]をタッチする

- 減設完了画面が表示されます。画面を終了するには、[終了]を押してください。

■ 手順2で表示されるワイヤレスカメラ、窓/ドアセンサーの機器選択画面について

下記のように、場所名と機器名が表示されます。

(例：ワイヤレスカメラ)



① 場所名

P.89、103の「場所名」設定に従って表示します。

- 未登録時は「—」と表示します。

② 機器名

登録時の機器番号を表示します。

- 連携したスマートフォンで各機器に名前を付けると、その名前を表示します。

👤 お願い

- 電池式の機器を減設したときは、誤動作防止のため、電池を外してください。

子機 **WD618** の減設について

ドアホン/電話両方で使っていた場合は下記のようにしてください。

- 電話の子機としての使用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。(操作方法は電話/ファクスの説明書をお読みください)
- ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設し、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ずP.105「動作モード」設定を変更してください。変更しないと、正しく動作しなかったり電波表示が「圏外」になったりして使えないことがあります。

電話/ファクスの減設について

電話/ファクス側でもワイヤレスアダプター機能の減設操作が必要です。(操作方法は電話/ファクスの説明書をお読みください)

SDカード(フォーマット・録画のコピー・パソコン再生)

SDカードをフォーマットする

パソコンなどの他機器で使用していたSDカードをフォーマットする際は、事前にSDカード内の大切なデータをパソコンなどに保存してください。フォーマットするとデータはすべて消去されます。



ドアホン親機の操作

- 1 フォーマットしたいSDカードを入れる
- 2 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 画面右下の[▼] → [録画再生の設定] → 画面右下の[▼] → [SDカードのフォーマット]をタッチする
 - フォーマットの確認画面が表示されます。
- 3 メッセージを確認して、[はい]をタッチする
 - フォーマットが終わると完了画面が表示されます。画面を終了するには、[終了]を押してください。

本体メモリーの録画データをSDカードにコピーする

ドアホン親機の本体メモリーに記録した録画データを、SDカードにまとめてコピーできます。

- コピーには、2 GB以上のSDカードが必要です。
- コピーしたデータは、SDカード内の下記フォルダーに保存されます。
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_B/
(フォルダー構造についてはP.121)
- 同じSDカードに再度コピーを行う場合、すでに上記フォルダーに保存されている録画データはすべて消去されます。(上書きコピー)
- コピーしたデータは、パソコンでのみ再生できます。(ドアホン親機では再生できません)



ドアホン親機の操作

- 1 コピーしたいSDカードを入れる
- 2 トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 画面右下の[▼] → [録画再生の設定] → 画面右下の[▼] → [本体からSDカードへのコピー]をタッチする
 - コピーの確認画面が表示されます。
- 3 メッセージを確認して、[はい]をタッチする
 - コピーが終わると完了画面が表示されます。画面を終了するには、[終了]を押してください。
 - コピーしたSDカードを取り出します。

データをパソコンで再生する

SDカードに記録した画像・映像データはパソコンで再生することができます。

- 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されない・正しく動作しない場合があります。
- 再生操作のしかたは、パソコンの取扱説明書または再生ソフトの取扱説明書をお読みください。

フォルダー構造とファイル形式

フォルダーについて

SDカードへの録画や録画データのコピーをする際に、下記のフォルダーが自動的に作成されます。

■ SDカード

- ドアホン・カメラの録画データ用フォルダー
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_R/
- ドアホン親機宛ビデオメッセージのデータ用フォルダー
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_M/
- スマートフォン1～4宛ビデオメッセージのデータ用フォルダー
例) スマートフォン1
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_1/

■ 本体メモリー(ドアホン親機)

- ドアホン・カメラの録画データのコピー用フォルダー
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_B/
- ドアホン親機宛ビデオメッセージのデータのコピー用フォルダー
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_B/MWD505_M/
- スマートフォン1～4宛ビデオメッセージのデータのコピー用フォルダー
例) スマートフォン1
/private/PANA_GRP/PSN/MWD505_B/MWD505_1/

上記のフォルダーによって、SDカードに直接記録したデータと本体メモリーからコピーしたデータを、別のフォルダーに保存・管理することができます。

🔔 お願い

- パソコンでフォルダーやファイルの消去をしたり、名称の変更をしたりしないでください。本機で再生できなくなります。

保存データのファイル形式について

SDカードに録画およびコピーしたデータは、それぞれの専用フォルダーに下記のファイル形式で保存されます。

- 録画データは、日付ごとに分けて保存されます。

■ ファイル形式の例

1 G 134510 _U.MP4
① ② ③ ④ ⑤

1 K 134510 _P.MP4
① ② ③ ⑥

① 撮影機器の番号

- ドアホンの録画データのとき
例) 「1」: ドアホン1
- センサーカメラの録画データのとき
例) 「1」: センサーカメラ1
- ワイヤレスカメラの録画データのとき
例) 「1」: ワイヤレスカメラ1
- ビデオメッセージのデータのとき
「0」: スマートフォン宛のビデオメッセージ
「1」～「4」: ドアホン親機1～4からのビデオメッセージ
「5」～「8」: スマートフォン1～4からのビデオメッセージ

② 録画タイプ

- ドアホンの録画データのとき
「G」
- センサーカメラの録画データのとき
「K」
- ワイヤレスカメラの録画データのとき(録画方法に応じて異なります)
「A」: カメラ(動作検知/人感センサー)の反応で録画した
「M」: モニター中などに手動で録画した
「W」: 窓センサーの反応で録画した
「D」: ドアセンサーの反応で録画した
- ビデオメッセージのデータのとき
「Z」

③ 録画開始時刻

例は、13時45分10秒を示しています。

④ <ドアホン・ビデオメッセージ録画データのみ>

未確認の録画データの場合に表示されます。

⑤ 拡張子(ファイルの種類)

- 「MP4」: 動画(MPEG-4形式)

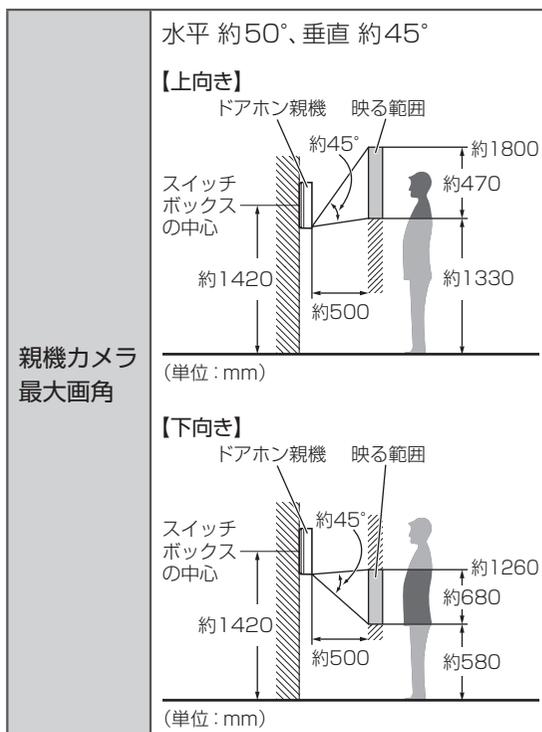
⑥ <センサーカメラ録画データのみ>

検知前後に撮影した静止画(最大9枚)を1つのファイルにまとめたデータであることを表します。

仕様

ドアホン親機(モニター親機)

電源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力	待機時: 約 4 W 動作時: 約 10 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅 ×奥行)	約 192 × 165 × 27 (突起部除く)
質量	約 635 g
使用環境 条件	周囲温度: 0 °C ~ +40 °C 湿度: 90 % 以下
画面表示	約 5 型ワイド カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
無線通信 方式	1.9 GHz TDMA-WB
無線LAN	規格: IEEE802.11b/g/n 準拠 伝送方式: OFDM方式、DSSS方式 周波数範囲: 2.4 GHz ~ 2.5 GHz チャンネル: 1 ~ 13ch データ転送速度(最大): IEEE802.11b: 11 Mbps IEEE802.11g: 54 Mbps IEEE802.11n: 72 Mbps
A 接点出力 端子*1	定格負荷: AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷: DC 5 V / 1 mA
外部入力 端子	入力方式: 無電圧メーク接点 検出確定時間: 0.1 秒以上 接点抵抗値: ・メーク時: 500 Ω 以下 ・ブレーク時: 15 kΩ 以上 端子間短絡電流: 5 mA 以下 端子間開放電圧: DC 7 V 以下



※1 光るチャイムなどを接続したときは、ドアホンから呼び出しがあった場合などに信号を出力します。(詳細はP.67)
 A接点出力対応の電気錠を接続したときは、電気錠の操作をしたときに信号を出力します。(詳細はP.63)

■ 対応のSDカード(SD規格準拠品)

対応カードの種類	SDメモリーカード*2: 2 GB SDHCメモリーカード*2: 4 GB ~ 32 GB SDXCメモリーカード*2: 48 GB、64 GB、128 GB
フォーマット	SDメモリーカード: FAT16 SDHCメモリーカード: FAT32 SDXCメモリーカード: exFAT

- 動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/door/sd/>
- SDカードの容量と録画件数の目安は(P.36)

※2 下記のカードも使えます。(専用アダプターが必要)

- ・ miniSDメモリーカード/microSDメモリーカード
- ・ miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカード
- ・ microSDXCメモリーカード

ドアホン(カメラ玄関子機)

電 源	ドアホン親機より供給
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行) (突起部除く)	〈VL-V574L〉 約131×99×26.5 〈VL-V557L〉 露出時: 約170×119×25.4 埋込時: 約170×119×22.1 (奥行には、埋込部5.6含む)
質 量	〈VL-V574L〉 約170 g 〈VL-V557L〉 露出時:約370 g 埋込時:約330 g
使用環境条件	周囲温度: -10℃~+50℃ 湿度 :90%以下
最大画角	水平 約170°、垂直 約110°
取付方法	露出時: JIS 1個用スイッチボックス 適合 埋込時(VL-V557Lのみ): JIS 3個用スイッチボックス 適合
外観材質	〈VL-V574L〉 難燃樹脂 〈VL-V557L〉 金属部:アルミ合金 樹脂部:難燃樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防水性・防塵性	〈VL-V574L〉 IPX3※3 〈VL-V557L〉 IP54※4

※3 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

※4 防塵性規格等級5:

機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル

防水性規格等級4:

あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

子 機(ワイヤレスモニター子機)

■ 本 体

電 源	専用ニッケル水素電池 (品番:KX-FAN55) (DC 2.4 V) (650 mAh)
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約173×52×30 (突起部除く)
質 量	約165 g(電池パック含む)
使用環境条件	周囲温度:0℃~+40℃ 湿度 :90%以下
画面表示	約2.4型 カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式 (ドアホン通話)	音声交互自動切替方式
使用時間※5	ドアホン通話(スピーカーホン): 約2時間※6 外線通話※7(受話口での通話): 約5時間※8 待機時間:約80時間
充電時間※9	約10時間
使用可能距離	約100 m/親機との見通し距離

※5 充電完了の状態での使用環境温度が20℃のとき

※6 10分間隔で約2分間通話をした場合の累積通話時間

※7 電話/ファクス親機に増設時

※8 スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪いところで使う場合は、連続使用時間が短くなります。

※9 使用環境温度が20℃、電源電圧がAC100Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

■ 充 電 台

電 源	AC100 V(50 Hz/60 Hz)
消費電力	待機時:約0.25 W 〔子機を充電台から外して〕 〔いるとき〕 充電時:約0.65 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約43×81×76 (突起部除く)
質 量	約166 g
使用環境条件	周囲温度:0℃~+40℃ 湿度 :90%以下

別売品・連携機器一覧

記載した情報は2018年10月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

別売品

価格、ご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

増設用のドアホン(玄関子機)	
カメラ玄関子機 (有線接続)	〈露出型〉 VL-V574L-N※1/ V572L-S/V571L-S/ V570L-S/V522L-WS/ V522L-S/V521L-S/ 〈露出/埋込両用型〉 VL-V554L-S/V557L-S※2
ワイヤレス 玄関子機 (電池式)	〈露出型〉 VL-VD561L-N
音声玄関子機	〈露出型〉 VL-V500-K
増設用の子機	
ワイヤレス モニター子機	VL-WD618 (ドアホン/電話両用)
その他	
みまもり リモコン	VS-WD100-K
中継アンテナ	KX-FKD3
ワイヤレス子機 用電池パック	KX-FAN55※3
(子機用) 壁掛け用木ねじ・ ワッシャー	KX-AN162※3

- ※1 VL-SWD505KF/SVD505KFに付属のドアホンと同じ仕様です。
 ※2 VL-SWD505KS/SVD505KSに付属のドアホンと同じ仕様です。
 ※3 お買い上げの販売店にて、お取り寄せとなります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
 パナソニックの家電製品直販サイト
 「パナソニックストア」でお買い求めいただける
 ものがあります。詳しくは「パナソニック
 ストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



連携機器一覧

パナソニック製の機器をご使用いただけます。
 (一部、他社製品もあります)
 ● 最新の情報はサポートサイトでご確認ください。
<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/door/>

電話/ファクス (ワイヤレスアダプター機能対応機種)※1	
電話機	VE-GD25/GD26/GD36/ GD55/GD56/GD66/ GD76/GDS02/GDW54/ GDX16/GE10/E10/ GZ20/GZ21/GZ31/ GZ50/GZ51/GZ61/ GZ71/GZX11シリーズ
ファクス	KX-PD205/PD215/ PD305/PD315/ PD515/PD615/ PD715/PD915/ PZ200/PZ210/ PZ300/PZ310/ PZ510/PZ610/ PZ710/PZ910シリーズ
窓/ドアセンサー	
開閉センサー (窓センサー としてのみ接 続可能)	KX-HJS100 KX-HJS100W(2個入り)
ドアセンサー	ECID30A

カメラ	
センサーカメラ	〈屋内用〉 VL-CD215、VL-CD235 〈屋外用〉 VL-CD265(ライト付き)
ワイヤレスカメラ	〈屋外用〉 VL-WD712K/X VL-WD813K/X(ライト付き)
スマートフォン(ドアホンコネクタアプリ対応) ●動作確認済みの機種はP.124のサポートサイトでご確認ください。(一部の機種では使えない機能などもあります)	
iPhone、iPad	iOS 9.0 以降 ^{※2}
Android™スマートフォン	Android 4.1 以降 ^{※2}
電気錠やエアコンなど	
JEM-A対応 ^{※3} の電気錠やエアコンなど	JEM-Aアダプタ「CZ-TA2」 ^{※4} 、またはIP/JEM-A変換アダプタ「HF-JA1-W」 ^{※4} を使って接続できるもの
A接点对応の電気錠	ドアホン親機のA接点出力端子の定格(P.122)に適合するもの
警報器やコール機器など ●いずれかを1種類のみ	
火災警報器	住宅用火災警報器 ^{※5} (単独型、移報接点付き) 〈けむり当番〉 SHK28413、SHK38453 〈なつ当番〉 SHK28113、SHK38153 ●以下、能美防災(株)製 〈煙検知式〉FSKJ222-S 〈熱検知式〉FSLJ012-S
	移報接点アダプタ ^{※6} SH2890K(連動型用) SH3290K(ワイヤレス連動型用)
ガス漏れ警報器	SH1371、SH13928K
コール機(コール用押しボタン)	WS65771、WS65311
非常ボタン	WTF4510W、WN4500
テレビドアホン (ビデオ通話機能対応機種)	
テレビドアホン	VL-SWD505KF、 VL-SWD505KS、 VL-SVD505KF、 VL-SVD505KS

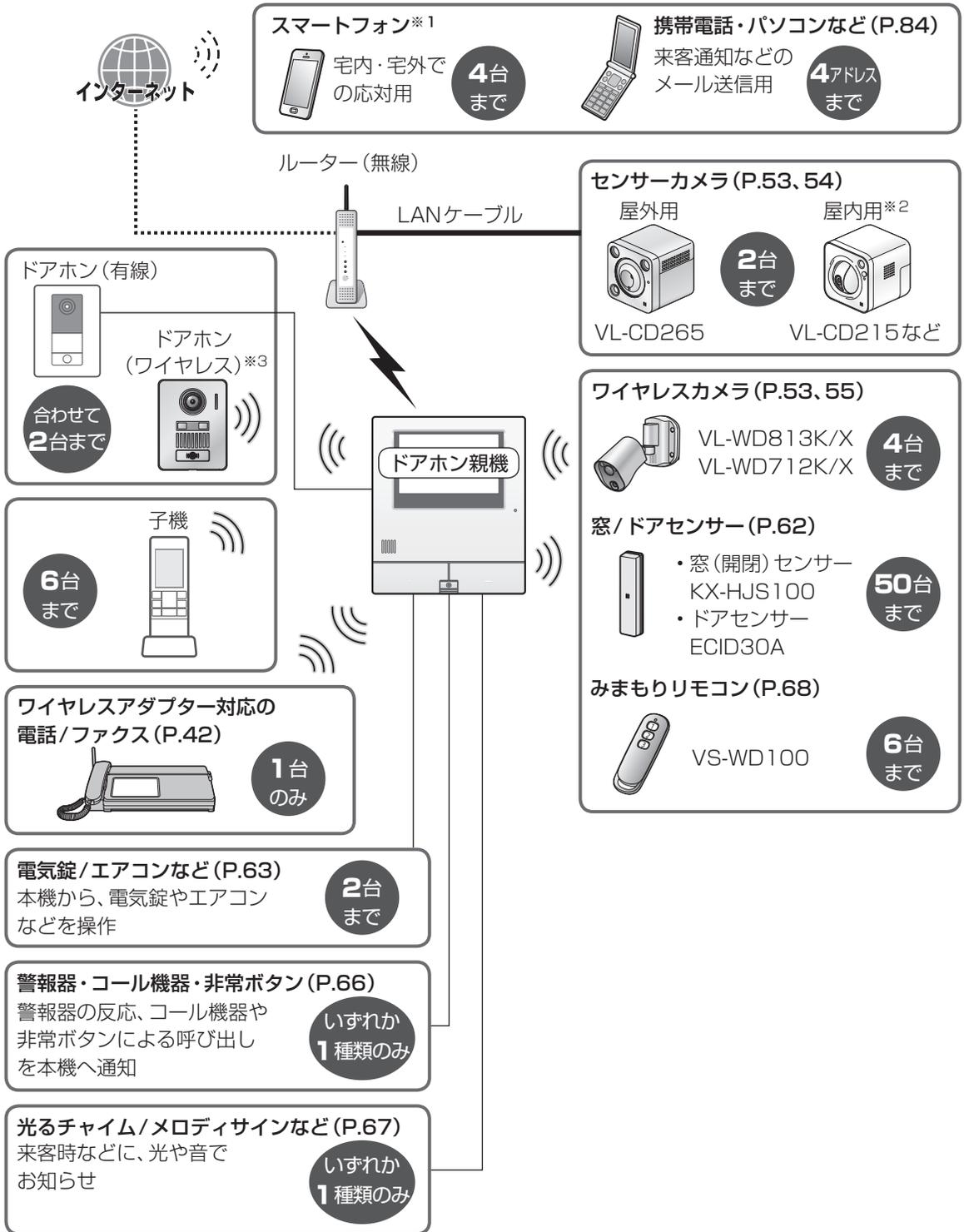
光るチャイムやメロディサインなど ●いずれかを1種類のみ	
光るチャイム	EC170(P)
メロディサイン ^{※7}	〈乾電池式〉 EC5227W(P)、 EC5117WKP、EC5347 〈AC100V式〉 EC710K、EC730W
警報ランプ付ブザー	EA5501
回転灯(株)パトライト製	KJS-110、KJSB-110、 KES-110
補聴器	
補聴器	WH-J25D

- ※1 本機はドアホンアダプター「VE-DA10-H(VE-DA10)」での接続はできません。
- ※2 対応するバージョンは、スマートフォンのOSのバージョン更新に伴って変わる場合があります。
- ※3 一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。
- ※4 電気錠やエアコンなどの接続に必要なアダプタです。(接続は2台まで)この機器を経由して、JEM-A端子のある電気錠操作器(例:WQN4503Wなど)を接続できます。
- ※5 単独型の火災警報器は15台まで並列接続できます。
- ※6 連動型の火災警報器を接続するためのアダプタで、14台まで火災警報器を接続できます。(接続できる火災警報器は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください)
- ※7 オートストップ機能付きのEC5347、EC730Wをお勧めします。(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)

システム構成について(2018年10月現在)

別売の増設機器や多様な機能を持つ他機器と連携して、お好みのシステムにすることができます。
(別売の増設機器や連携できる機器の一覧はP.124)

● 図中のマーク：)) DECT準拠方式の電波(1.9 GHz帯)



※1 ドアホンコネクタアプリを利用して連携させることができます。詳しくは「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください。

※2 無線ルーターとの間を、無線LANで接続できる機種もあります。(P.53)

※3 ドアホン2として、1台のみ登録して使えます。(P.114)

子機の電話機能の制限について

子機は下記の電話/ファクス親機に増設できますが、増設した親機によって利用できない機能があります。

増設可能な親機の品番(シリーズ)	制限される子機の機能		
	親機と子機間の内線通話	3者通話	親機への電話帳転送
電話機 (VE-)			
GD25	○	×	×
GD26	○	×	×
GD36	○	×	○
GD55	○	×	○
GD56	○	×	○
GD66	○	×	○
GD76	○	×	○
GDS02	×	△※1	×
GDW54	○	○	○
GDX16	×	×	×
GE10	○	×	×
E10	○	×	×
GZ20	○	×	×
GZ21	○	×	×
GZ31	○	×	○
GZ50	○	×	○
GZ51	○	×	○
GZ61	○	×	○
GZ71	○	×	○
GZX11	×	×	×
ファクス (KX-)			
PD205	○	×	○
PD215	○	×	○
PD305	○	×	○
PD315	○	×	○
PD515	○	×	○
PD615	○	×	○
PD715	○	×	○
PD915	○	×	○
PZ200	○	×	○
PZ210	○	×	○
PZ300	○	×	○
PZ310	○	×	○
PZ510	○	×	○
PZ610	○	×	○
PZ710	○	×	○
PZ910	○	×	○

※1 子機2台と外線での3者通話のみできます。

商標・著作権・ライセンス

商標など

- SDXC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- ドアホン親機や子機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- iPhone は、Apple Inc.の商標です。
- iPad は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- Bluetooth® ワードマークは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権

- この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示されるGPLやLGPLのライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページに掲載しています。GPL、LGPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPLおよびその他のオープンソースソフトウェアの利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPLソフトウェアおよびその他のオープンソースソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記URLをご参照ください。
<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/com/door/>

ライセンス

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i)画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii)個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

困ったとき



ドアホンの映像表示や録画画像

人の顔が暗く映る

- 逆光になると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。
→ 逆光補正をしてください。(P.29)

映像がゆがんで見える

- 広角レンズのドアホンは、カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見ることがありますが、故障ではありません。

背景が緑っぽく映る

- 夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがありますが、故障ではありません。

夜間の映像が暗く顔が識別できない

- 「ドアホン照明自動点灯」の設定を確認してください(P.88)
→ 点灯する設定になっていても改善できないときは、補助灯などの設置をお勧めします。
- ドアホンの照明(LEDライト)点灯時でも、撮影範囲の両端付近(ドアホンの真横など)はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。
→ 補助灯などの設置をお勧めします。

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

- ドアホンのレンズ周りが汚れている、または結露している可能性があります。
→ 汚れているときは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
→ 寒暖の差が大きい季節に結露することがあります。(周囲の温度が常温に戻れば回復します)

映像全体が白っぽい、または黒っぽい

- 明るさの設定は適切ですか？
→ 明るさを調整してください。(P.29)

映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される

- ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません)

映像が乱れる

- ドアホンとドアホン親機間を接続した配線材が途中で結線されていないか確認してください。
→ 結線部をよじっただけの場合、映像が乱れることがあります。結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の圧着スリーブで圧着処理をしてください。(詳細は施工説明書を参照)

画面全体がちらつく

- ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか？
→ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)

ズームで表示される最初の映像に、見たいエリアが映っていない

- ズーム位置が適切に設定されていません。
→ 「ドアホンのズーム位置設定」をしてください。(P.25)

子機の映像が乱れる(または映像の更新が遅い)

- 子機背面のアンテナ部(P.129)を手で覆っていませんか？
→ アンテナ部から手を離してください。
- 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの電波を通しにくい障害物がありますか？
→ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。
- ドアホン親機に、ワイヤレスカメラを接続(登録)していませんか？
→ ワイヤレスカメラを接続(登録)すると、子機では映像の更新速度が遅くなります。(故障ではありません)

夜間に録画されたドアホン画像が暗い

- 夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。
→ 「ドアホン録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。(P.93)

録画画像で、人が小さく映り顔が識別しにくい

- 録画時の映像表示がワイドの場合、人が小さく映ります。(録画再生時にズームにすることはできません)
→ 「ドアホンのワイド/ズーム設定」を「ズーム」にすると、ズーム画像が録画されます。モニター映像を手動で録画する場合、表示をズームに切り替えてから録画してください。ただし、ズーム画像の画質はワイドに比べて粗くなります。

雨のとき、映像がゆがんで見える

- ドアホンのレンズ周りに水が付着すると映像がゆがんで見えますが、故障ではありません。
→ 雨がやんだあと、柔らかい乾いた布で拭いてください。

ドアホン(ワイヤレス)の映像をモニターするとき、モニター操作をしてから映像が表示されるまでに時間がかかる

- 電池の消耗を抑えるため、お買い上げ時は「ドアホン(ワイヤレス)の電池セーブ」の設定が「セーブ1」になっています。(P.88)
この設定では、モニター操作をしてから映像表示までに時間がかかります。
(表示までの時間は一定ではありません)
→ 設定を「標準」に変更すると映像表示までの時間は早くなりますが、電池の寿命は短くなります。

来客応答・通話 (ドアホン/カメラ/室内通話)

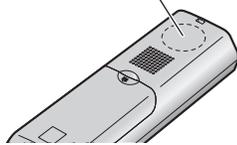
音声応答がうまくいかない

- 応答の音が小さかったり、「はーい」などの声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎたりすると、うまく応答できません。
→ 「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。

通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない

- 自分または通話相手の周りで大きな音(ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声、車や電車などが通る音など)がしていると、通話が途切れることがあります。
→ プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。(P.26)
- 子機との通話では次のことが考えられます。
 - ・子機背面のアンテナ部を手で覆っている
→ アンテナ部から手を離してください。

アンテナ部(内蔵)



- ・子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁など電波を通しにくい障害物がある
→ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。(P.117)

雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない

- 通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。
→ 少し離れた場所で通話してください。

呼出音

ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない

- 呼出音量の設定が「切」になっていませんか？
→ 設定を確認してください。(P.75)
- 「鳴り分け」設定で「鳴らない」ようになっていませんか？
→ 設定を確認してください。(P.91)
- 子機の電池が切れている
→ 充電してください。(P.24)

ビデオ通話(映像表示)

人の顔が暗く映る

- 照明や窓などで逆光になると、顔が暗く映ることがあります。
→ 下記を行うと改善できることがあります。
 - ・親機カメラに近づき正面に立つ
 - ・窓がある場合は、カーテンを閉める

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

- 親機カメラのレンズが汚れている可能性があります。
→ 汚れているときは、綿棒などで拭いてください。

子機(充電)

が点滅し、「ピッピッ」と鳴る

- 電池がなくなりかけています。
→ すぐに充電してください。(P.24)

充電台に置いても充電ランプが点灯しない

- 電源プラグがコンセントから外れていませんか？
→ しっかり取り付けてください。
- 充電台に正しく置いていますか？
→ 正しく置くと充電ランプが赤点灯します。
- 電池パックが新品、または電池が切れていませんか？
→ 数分間、充電台に置いたままにしてください。

充電時間が長い(約10時間充電しても充電ランプが消灯しない)

- 次の場合は、充電完了までの時間が長くなります。
 - ・充電の途中で、子機を使用したとき
 - ・使用環境温度が20℃より低いときや、電源電圧がAC100Vより低いとき
 - ・子機に「」や「」が表示されているとき
- ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、子機の電波表示が「」になるまで、ドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけて充電してください。

充電完了まで充電しても、2～3回使うと  が点滅する

- 電池パックの寿命です。
→ 交換してください。(P.24)

子機、充電台が温かい

- 異常ではありません。(夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります)
→ 非常に熱いときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。



電話/ファクスとの連携 (来客応答・通話、子機の電話機能)

下記①または②の症状がある

- ① ワイヤレスアダプター機能で接続した電話/ファクスで
 - ・ドアホンの呼出音が鳴らない
 - ・ドアホン通話が途切れる
- ② 子機 **WD618** で電話の呼出音が鳴らず、電話をかけることもできない(子機を電話/ファクス親機に近づけても電波表示が「圏外」になる)

- 電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎている、または間にコンクリート壁など電波を通しにくい障害物があり、電波が届いていない可能性があります。
→ ドアホン親機のトップメニューで電波状態(P.18)を確認し、電波が弱いときは電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。
- 上記処置後も①が改善されないときは、ドアホン親機の側面にあるリセットボタンを先端の細いもので押してください。(ドアホン親機に録画された画像、登録した設定内容などは消えません)

子機 **WD618** で電話中に

相手の声が途切れる、または雑音が入る

- 子機背面のアンテナ部(P.129)を手で覆っていませんか？
→ アンテナ部から手を離してください。
- 子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または間にコンクリート壁などの電波を通しにくい障害物がありませんか？
→ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。



カメラとの連携 (カメラのセンサー反応)

人がいるのに、センサー(動作検知や人感センサー)が反応しない

〈動作検知について〉

- 検知タイマーの設定(センサーカメラはP.97、ワイヤレスカメラはP.102)により、お買い上げ時は次のときに動作しますが、被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。
 - ・センサーカメラの場合
屋内/屋外カメラ: 常時検知
 - ・ワイヤレスカメラの場合
WD813: 常時検知
WD712: 6時～18時の間だけ検知
- 屋外カメラの場合、夜間など暗いときは人感センサーで検知できますが、動作検知を常時行う設定にしているカメラで夜間も適切に動作を検知させたいときは、補助灯などを設置して被写体周辺が明るくなるようにしてください。
- 被写体の動きが小さいと、検知しないことがあります。
→ 動作検知の感度設定を、より高い感度に変更してください。
 - ・センサーカメラの場合(P.55)
 - ・ワイヤレスカメラの場合(P.101)

〈人感センサーについて〉

- 検知タイマーの設定(センサーカメラはP.97、ワイヤレスカメラはP.102)により、お買い上げ時は次のときにのみ動作します。
 - ・センサーカメラの場合
屋内/屋外カメラ: 夜間など暗いときのみ検知
 - ・ワイヤレスカメラの場合
WD813: 夜間など暗いときのみ検知
WD712: 16時～8時の間だけ検知
- 次の場合は、反応しないことがあります。
 - ・前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき
 - ・人感センサーに雪が付いたとき
 - ・カメラの正面から人が近づいてきたとき
- 夏場など、気温が人の表面温度に近いときは、検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。
→ 人感センサーの感度設定を、より高い感度に変更してください。
 - ・センサーカメラの場合(P.97)
 - ・ワイヤレスカメラの場合(P.101)

センサー(動作検知や人感センサー)が誤検知する

- 車が通るたびに反応する
- 人がいないのに反応する

- 次の場合は、動きや明るさの変化を検知して動作検知が反応したり、温度変化を検知して人感センサーが反応することがあります。
 - 検知エリアに車が入り込んだとき
(車本体やヘッドライトが映りこむと、動きや明るさを検知して動作検知が反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても人感センサーが温度変化を検知すると反応します)
 - 検知エリアに、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき(動作検知が反応)
 - 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき(動作検知や人感センサーが反応)
 - 雨や雪がレンズカバーに付着したり、流れ込んだりしたとき(動作検知が反応)
- ➔ カメラの撮影方向に車道が入らないように、角度を調整してください。
- ➔ 動作検知が誤検知する場合、動作検知の範囲や感度を変更してください。
 - センサーカメラの場合(P.55)
 - ワイヤレスカメラの場合(P.101「動作検知感度」、「動作検知範囲」設定)
- また、車のヘッドライトで動作検知が誤検知するときは、「検知タイマー」の設定で動作検知の時間帯を変更してください。
 - センサーカメラの場合(P.97)
 - ワイヤレスカメラの場合(P.102)
- ➔ 人感センサーが誤検知する場合、人感センサーの感度を変更してください。^{※1}
 - センサーカメラの場合(P.97)
 - ワイヤレスカメラの場合(P.101)

〈上記以外で人感センサーが誤検知する〉

- 次のような場所で誤検知することがあります。
 - 直射日光の当たる場所
 - エアコンの本体や室外機の近くなど、温度変化の激しいところ
 - 油汚れが付いたり、蒸気がかかる場所
 - 外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
 - 火気・熱器具の近く
 - 電子レンジや磁石などの強い磁気を発生するものの近く
 - 前方にガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
 - 温度に影響するような強い発光物(蛍光灯など)がある場所
 - 携帯電話など強い電波を発信する製品の近く

- 冬場など、気温が低いと検知距離(5 m)が長くなり、検知しすぎることがあります。
 - ➔ 人感センサーの感度設定を、より低い感度に変更してください。
 - センサーカメラの場合(P.97)
 - ワイヤレスカメラの場合(P.101)

人感センサーが反応しにくくなった

- 人感センサーの表面が汚れています。
 - ➔ 表面を柔らかい乾いた布で拭いてください。

正面方向から近づいてくる人を検知できない

- カメラの正面から近づいてくる人物は検知しにくくなります。
 - ➔ 検知させたい人物がカメラを横切るようにカメラの設置場所を変更してください。(人物は横向きに映りやすくなります)
 - ➔ ご使用のカメラによっては、市販の外部センサーを接続することで、正面から近づく人物を検知・撮影できる場合があります。(詳細はカメラの説明書を参照)

- ※1 ご使用のカメラによっては、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」やカメラ本体の人感センサー可動レバーで検知範囲や検知角度を調整できます。(カメラの説明書を参照)



カメラとの連携 (映像表示・録画画像)

人がいるのに、人物がまったく、またはほとんど映っていない

- 次のような場合、うまく撮影できないことがあります。
 - センサーの検知エリアの境界付近にいる人などの動き
 - カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人などの動き
 - カメラの近く(約1 m付近)を横切った人などの動き

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

- カメラのレンズ周りに汚れなどが付いている可能性があります。
 - ➔ レンズ周りを柔らかい乾いた布で拭いてください。

映像が適切な明るさにならない

- カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。
 - ➔ 数秒お待ちください。自動で補正されます。

画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが識別しにくい

- 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが識別しにくくなります。(故障ではありません)
→ 補助灯などの設置をお勧めします。*1

被写体がぶれる

- 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。(撮像素子の特性で、故障ではありません)
- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。
→ 補助灯などの設置をお勧めします。*1

映像に白点または色のついた光の点が表示される

- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。(撮像素子の特性で、故障ではありません)
→ 補助灯などの設置をお勧めします。*1

屋内用のセンサーカメラで、映像表示や録画がされない(または中断された)

- カメラ側でプライバシーボタンを押す(かくれレンズ設定をする)と、映像送信を終了します。
このため、映像表示や録画が中断することがあります。

ワイヤレスカメラで色ムラが発生する

- 「ちらつき防止設定」が、お使いの地域(東日本/西日本)に合わせて正しく設定されていないと、蛍光灯など交流電灯の照明によってしま模様になることがあります。(フリッカー現象)
→ 地域に合わせて正しく設定すると改善できます。転居などで地域が変わったときは、設定を変更してください。(P.101)



LEDライトがないワイヤレスカメラ(WD712)で、被写体が白黒(または青紫)っぽく映る

- 夜間などカメラの周囲が暗いときは、このように映ります。
→ 補助灯などの設置をお勧めします。

*1 屋外用カメラのLEDライトは侵入者に対する威嚇用で、撮影のための照明ではありません。

メール通知機能

テストメールが届かない

- メールサーバーや通知先メールアドレスの設定が間違っていないか?
→ P.92「現在のステータス」の「メール設定情報」で設定内容を確認し、間違っていたら、設定をやり直してください。(P.85)

テストメールは届いたのに、来客時などに通知メールが届かない

- 次のようなことが考えられます。
 - ・メール通知機能が「OFF」になっている
→ 通知を「ON」にしてください。(P.85)
 - ・ネットワーク接続に問題がある
→ 「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください。
 - ・メールサーバーなどのネットワーク環境の状態に問題がある
→ メールサーバー設定で入力した送信元メールアドレスにリターンメールがきていないか、パソコンなどで確認してください。

メール通知を止めたい(在宅時など、一時的にメールが来ないようにしたい)

- メール通知機能を「OFF」にしてください。(P.85)

その他

- 画面に「展示モード」と表示されている
- 呼出音が定期的に鳴る
- 通話ができない

- 展示モードが設定されています。
→ P.95「展示モード(販売店専用)」の設定を「しない」にしてください。

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

- 下記のリセット操作を行ってください。
<ドアホン親機>
側面のリセットボタンを先端の細いもので押してください。(録画された画像、登録した設定内容などは消えません)
 - リセット後、使用できるまでに約1分かかります。<子機>
電池パックを入れ直してください。
登録した設定内容などは消えません。

ドアホン親機が動作しない

- 映像が映らない
 - 呼出音が鳴らない
 - 音声が出ない
- 電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか?
→ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 電源直結工事をして、ご使用のとき
→ お買い上げの販売店にご相談ください。

ドアホン親機でタッチパネル上のボタンにタッチしても

- 反応しない
 - 別のボタンが反応する
- 反応しない場合
 - タッチパネルが汚れている可能性があります。お手入れをしてください。(P.14)
 - お手入れをしても改善しない場合は、タッチパネルの調整が必要です。(下記)
 - 別のボタンが反応する場合
 - タッチパネルの調整が必要です。(下記)

<タッチパネルの調整のしかた>

1. ドアホン親機の「終了」を押しながら「通話」を3回押す
 - 「タッチパネル調整」画面が表示されます。
2. 画面の指示に従って+マークを指でタッチする(5か所)
3. 表示されるメッセージを確認して、「決定」をタッチする

CS デジタル放送(特定チャンネル)の画像が乱れる

- 本機※1の電波がCS デジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。
→ 下記のように、CS・BS 対応の受信設備をお使いください。
 - 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使う
 - 接続ケーブルは、「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使う
 - 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ(CS・BS専用ケーブルに対応)を使う

無線LAN経由で、パソコンやスマートフォンなどがインターネットに接続できない(または接続が不安定である)

- 本機※1と無線ルーターの設置位置が近いと、電波がお互いの機器に影響し、接続できないことがあります。本機と無線ルーターは約3m以上離して設置することをお勧めします。

設定内容を元(お買い上げ時の状態)に戻したい

- ドアホン親機の設定を元に戻すには、ドアホン親機で「親機の初期化」をしてください。(P.95)
- 子機の設定を元に戻すには、子機で「設定の初期化」をしてください。(P.105)

※1 無線通信に1.9 GHz帯を使用している中継アンテナなどの別売品も含まれます。

こんな表示が出たら

ドアホン親機

コード番号(U●●など)付きのメッセージが出たときはコード番号で検索してください。コード番号なしのメッセージは、「その他の表示(コード番号なし)」欄に記載しています。

- 記載したコード番号や表示の一覧は、お問い合わせの多いもの(画面表示だけでは原因や処置がわかりにくいもの)などを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出たときは、表示に従って処置をしてください。

困ったとき
505-1190



困ったとき(エラー表示の対処方法など)

U1●: ドアホン接続関連

表示	原因と対応
U11	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホンとドアホン親機間の配線に問題がある可能性があります。 → 接続や配線を確認してください。 ● 接続対象外のドアホンが接続されている可能性があります。 → 接続可能なドアホン(P.124)をお使いください。
U15	設定可能な機器が接続されていません。

U2●: SDカード関連

表示	原因と対応
U25	<p>フォーマットされていないSDカード、またはパソコンなどの他機器でフォーマットされたSDカードです。 → 本機でフォーマットすると使える場合があります。「お知らせ画面」からフォーマットするか、P.120の「SDカードをフォーマットする」の操作をしてください。</p>
U27	<p>本機以外(デジタルカメラなど)で保存されたデータがいっぱいのため、本機で使用するための容量が不足しています。 → データを保存した機器で不要なデータを削除してから再挿入するか、本機でフォーマットしてください。(P.120)</p>

U3●: 子機やドアホン(ワイヤレス)の登録・接続関連

表示	原因と対応
U31	<p>ドアホン親機に子機またはドアホン(ワイヤレス)を登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。 → 登録する子機またはドアホン(ワイヤレス)をドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。(P.114、116)</p>
U34 U36	<p>ドアホン(ワイヤレス)が電池切れ、または電波圏外です。 → P.108の情報表示画面で[接続状態](Ⓧ)をタッチし、ドアホン(ワイヤレス)の電池残量や電波レベルを確認のうえ、電池の交換など適切な処置をしてください。(設置場所の電波状態が悪い場合、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります)</p>

U4●: 中継アンテナ

表示	原因と対応
U41	<p>次の理由で、中継アンテナを登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機への登録操作が指定時間内に完了していない → 中継アンテナの電源を確認し、ドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。(P.117) ● 連携した電話/ファクス側で、既に中継アンテナが2台登録されている → 中継アンテナはシステム全体で2台までしか使えません。
U43 U44 U45	<p>次の理由で、中継アンテナの減設が必要です。(ドアホン親機からの減設は、この画面から行うことができます)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機と電話/ファクス親機に別々に登録している2台の中継アンテナが、同じ番号になっている → 同じ番号では使えません。 ドアホン親機からいったん中継アンテナを減設し、別の番号で登録し直してください。 ● ドアホン親機と電話/ファクス親機に、合計3台以上の中継アンテナが登録されている → 合計で2台までしか使えません。2台以下になるよう、ドアホン親機または電話/ファクス親機から減設してください。

U5●：電話/ファクス連携

表示	原因と対応
U51	<p>ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。</p> <p>→ 親機同士を近づけて登録操作をやり直してください。(P.42)</p>
U52	<p>電話/ファクス親機から電波が届いていません。</p> <p>→ 電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、画面に表示された「電話/ファクスを探す」をタッチしてください。(電話/ファクス親機の電波を探します)</p> <p>→ 上記処置後も改善されないときは、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。(電波状態はドアホン親機のトップメニューで確認できます)</p>

U6●：窓/ドアセンサー連携

表示	原因と対応
U61	<p>次の理由で窓/ドアセンサーを登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアホン親機への登録操作が指定時間内に完了していない <ul style="list-style-type: none"> → 登録する機器の電源を確認し、ドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。(P.62) ・ 同じ機器が既に登録されている
U67	<p>操作しようとした機器、または表示された機器が圏外のため通信できません。</p> <p>→ 電波状態を確認してください。</p>

U1●●：ネットワーク設定

表示	原因と対応
U101	<p>次のようなことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーターの電源が入っていない ・ ドアホン親機が無線ルーターの電波の圏外になっている <p>→ 電源や接続を確認し、無線ルーターの電波圏外のときは、無線ルーターをドアホン親機に近づけてください。</p>
U103	<p>ドアホン親機のIPアドレスが、ほかのネットワーク機器と重複しています。</p> <p>→ P.92「現在のステータス」の「ネットワーク情報」でドアホン親機のIPアドレスを確認し(※)、ほかのネットワーク機器と重複しないIPアドレスに変更してください。</p> <p>※ お知らせ画面表示中は、「ネットワーク情報」をタッチしてIPアドレスの確認ができます。</p>
U145	<p>次のようなことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 送信メールサーバー(SMTP)の設定に誤りがある ・ 送信ポート番号(SMTP)に誤りがある <p>→ 正しく設定してください。(P.85)</p>
U146	<p>無線ルーターのWAN側のLANケーブルが抜けています。</p> <p>→ 正しく接続してください。</p>
U147	<p>SMTP認証のアカウント名(ユーザー名)やパスワードに誤りがあります。</p> <p>→ 正しく設定してください。(P.85)</p>
U149	<p>SMTP認証の設定が必要なのに、設定がされていません。</p> <p>→ SMTP認証を「使用する」に変更してアカウント名(ユーザー名)とパスワードを入力してください。(P.85)</p>

U2●●:スマートフォン連携

表示	原因と対応
U201	<p>無線ルーターありのネットワーク環境でドアホン親機にスマートフォンを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。</p> <p>→ スマートフォンをWi-Fi接続する無線ルーターの電源や、ドアホン親機と無線ルーター間の接続を確認し、スマートフォンにWi-Fiの電波が届く範囲内で登録操作をやり直してください。(詳しくは「取扱説明書 接続設定ガイド」をお読みください)</p>

U3●●:ワイヤレスカメラ連携

表示	原因と対応
U301	<p>次の理由で、ワイヤレスカメラを登録できません。</p> <ul style="list-style-type: none">• ドアホン親機への登録操作が指定時間内に完了していない <p>→ 登録するカメラの電源を確認し、ドアホン親機に近づけて登録操作をやり直してください。(P.55)</p> <ul style="list-style-type: none">• 同じ機器が既に登録されている
U312 U313	<p>ワイヤレスカメラが次の状態のため、通信できません。</p> <ul style="list-style-type: none">• 電源が入っていない• ドアホン親機からの電波が届いていない <p>→ ワイヤレスカメラの状態を確認し、適切な処置をしてください。(ワイヤレスカメラの設置場所の電波状態が悪い場合、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります)</p> <p>→ お知らせ画面で[U312]が表示されたときは、表示に従って通信できないワイヤレスカメラを確認のうえ、適切な処置をしてください。</p>

U7●●:みまもりリモコン連携

表示	原因と対応
U711	<p>親機への登録に失敗しました。登録する親機にみまもりリモコンを近づけ、登録操作をやり直してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• ドアホン親機への登録(P.68)
U715	<p>次のようなことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none">• みまもりリモコンがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁など電波を通しにくい障害物がありませんか? <p>→ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にみまもりリモコンを移動させてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• ドアホン親機への設定操作が指定時間内に完了していない <p>→ 設定する機器の電源(電池)を確認し、ドアホン親機に近づけて設定操作をやり直してください。(P.68)</p>

U8●●:センサーカメラ連携

表示	原因と対応
U801	<p>ドアホン親機にセンサーカメラを登録する際、登録操作が指定時間内に完了せず、登録に失敗しました。</p> <p>→ ドアホン親機とセンサーカメラ間の接続や電源を確認し、登録操作をやり直してください。(P.54)</p>
U811 U813	<p>センサーカメラが次の状態のため、通信できません。</p> <ul style="list-style-type: none">• 電源が入っていない• センサーカメラ側のLANケーブルが抜けている• 無線LAN接続のセンサーカメラで、無線LANとの接続が不安定になっている• IPアドレスが変更されている、またはIPアドレスがほかのネットワーク機器と重複している <p>→ センサーカメラの状態を確認し、適切な処置をしてください。</p> <p>→ お知らせ画面で[U811]が表示されたときは、表示に従って通信できないセンサーカメラを確認のうえ、適切な処置をしてください。</p>

H●●:その他

表示	原因と対応
H42	表示された機器に何らかの異常が発生しました。 → 機器の電源(電池式の場合は電池)を入れ直してみてください。それでも直らないときは、故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

その他の表示(コード番号なし)

時計を設定してください

[日時を設定する]

画面のボタンをタッチすると

時計を設定できます

原因と対応	原因と対応
	日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。 → 設定してください。(P.25)

着信中の機器があります。

親機では「鳴らない」設定です。

他の機器で応対してください。

他の子機あてにお客様です。

親機では「鳴らない」設定です。

他の機器で応対してください。

親機で「鳴らない」設定のカメラが反応中です。

他の機器で応対してください。

原因と対応	原因と対応
	鳴り分け設定(P.91)で、鳴らない設定にしたドアホンやカメラから着信中です。 → この表示が出た機器では応対できません。

電池セーブ2設定中

ドアホンの呼出ボタンを3分以内に押しください

原因と対応	原因と対応
	「ドアホン(ワイヤレス)の電池セーブ」の設定が「セーブ2」の場合は、ドアホンの設定変更などでドアホンと通信する際に、ドアホンの呼出ボタンを押す操作が必要です。(P.88) → この表示が出ている間(3分以内)に、ドアホンの呼出ボタンを押してください。 → 設定を「セーブ2」以外に変更すると、次回から上記のボタン操作が不要になります。

電池もしくは機器の異常を検知しました。

〈機器番号(例:ドアホン2)〉

原因と対応	原因と対応
	電池式のドアホン(ワイヤレス)をご使用で、次のようなときに表示されます。 ・推奨以外の電池が使用されている → 推奨電池と交換してください。 それでも直らないときは、機器本体の故障の可能性があります。(下記参照) ・機器本体に何らかの異常が発生した → 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

相手側のビデオメッセージがいっぱいです。

これ以上ビデオメッセージを残せません。

原因と対応	原因と対応
	録画件数が最大件数になりました。 ・別のドアホン親機宛てのとき → 相手側で不要なビデオメッセージを消去してもらってください。 ・スマートフォン宛てのとき → スマートフォンで不要なビデオメッセージを消去するか、本機ですべて消去してください。(P.108)

こんな表示が出たら

子機

コード番号(U●●)付きのメッセージが出たときはコード番号で検索してください。コード番号なしのメッセージは、「その他の表示(コード番号なし)」欄に記載しています。

- 記載したコード番号や表示の一覧は、お問い合わせの多いもの(画面表示だけでは原因や処置がわかりにくいもの)などを抜粋したものです。記載以外のコード番号や表示が出たときは、表示に従って処置をしてください。

U6●●

表示	原因と対応
U601	親機への登録に失敗しました。登録する親機に子機を近づけ、登録操作をやり直してください。 ・電話/ファクス親機への登録(P.42) ・ドアホン親機への登録(P.116)

表示	原因と対応
U615	<p>次のようなことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子機を登録した電話/ファクス親機とは別の電話/ファクス親機を、ドアホン親機にワイヤレスアダプター機能で登録した <ul style="list-style-type: none"> → 子機をドアホン/電話両用で使うには、ワイヤレスアダプター機能の登録をやめるか、子機を登録した電話/ファクス親機から、子機登録を解除(減設)し、ワイヤレスアダプター機能で登録した別の電話/ファクス親機に子機を登録し直してください。 複数の子機を、それぞれ別の電話/ファクス親機に登録した <ul style="list-style-type: none"> → ドアホン/電話両用で使うすべての子機を、1台の同じ電話/ファクス親機に登録してください。 電話/ファクスの買い替えなどで、子機を新しい電話/ファクス親機に登録し直した <ul style="list-style-type: none"> → すべての子機登録が完了するまで、この表示が出ることはありません。電話/ファクス親機を替えるときは、今までご使用の親機からすべての子機を減設したあとで、新しい親機に登録し直してください。
U632	<p>子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁など電波を通しにくい障害物がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> → 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。
U637	<p>次のようなことが考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話/ファクス親機の電源が入っていない 電話/ファクス親機が、ドアホン親機から離れすぎている <p>→ 適切な処置を行ってから、【決定】(再開)を押してください。</p>
U652	<p>表示されたセンサーカメラまたはワイヤレスカメラが次の状態のため、通信できません。</p> <p>〈センサーカメラのとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていない センサーカメラ側のLANケーブルが抜けている

	<ul style="list-style-type: none"> 無線LAN接続のセンサーカメラで、無線LANとの接続が不安定になっている かくれレンズ設定中(かくれレンズ機能があるセンサーカメラのみ) IPアドレスが変更されている、またはIPアドレスがほかのネットワーク機器と重複している <p>→ センサーカメラの状態を確認し、適切な処置をしてください。</p> <p>〈ワイヤレスカメラのとき〉</p> <p>ワイヤレスカメラが次の状態のため、通信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていない ドアホン親機からの電波が届いていない <p>→ ワイヤレスカメラの状態を確認し、適切な処置をしてください。</p>
U661	<p>子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁など電波を通しにくい障害物がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> → ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。

その他の表示(コード番号なし)

着信中の機器があります

この子機では「鳴らない」設定です

他の機器あてにお客様です

この子機では「鳴らない」設定です

カメラのセンサーが反応しました

この子機では「鳴らない」設定です

原因と対応

鳴り分け設定(P.91)で、鳴らない設定にしたドアホンやカメラから着信中です。

→ この表示が出た機器では対応できません。

接続できません

原因と対応

次のようなことが考えられます。

- 接続しようとした機器がドアホン(ワイヤレス)の場合、「ドアホン(ワイヤレス)の電池セーブ」設定が「セーブ2」(来客応答専用)になっている
 - 設定を確認してください。(P.88)
- 接続しようとした機器とドアホン親機が通信できていない
 - 機器の電源や接続状態を確認してください。

ご相談の前に

- ① 128ページ～138ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
- ② 裏表紙のパナソニック 総合お客様サポートサイトの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。

修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日
品番	

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日・品番・下記内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン/ テレビドアホン
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談の際は、ご使用の機器（ドアホン/ドアホン親機/子機）に表示されている品番もお伝えください。

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、VL-SWD505KF/VL-SWD505KSに付属の電池パックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■修理ご相談窓口は裏表紙をご参照ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

🗣️ お 願 い

- 停電などの外部要因により、録画、通話、メール送信などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼する前に、「個人情報について」を必ずお読みください。（P.14）

よくあるご質問(Q&A)

呼出音について

Q	<ul style="list-style-type: none">● カメラからの呼出音を鳴らさないようにしたいのですが？● ドアホンやカメラからの呼出音量を変えたいのですが？
A	呼出音量の設定を変更してください。(P.75)
Q	ドアホンやカメラなど、呼び出してきた機器ごとに呼出音の種類を変更できますか？
A	ドアホン(1~2)、センサーカメラ(1~2)、ワイヤレスカメラ(1~4)の呼出音の種類を、ドアホン親機や子機でそれぞれ変更できます。(P.73) また、電話/ファクスに登録している子機では、上記のほかに電話(外線)の呼出音の種類も変更できます。

子機について

Q	付属の子機(VL-WD618)では、電話ができるのですか？
A	対応の電話/ファクスに子機登録すれば電話やファクスの子機にもなるので、電話ができるようになります。 (対応の電話/ファクスはP.124、電話/ファクスへの子機登録はP.42)

録画について

Q	SDカードがなくても、ドアホンやカメラの録画や録音はできますか？
A	ドアホンの映像や音声はドアホン親機の本体メモリーに動画で録画・録音できます。カメラの映像や音声は、SDカードがないと録画・録音できません。(P.36)
Q	ドアホン通話の内容を録音できますか？
A	P.93「ドアホン通話全記録」の設定を「する」に変更すると、通話時の映像と会話を自動で記録できます。

カメラについて

Q	連携(接続)できるカメラの品番は？
A	「連携機器一覧」の「カメラ」の項目をご覧ください。(P.125)
Q	カメラと連携するには、どうしたらいいの？
A	〈センサーカメラの場合〉 ルーター経由でドアホン親機とLAN接続(P.52)し、センサーカメラをドアホン親機に登録してください。(P.54) 〈ワイヤレスカメラの場合〉 ワイヤレスカメラをドアホン親機に登録してください。(P.55)
Q	カメラのセンサー検知感度や検知範囲(エリア)の変更方法は？
A	〈センサーカメラの場合〉 <ul style="list-style-type: none">● 人感センサーの検知感度は、「人感センサー」の設定で変更できます。(P.97)● 動作検知の検知エリアや検知感度は、「動作検知」の設定で変更できます。(P.55) 〈ワイヤレスカメラの場合〉 <ul style="list-style-type: none">● 人感センサーの検知感度は、「人感センサー感度」の設定で変更できます。(P.101)● 動作検知の検知感度は、「動作検知感度」の設定で変更できます。(P.101)● 動作検知の検知エリアは、「動作検知範囲」の設定で変更できます。(P.101)
Q	センサー検知時にカメラ側で鳴る音を小さくしたい、または鳴らさないようにしたいのですが？
A	〈センサーカメラの場合〉 「お知らせ音」の設定で変更できます。(P.98) 〈ワイヤレスカメラの場合〉 「センサー反応音」の設定で変更できます。(P.101)

その他

Q	ドアホン親機や子機ではどんな呼出音や通知音が鳴るのですか？
A	P.141をご参照ください。

ドアホン親機や子機で鳴る呼出音・通知音などの一覧表(お買い上げ時)

音が鳴る場面	音の種類	音量	備考
室内の相手から呼ばれたとき(室内呼)	室内呼の呼出音 「プー」	大	音量のみ変更できます。 (P.75「呼出音量を変える」)
ドアホン(来客)から呼ばれたとき	ドアホンからの呼出音 ドアホン1:「ピーンポーン」 ドアホン2:「ピーンポーンピーンポーン」	大 (全ドアホン共通)	ドアホン親機や子機でそれぞれ、音の種類や音量を変更できます。 ● 音の種類を変えるには P.73「呼出音の種類を変える」
カメラの動作検知/人感センサーが反応したとき ● 警戒モード「解除」中	カメラからの呼出音 センサーカメラ1~2:「ピポッ」 ワイヤレスカメラ1~4:「ピポッ」	大 (全カメラ共通)	● 音量を変えるには P.75「呼出音量を変える」
警戒モード中、センサーカメラが反応したとき	予備報知音(予備報知中) 「ピポピポピポ」 報知音(報知中) 「ブルルルー」	中	● 音量のみ変更できます。 (P.79) ● 予備報知音と報知音の音量は共通です。
警戒モード中、ワイヤレスカメラや窓/ドアセンサーが反応したとき	予備報知音(予備報知中) 「ピポピポピポ」 報知音(報知中) 「ブルルルー」 報知遅延音(報知遅延中) 「ピピッ ピピッ」	中 右記 中	● お買い上げ時の報知音の音量は警戒モードの設定で異なります。 ・「在宅」設定時:中 ・「留守」設定時:大 ● 音量のみ変更できます。 (P.80)
警報器が反応したとき	通知音 「ピポピポピポピポーン」	大 (固定)	音の種類・音量ともに変更できません。
コール機器から呼ばれたとき	通知音 「ププー・ププー」	大	音量のみ変更できます。 (P.75「呼出音量を変える」)
非常ボタンが押されたとき	非常警報音 「ピロピロピロピロピローン」	大 (固定)	音の種類・音量ともに変更できません。

※1 子機では、警戒モード「解除」中と同様に、センサーカメラからの呼出音が鳴ります。

さくいん

カメラや子機の機能・設定などから探すときは (P.143)

あ 行

明るさの設定 (画面の明るさ)	29, 39, 61
液晶ディスプレイ	17, 20
お知らせ	
● お知らせ画面	108
● お知らせランプ	17
● お知らせランプ 点灯設定	95
お手入れ	14
音声応答	26, 87
音量	
● 受話音量	29, 61
● 送話音量	29, 61
● 呼出音量	75
● 録画の再生音量	39, 41

か 行

カーソル	106
解錠許可の設定 (電気錠)	65
外部入力の接続機器の設定	90
画像再生/消去 →「録画 (録音)・再生」	
カメラとの連携	53
カメラレンズ (ドアホン)	16
逆光補正 (センサーカメラ)	97
逆光補正 (ドアホン)	29
逆光補正 (ワイヤレスカメラ)	102
警戒モード	77
● 警戒モードランプ	17
● モードの切り替え	77
● 警戒 (在宅/留守) 中の 報知設定	
● センサーカメラ	79
● ワイヤレスカメラ・ 窓/ドアセンサー	80
● 予備報知 (音・時間)	78, 79, 80
● 報知 (音・時間)	78, 79, 80
● 報知遅延 (音・時間)	79, 80
警報器との連携	66
減設	119
コール機器との連携	66
子機の名前の設定	88

さ 行

再生 (ビデオメッセージ)	33
再生 (録画再生)	38, 40
室内呼 (室内通話)	30
修理ご相談窓口	裏表紙
仕様	122
情報表示画面	108
照明の設定 (センサーカメラ)	98
照明の設定 (ドアホン)	29, 88
照明の設定 (ワイヤレスカメラ)	102
初期化 (親機)	95

初期化 (子機)	105
初期化 (センサーカメラ)	99
初期化 (ネットワーク設定)	93
ズーム→「ワイド/ズーム」	
スピーカー	16, 17, 20
スマートフォンとの連携	52
● スマートフォンからの 電気錠操作の設定	65
● センサーカメラの 通知の設定	89
● 宅外配信の フレームレートの設定	89
セキュリティの種類 (TSL/SSL)	85
施錠忘れ通知	76
センサーカメラ	53, 126
送信ポート番号	85
送信メールサーバー	85
送信元メールアドレス	85
増設→「登録」	
送話口 (マイク)	20
ソフトウェアの更新 (バージョンアップ)	113

た 行

ただいまコール	16
タッチ確認音 (ON/OFF)	95
タッチパネル	17
中継アンテナの設置	117
● 中継対象の設定	90
通信間隔	69
通話転送 (ドアホン通話)	31
通話ランプ	17, 20
通話録音 (ドアホン通話)	37
電気錠との連携	63
電気錠・機器接続の設定	90
展示モード (販売店専用)	95
電池残量 (ワイヤレスのドアホン)	108, 110
電波状態表示	
● 無線LAN	18
● ワイヤレスアダプター	18
● ドアホン (ワイヤレス)	108, 110
ドアセンサーとの連携	62
● ドアセンサーの設定	89
ドアホンの設定	
● ワイド/ズーム設定	25
● ズーム位置設定	25
● 接続の設定	88
● 名前の設定	88
● 照明自動点灯の設定	88
● 電池セーブの設定	88
● 明るさの設定	88
● 着信自動録画の設定	93
● 通話全記録の設定	93
● 録画開始時間の設定	93
登録	
● 子機	116

● スマートフォン 接続設定ガイド	
● カメラ (センサーカメラ)	54
● カメラ (ワイヤレスカメラ)	55
● 窓/ドアセンサー	62
● みまもりリモコン	68
● 電話/ファクス	42
● ドアホン (ワイヤレス)	114
● 中継アンテナ	117
● ビデオ通話 接続設定ガイド	
時計→「日時の設定・変更」	
戸締り確認機能	75
戸締り確認ボタン・ランプ	17
トップメニュー (ドアホン親機)	18

な 行

鳴り分けの設定	91
日時の設定・変更	25, 87
ネットワーク接続	52
ネットワークの設定	
● IP設定	92
● ポートフォワーディング (NAT越え)	93
● MTUの設定	93
● ネットワーク情報の 確認	92
● 無線LAN情報の確認	92
● ネットワーク設定の 初期化	93

は 行

バージョンアップ	113
バージョン確認	112
場所名の設定	
● 窓/ドアセンサー	89
● ワイヤレスカメラ	103
光るチャイムとの連携	67
非常ボタンとの連携	66
● 非常警報音	66
ビデオ通話	32
ビデオメッセージ	32
プレストーク通話	26
別売品	124
ボイスチェンジ	29
保証とアフターサービス	139
ボタン表示 OFF/ON	19
補聴器との連携	67

ま 行

マイク	17, 20
窓 (開閉) センサーとの連携	62
● 窓センサーの設定	89
窓/ドアセンサー	62, 124
みまもりリモコンとの連携	68
メール通知・送信設定	84
● メールサーバー登録	85

●通知先メールアドレス登録	85
●送信選択	92
●メールサーバー消去	92
●メール通知ON/OFF	85
●メール設定情報の確認	92
メロディサインとの連携	67
文字入力のかた	106
モニター (ドアホンやカメラ側の様子を見る)	27, 57

や行

呼出音(種類)の設定	73
呼出音量の設定	75

ら行

リセットボタン	17
連携機器 (接続可能な機器)	124
連動設定	81
録画(録音)・再生	
●ドアホンの録画・録音	37
・録画開始時間の設定	93
・着信自動録画の設定	93
・通話全記録の設定	93
●カメラの録画・録音	58
●録画の自動更新	36
●録画の再生	38, 40
・画像の保護/ 保護解除/消去	39, 41
・画像の検索	39
・画像全消去	93

わ行

ワイド/ズーム	28, 60
●ドアホンのワイド/ ズーム設定	25
●ドアホンのズーム 位置設定	25
ワイヤレスアダプター機能	42
ワイヤレスカメラ	53, 126
ワイヤレスカメラの 録画連動設定	81

アルファベット

A接点出力との連動設定	91
LEDライト(ドアホン)	16
SDカード	
●取り扱いについて	15
●対応のSDカード	122
●録画件数の目安	36
●フォーマット	120
●録画データのコピー	120
●フォルダー構造	121
SMTP認証	85
SSL(セキュリティの種類)	85
TSL(セキュリティの種類)	85

センサーカメラの 機能・設定から探す

明るさの設定 (映像の明るさ)	97
オートスローシャッター の設定	98
お知らせ音	
●入切、音量、種類の変更	98
●お知らせ音を鳴らす	61
外部センサーの設定	97
逆光補正	97
検知タイマー	97
再起動 (センサーカメラの再起動)	99
受話音量(マイク感度)	98
照明の設定	98
初期化 (設定と登録の初期化)	99
人感センサー(感度の設定)	97
ズーム倍率指定	98
センサーカメラ詳細情報	99
センサーの動作確認	54
電源ランプの設定	99
動作検知 (検知エリア、感度の設定)	55
パン・チルト (カメラの向きを変える)	60
プライバシーボタン (PRIVACYボタン)の設定	99
ポジション設定	98
ワイド/ズーム	60

ワイヤレスカメラの 機能・設定から探す

明るさの設定 (映像の明るさ)	102
外部センサーの設定	101
カメラ解像度	101
カメラマイク感度	102
逆光補正	102
検知タイマー	102
検知前録画	102
状態表示ランプの設定	103
照明自動点灯	102
人感センサー感度	101
センサーの動作確認	56
センサー反応音	101
ちらつき防止設定	101
動作検知感度	101
動作検知範囲	101
場所/名前設定	103

子機の機能・設定・ 用語から探す

明るさの設定(画面の明るさ)	29, 41, 61
アンテナ部	20
音量	
●受話音量	29, 61
●呼出音量	75
●録画の再生音量	41
壁掛け	24
キー確認音(ON/OFF)	105
子機増設	42, 116
シャープボタン	20
充電	24
充電ランプ	20, 24
受話口	20
初期化(設定の初期化)	105
電池カバー	20
電池残量の目安	24
電池パック	2, 24
電波状態表示	22
電話の機能→下記参照	
動作モードの設定	105
トップ画面	22
フリップ	20
マルチファンクションキー	20
横画面表示	23
●横画面表示の設定	105
呼出音(種類)の設定	73
呼出音量の設定	75

〈電話の機能〉

●あんしん応答	46
●オフフック応答の設定	105
●外線鳴り分けの設定	105
●キャッチホン	45
●再ダイヤル	43
●3人で話す/3者通話	47
●スピーカーホン通話	44
●着信履歴	50
●通話拒否	46
●通話録音	45
●電話子機の名前の設定	104
●電話帳	
・登録	47
・転送	48
・全消去	105
・電話をかける	44
●電話内線(内線通話)	44
●電話をまわす	47
●トーン	43
●ナンバー・ディスプレイ	50
●ボイスセレクト (相手の声の音質を変える)	45
●ボイスチェンジ	45
●ポーズ	43
●保留	45
●ミュート	45
●留守番電話 (留守セット/解除、用件再生)	49

別売品については
124ページを
ご覧ください。

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書のQRコードから登録して
いただくと、品番登録と製造番号を
入力する必要がなく、簡単に登録
いただけます。



- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

? **ファクス・電話機・ドアホン
使い方・お手入れなどのご相談窓口**

フリーダイヤル **0120-878-983** 受付時間 9:00~18:00 (年中無休)
バナは キュウハチサン

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**
 ■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
 Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-554**
バナは イイヨ

■上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**
 ■FAX フリーダイヤル **0120-878-225**

便利な修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・ご相談の際は、ご使用の機器（ドアホン/ドアホン親機/子機）に表示されている品番もお伝えください。
- ・本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- ・ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
 （パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
- ・ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについてはP.139をお読みください。

愛情点検	長年ご使用の ワイヤレスモニター付テレビドアホン テレビドアホン の点検を！
	<p style="text-align: center;">こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れても動かないことがある。 ● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ● 電源プラグやコードが熱を持っている。 ● 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。 ● その他の異常や故障がある。
	<p style="text-align: center;">ご使用中止</p> <p>事故防止のため、 電源プラグを抜いて、 必ず販売店に点検を ご相談ください。</p>

パナソニック株式会社 コミュニケーションプロダクツ事業部

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2018



PNQX8725YA